

令和6年度  
自動車事故による高次脳機能障害者の方に向けた  
「社会復帰促進事業」  
好事例集

令和8年3月  
物流・自動車局 保障制度参事官室

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 社会復帰促進事業（モデル事業）の概要 .....	3
3. モデル事業者の概要 .....	4
4. モデル事業者の取組概要 .....	6
5. ネットワーク構築の取組について .....	14
6. 自立訓練提供の取組について .....	27
7. 地域連携の取組について .....	38
8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細 .....	49
9. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの取組詳細 .....	54
10. 奈良県障害者総合支援センターの取組詳細 .....	58
11. かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設の取組詳細 .....	62
12. 広島県立総合リハビリテーションセンターあけぼのの取組詳細 .....	66
13. ダイアリーの取組詳細 .....	70
14. ワークセンター大きな木の取組詳細 .....	73
15. 就労準備センターあぼかぼの取組詳細 .....	76
16. モデル事業による定量的効果 .....	80
17. 取組における課題 .....	88
18. 自動車事故被害者に対する支援事例 .....	90

## 1. はじめに

- 高次脳機能障害特有の症状として、社会的行動障害や記憶障害がありますが、適切なりハビリテーションを受けることで社会復帰につながる可能性があります。一方、頭部外傷を治療する病院や自立訓練を提供する事業所はあるものの、入院中は患者にとって守られた環境下での生活となるため、高次脳機能障害が概して目立たず、発見されないことがあるほか、高次脳機能障害に理解のある事業所も多くない状況にあります。また、高次脳機能障害の発見が遅れる場合や適切な自立訓練を受けられず、高次脳機能障害を有する者が社会復帰できない状況も生じています。
- このため国土交通省では、自動車事故による高次脳機能障害者の社会復帰の促進に向けた方策を検討することを目的として、高次脳機能障害への十分な理解がある自立訓練事業所が行う、高次脳機能障害の把握から自立訓練、地元復帰まで切れ目のないサポートの取り組みを支援するモデル事業（社会復帰促進事業）を令和4年度に4事業者、令和5年度に6事業者、令和6年度に8事業者において実施しております。
- 今般、令和6年度の8事業者における取組を好事例集としてとりまとめましたので、ご紹介します。
- 今後、これらの事例を参考にして、自動車事故被害者を支える地域における関係者間のネットワークの構築、高次脳機能障害への理解促進、高次脳機能障害に合わせた自立訓練の提供の取組が縦横に展開されることを期待しております。

# 自立訓練事業所（機能訓練・生活訓練）において行われるモデル事業において、以下の3つの取組を実施

## 1. ネットワーク構築

高次脳機能障害に対する医学的な評価を行う病院と退院後に通所が想定されるモデル事業を行う自立訓練事業所とのネットワークを構築することにより、病院と事業所がそれぞれ得意とする観点から、自動車事故による高次脳機能障害者の評価を行い、協力して病院退院後のコーディネートを目指す取組。

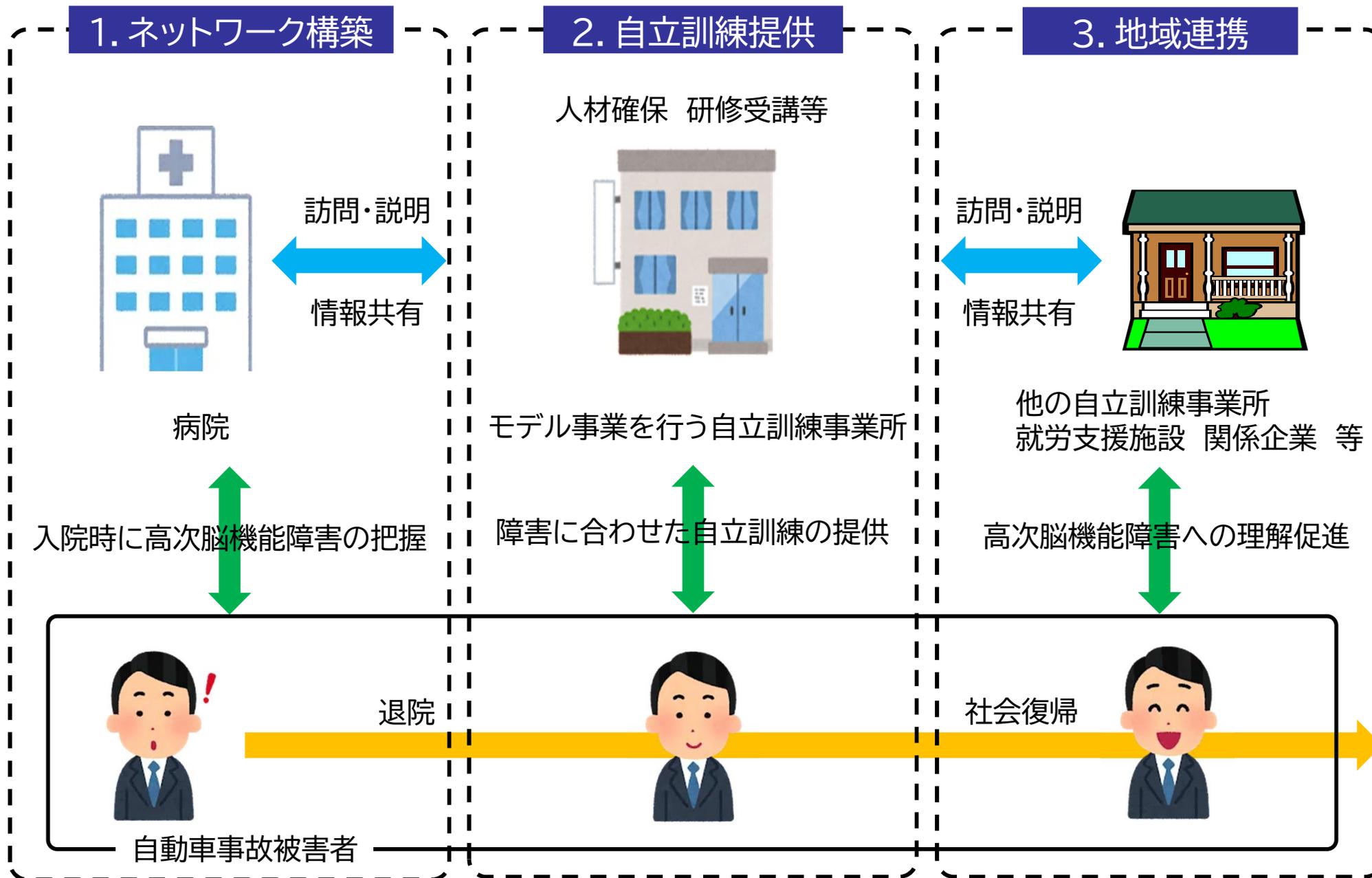
## 2. 自立訓練提供

モデル事業を行う自立訓練事業所において、高次脳機能障害に対応できる専門的知識を有する者による機能訓練・生活訓練を提供できるよう安定的な人材確保及び職員の研修等の受講によるスキルアップを目指す取組。

## 3. 地域連携

モデル事業を行う自立訓練事業所とその地域における他の自立訓練事業所や就労支援施設、関係企業と連携することにより、高次脳機能障害者の地域における生活への円滑な移行を目指す取組。

## 2. 社会復帰促進事業（モデル事業）の概要



### 3. モデル事業者の概要

(令和4年度より実施)

#### 千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

所在地:千葉県千葉市緑区誉田町1-45-2  
運営法人:社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団  
提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)  
就労移行支援  
就労定着支援  
施設入所支援  
短期入所



職員数:39名(常勤換算35名)

#### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

所在地:愛知県名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2  
運営法人:社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
提供サービス:

自立訓練(機能訓練)  
自立生活援助  
施設入所支援  
就労移行支援  
就労定着支援



職員数:58名(常勤換算47名)

#### 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

所在地:奈良県磯城郡田原本町大字多722  
運営法人:社会福祉法人奈良県社会福祉事業団  
提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)  
施設入所支援  
短期入所支援



職員数:26名(常勤換算19.6名)

#### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

所在地:香川県高松市田村町1114  
運営法人:社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団  
提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)  
就労移行支援  
施設入所支援  
就労定着支援  
短期入所  
日中一時支援



職員数:35名(常勤換算32.8名)

詳細についてはQRコードより各施設のホームページにてご確認いただけます。

※  が付いているところは高次脳機能障害支援普及事業支援拠点として指定されている。

### 3. モデル事業者の概要

(令和5年度より実施)

#### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

所在地: 広島県東広島市西条町田口295-3

運営法人: 社会福祉法人 広島県福祉事業団

提供サービス:

- 自立訓練(生活訓練)
- 就労移行支援
- 生活介護
- 施設入所支援
- 短期入所



職員数: 20名(常勤換算19.6名)

#### ダイアリー

所在地: 埼玉県さいたま市見沼区南中野930-1

運営法人: 株式会社ハート&アート 共生・多機能型デイサービス ダイアリー

提供サービス:

- 自立訓練(機能訓練)、生活介護
- 通所介護・介護予防通所介護
- 共生型生活介護
- 児童発達支援事業
- 放課後等デイサービス



職員数: 14名(常勤換算7.4名)

(令和6年度より実施)

#### ワークセンター大きな木

所在地: 静岡県浜松市中央区高丘東3-46-14

運営法人: 特定非営利活動法人えんしゅう生活支援net

提供サービス:

- 自立訓練(生活訓練)
- 就労移行支援
- 就労定着支援



職員数: 7名(常勤換算6.6名)

#### 就労準備支援センターあぽかぼ

所在地: 宮城県仙台市青葉区本町1-2-5 4F

運営法人: 特定非営利活動法人ほっぴの森

提供サービス:

- 自立訓練(生活訓練)
- 就労移行支援
- 就労定着支援
- 就労継続支援A型
- 就労継続支援B型
- 指定特定相談支援



職員数: 46名(常勤換算46名)

詳細についてはQRコードより各施設のホームページにてご確認いただけます。

※  が付いているところは高次脳機能障害支援普及事業支援拠点として指定されている。

## 4. モデル事業者の取組概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

職員数：39名（常勤換算35名）



訪問

24回

ネットワーク構築



利用者

74人

自立訓練



訪問

136回

地域連携

### 特徴的な取組

- ・「地域連携シート」の効果検証（医療機関に対するアンケート調査）の実施
- ・県内の自立訓練事業所に対し、SIMを用いた研修会の実施

### 今後の課題

- ・県内の機能訓練事業所は減少傾向
- ・生活訓練事業所は小規模で民間参入が多く、理解が低い

# 4. モデル事業者の取組概要

## 名古屋市総合リハビリテーションセンター

職員数：58名（常勤換算47.0名）



訪問

22回

ネットワーク構築



利用者

53人

自立訓練



訪問

41回

地域連携

### 特徴的な取組

- ・「退院後フォローアップ支援」の実施（病院側のメリット創出）
- ・高次脳機能障害についてのオンラインセミナーの実施

### 今後の課題

- ・医療機関の窓口となる医療ソーシャルワーカーとの連携の継続
- ・SIMを用いた自立訓練プログラムの確立

## 4. モデル事業者の取組概要

### かがわ総合リハビリテーション成人支援施設

職員数：35名（常勤換算32.8名）



訪問

41回

ネットワーク構築



利用者

43人

自立訓練



訪問

27回

地域連携

#### 特徴的な取組

- ・研修会等での施設見学会及び訓練見学の実施
- ・自立訓練プログラム検証プロジェクトの立ち上げ

#### 今後の課題

- ・研修会の内容の充実
- ・生活訓練事業所は小規模で民間参入が多く、理解が低い

## 4. モデル事業者の取組概要

### 奈良県障害者総合支援センター

職員数：26名（常勤換算19.6名）



訪問

71回

ネットワーク構築



利用者

70人

自立訓練



訪問

73回

地域連携

#### 特徴的な取組

- ・リーフレット・ポスター・研修会を使用した高次脳機能障害の周知活動
- ・高次脳機能障害に対する集団訓練の実施

#### 今後の課題

- ・情報発信のデジタル化
- ・家族参加型の高次脳機能障害基礎研修の開催

## 4. モデル事業者の取組概要

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

職員数：20名（常勤換算19.6名）



訪問

21回

ネットワーク構築



利用者

24人

自立訓練



訪問

56回

地域連携

#### 特徴的な取組

- ・グループホーム及び復職、新規就職する会社への作業療法士の派遣
- ・福山リハビリテーション病院との連携

#### 今後の課題

- ・復職・新規就職に伴う会社・作業所等への派遣職員の増加
- ・SIMデータの検証

# 4. モデル事業者の取組概要

## ダイアリー

職員数：14名（常勤換算7.4名）



訪問

10回

ネットワーク構築



利用者

34人

自立訓練



訪問

14回

地域連携

### 特徴的な取組

- ・ 運転再開評価・診断のための「依頼書」を作成
- ・ 地域の民生委員、特別支援学校のPTA、北海道及び沖縄の事業所等関係者に対する見学、説明会の実施

### 今後の課題

- ・ アンケート調査の母数増加
- ・ 「地域資源マップ」のデータ蓄積

# 4. モデル事業者の取組概要

## ワークセンター大きな木

職員数：7名（常勤換算6.6名）



訪問  
**10回**

ネットワーク構築



利用者  
**8人**

自立訓練



訪問  
**20回**

地域連携

### 特徴的な取組

- ・ 県内の自立支援事業所に対してアンケート調査
- ・ 病院への訪問調査の実施

### 今後の課題

- ・ SIM評価の妥当性と客観性についての検討
- ・ 医療と福祉のネットワーク構築

# 4. モデル事業者の取組概要

## 就労準備支援センターあぽかぽ

職員数：46名（常勤換算46名）



訪問

**18回**

ネットワーク構築



利用者

**3人**

自立訓練



訪問

**105回**

地域連携

### 特徴的な取組

- ・ 障害者自立支援協議会の会議への参加
- ・ 独自のSIM評価表の作成

### 今後の課題

- ・ 「当事業所 = 就労支援」というイメージの転換
- ・ 各障害福祉領域の就業・生活支援センターとの連携

## 5. ネットワーク構築の取組について

(令和4年度より実施)

### 千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 病院では、退院後の患者情報が無く社会参加の評価が困難であることから、引き続き病院に対して「地域連携シート」を活用した情報共有を実施。
- また、今後も効果的に地域連携シートを使用していくため、医療機関が望む情報と自立訓練が伝えたい情報に乖離がないか等について、アンケートを実施。

### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 引き続き、自立訓練施設のスタッフが病院を訪問し、直接入院患者に退院後の自立訓練に関する相談を受ける「退院後フォローアップ支援」を実施することで、病院側のメリットを創出。
- また、引き続き、自立訓練施設のスタッフが病院退院後の患者からの相談を対応し、患者ご本人の同意の下、病院側の希望に応じて「退院後フォローアップ支援」の結果を病院へフィードバックした。

### 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

- 当初、県の高次脳機能障害支援体制検討委員長(専門医)より、県における高次脳機能障害の認知度が低いため、まずは普及・啓発を中心に活動すべきと助言を受け、引き続き、「認知度向上のためのリーフレット」を作成し、県内の医療機関や市町村役場等へ配布。
- 高次脳機能障害に対応した福祉サービスがあることを医療関係者に周知するため、R6年度は新たにポスターを作成し、配布した。

### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

- 病院では患者に対する就労支援、運転再開支援の必要性を感じていることから、引き続き、自立訓練施設で受けることができる支援をまとめた「PR用チラシ」を作成し、ファイリング。
- 引き続き、医療機関のスタッフ等向けに、自立訓練、就労移行支援事業等について施設見学会を実施。加えて、受傷から期間が浅い家族向け学習会を開催。

## 5. ネットワーク構築の取組について

(令和5年度より実施)

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

- 引き続き、併設の広島県高次脳機能センター職員とともに県内全域の回復期病院を訪問、高次脳機能障害者に対する専門的医療・福祉サービスの説明などを行い、理解促進及び関係強化に努めた。
- 回復期病院スタッフ(MSW・リハ職)に当施設へ訪問いただき、施設で実施している訓練の紹介、高次脳機能障害者支援に関する情報交換を行った。
- 引き続き、回復期病院等に対して当施設利用者の帰結報告を行った。

### ダイアリー

- 運転再開評価・診断のための「依頼書」を作成。病院側の意向とすり合わせ、流れも作ることができた。
- ネットワーク構築によってつながった病院に手帳の申請を引き受けていただき、今後も依頼可能な状態となった。
- ネットワーク構築支援の訪問先等に説明することで、退院先の施設としての機能訓練事業、介護保険との住み分けについて理解を得ることができた。

(令和6年度より実施)

### ワークセンター大きな木

- 静岡県内10箇所の病院を訪問し、本事業の趣旨と連携の必要性についてパンフレットを配布。
- 併せて、病院訪問時に地域の現状についてヒアリングを実施。

### 就労準備支援センターあぽかぼ

- 昨年度訪問できなかった県南エリア、石巻エリアの医療機関を訪問し、事業案内を実施。仙台圏域に支援が集中しているところ、各圏域の状況を知ることで新たな支援のつながりを作ることができた。

## 5. ネットワーク構築の取組について

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

### 「地域連携シート」について

#### ●取組の背景・概要

医療機関との連携アイテムとして紹介患者のフィードバックシート(福祉サービス連携シート)を作成したが、今後も効果的に連携シートを使用していくため、令和4～5年度に本事業で訪問した56病院に対し、医療機関が望む情報と自立訓練が伝えたい情報に乖離がないか等について、アンケートを実施した。

#### ●取組内容・結果

1. 調査方法:アンケート用紙を56カ所の医療機関(地域連携担当者)へ郵送

2. 回答数:回答数25件(回答率45%)

3. 結果

- 医療機関と自立訓練の連携における課題について、「制度的問題(介護保険優先となるため障害福祉サービスとの連携機会が少ない)」と「利便性の問題(地域に適した施設がない又は少ない)」が7割を超えていた。(現在、県内に機能訓練事業所は2ヶ所のみ、病院が自立訓練を利用したくても地域に事業所が無い状況となっている)
- 高次脳機能障害者支援についての調査では「支援結果の評価」を課題と考えている医療機関が30.4%と、想定より少ない結果であった。「病院から社会に出たときの評価」が十分されているのか、又は次々と患者対応しなければならない医療機関の特性上、退院者の評価までできないのか考察が必要である。
- 連携シートの情報量については「やや多い」や「少ない」の意見があるが、8割が適切との評価であった。
- 情報の必要性について4項目が7割を超えており、内容もおおむね適切だと思われる。数値的なデータ(SIM・FIM)に関しては認知度が低く比較ができない事から必要性が低かった。また帰結情報については想像より低い結果となった。
- 連携シートの運用・活用方法についても訓練・治療結果の評価や研究事例として活用するのではなく、あくまで患者情報として期待していることが分かった。

#### ●取組の課題・改善点

医療機関と自立訓練の連携を図ることで課題が見えにくい高次脳機能障害者の早期支援に繋げ、安定した地域生活、継続する社会参加を目指しており、双方が高次脳機能障害者への早期支援だけでなく課題出現時に早期対応できるよう高次脳機能障害者支援についての理解を深めていく必要がある。

# 5. ネットワーク構築の取組について

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

## 障害福祉サービス地域連携シート

フリガナ		コウセイ タロウ	生年月日	1975/10/1	年齢	48	性別	男	
氏名		更生 太郎	住所	千葉市緑区誉町1丁目45番2					
			電話番号	XXX-XXX-XXXX					
基本情報									
疾患・傷病名			交通事故による頭部外傷			発症日			2022/9/1
身体	<input checked="" type="checkbox"/> 右片麻痺	<input type="checkbox"/> 左片麻痺	<input type="checkbox"/> 四肢麻痺	<input type="checkbox"/> 両上肢麻痺	<input type="checkbox"/> 両下肢麻痺	<input type="checkbox"/> 体幹機能	<input type="checkbox"/> 感覚障害		
	<input checked="" type="checkbox"/> 運動障害	<input type="checkbox"/> 運動失調	<input type="checkbox"/> 摂食障害	<input type="checkbox"/> 排泄障害	<input type="checkbox"/> 関節拘縮	<input type="checkbox"/> 筋力低下	<input type="checkbox"/> 痙攣		
	<input type="checkbox"/> 音声・言語障害	<input type="checkbox"/> 視力・視野障害	<input type="checkbox"/> 呼吸・循環器障害	<input type="checkbox"/> その他					
高次脳	<input checked="" type="checkbox"/> 記憶	<input checked="" type="checkbox"/> 注意	<input checked="" type="checkbox"/> 遂行機能	<input type="checkbox"/> 病識欠落	<input type="checkbox"/> 失認	<input type="checkbox"/> 失行	<input checked="" type="checkbox"/> 易疲労		
	<input type="checkbox"/> 発動性低下	<input type="checkbox"/> 感情失禁	<input type="checkbox"/> 固執性	<input type="checkbox"/> 抑制低下	<input type="checkbox"/> 抑うつ	<input type="checkbox"/> 失語			
	<input type="checkbox"/> 半側空間無視	<input type="checkbox"/> 依存性・退行	<input type="checkbox"/> 社会的行動障害	<input type="checkbox"/> その他					
保険種別		<input type="checkbox"/> 国保 <input type="checkbox"/> 社保 <input type="checkbox"/> 共済 <input type="checkbox"/> 労災 <input checked="" type="checkbox"/> 生活保護 <input checked="" type="checkbox"/> 自賠責・第三者行為 <input type="checkbox"/> その他							
年金		<input type="checkbox"/> 認定済み <input type="checkbox"/> 申請中 <input checked="" type="checkbox"/> 症状未固定 <input type="checkbox"/> 非該当							
障害支援区分		なし 訓練給付期限 2021/12/31							
身体手帳		未申請							
精神手帳		未申請							
要介護度		非該当							
キーパーソン		更生 一郎		電話番号		XXX-XXX-XXXX 関係 兄			
紹介元		〇〇〇〇医療センター		担当		〇〇〇 様			
帰結情報									
地域支援機関		XXX相談支援事業所							
地域医療機関		〇〇〇〇医療センター							
生活拠点		<input type="checkbox"/> 在宅⇒ <input type="checkbox"/> 配偶者 子供 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 単身							
		<input checked="" type="checkbox"/> 施設⇒ 種別・名称 ム/ハイム〇〇〇							
日中活動	障害福祉	種別・名称 就労継続 支援事業所/〇〇〇作業所							
	介護保険	種別・名称 なし							
	医療	種別・名称 なし							
	就労	種別 未就労							
その他		種別 地域サークル/ピアサポート活動							
ADL・IADL情報									
日常生活動作									
移動	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記	公共交通機関利用可			
食事摂取	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記				
整容	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記				
入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記				
更衣	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記				
排泄方法	日中	トイレ	夜間	トイレ	特記				
尿意	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明確	特記					
便意	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明確	特記					
意思伝達	<input checked="" type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 見守り	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助	特記				
危険行動	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	特記						
特記事項									
調理師として働いていたが、交差点でトラックにはねられ脳挫傷を受傷。退院後にオーダーが覚えられなかったり、作り方をわすれたりといったことが変だと感じていた。退職済み。 家族は県外にいるが頼りない対応は困難な状況で単身生活していた。経済的には預貯金なく、事故後は生活保護を受給。事故補償について弁護士に相談中。医師からは身体機能的には単身生活可能だが、高次脳機能障害の影響が強く、社会復帰の為には今後の支援の必要との判断。病識はあり、今後の支援の必要性は本人も感じている。毎日通所は難しく感じている。通数回が現実的。									

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

## 支援経過

支援事業	機能訓練事業	利用形態	通所利用						
利用開始日	2021/1/7	利用終了日	2021/8/31	236 日約 7.8 ヶ月					
ご本人の意向		ご家族の意向							
-覚えることが苦手になっているので改善したい -なにかしらの仕事ができるようになりたい		-安心して一人暮らしができるようになってほしい							
支援の到達目標 (長期目標)	-安心安全な地域生活が継続できる力を身に付けて頂く。 -継続した社会参加(仕事)ができるような環境設定を行う。								
課題	-心身状況の理解と管理 -作業能力の向上と生活リズムの獲得								
FIM	入所時	ADL	55	認知	24	合計	79		
	退所時	ADL	69	認知	22	合計	91		
SIM	入所時	生活項目平均	2.86	参加項目平均	3.6	共通項目平均	4	合計	42
	退所時	生活項目平均	4.14	参加項目平均	5	共通項目平均	5	合計	59
計画日	支援方針(短期目標)			支援結果					
2021/1/7	ご本人の疾病と障害を理解し、ニーズに対する課題把握を行う。								
2021/2/1	生活リズムをリズムを獲得し、プログラム体験から自身の得意・不得意について気付く。			自立訓練の利用目的を十分に把握できていなかったが、生活全般を振り返りながら訓練プログラムをこなすことで目的意識を持てるようになりました。					
2021/5/1	生活リズムと障害の代替手段の獲得を支援し、安定した地域生活スタイルを獲得する。			成功体験・失敗体験を重ねることで、高次脳機能障害への認識が高まり「障害について知りたい」との希望が聞かれるようになりました。					
2021/7/1	社会参加として日中活動ができるよう本人と地域支援者と協力し活動先を検討する。			メモリーノートを活用し自身でスケジュール管理ができるようになったことで、遅刻や無断欠席をすることが少なくなりました。					
2021/8/31				就労継続A型やB型事業所の見学・体験を支援した結果、本人が希望される飲食関係のB型事業所への意向が決まりました。					
見本									
自己評価	支援の満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 十分満足 <input type="checkbox"/> やや満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満							
		PT, OT訓練をもっとやって欲しかった。							
	帰結の満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 十分満足 <input checked="" type="checkbox"/> やや満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満							
		就職までのステップアップができた。							
支援結果	訓練プログラムを通して様々な経験をして頂いた結果、自身の得意・不得意を体験できたことにより高次脳機能障害に対する認識が高まりました。しかし限られた期間での支援ということもあり理解が十分でなく、継続したフォローが必要です。代償手段に関しても必要性は認識しているものの、完全な定着まではいかず、支援者による確認は継続したほうが良いと思われます。健康管理や生活リズムに関しては不安が強いことから、管理の面を含めて作業所近くのグループホームに入居することとなりました。								

※ 障害福祉サービス連携シートは退園時の状況報告として退園先の支援機関及び主治医に情報提供をさせていただきます。

また計画相談担当者及び更生園への紹介元機関へ情報提供される場合があります。

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

# 5. ネットワーク構築の取組について

## 名古屋市総合リハビリテーションセンター

### 「退院後フォローアップ支援」について

#### ●取組の背景

病院との関係づくりを考えたときに「ネットワークを作りたい」という自立訓練所側の思いだけでは、病院側が繰り返し訪問対応のための時間を設けることが現実的には難しいため、病院側のメリットを創出する必要があった。一方、現状認識が不十分なまま退院していく患者については、急性期・回復期とも退院後の生活に不安を抱いており、そのニーズに応えるため、退院後のフォローを実施することとした。

#### ●取組の内容・結果

1. 令和5年度の7病院から2病院を追加し、引き続き、自立訓練所のスタッフが患者からの病院退院後の相談に対応し、患者ご本人の同意の下、病院側の希望に応じて「退院後フォローアップ支援」の結果を病院へフィードバックした。
2. 取組の結果、退院後フォローアップ支援8件、オンラインでの帰結報告会4件、オンラインでの退院支援相談1件を実施した。

#### ●取組の課題・改善点

医療機関の窓口となる医療ソーシャルワーカーは比較的入れ替わりがあるため、ネットワークを途切れさせないためには今の取り組みを継続し続ける必要がある。これまで積み上げている病院とのネットワークを維持するために、訪問や帰結報告を実施しながら自立訓練の機能を発信し続けていきたい。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

高次脳機能障害のある方に向けた

## 退院後フォローアップ支援 のご案内

高次脳機能障害のある方からの退院後の生活・就労に関するご相談やお悩みに対し、リハビリセンター職員が対応し、情報提供や助言等を行います。

### 利用者(対象者)

自立訓練の利用が推奨される、以下のすべての要件に当てはまる方

- ① 高次脳機能障害の診断を受けている方
  - ② 愛知県内の医療機関に入院・通院中の方
  - ③ 退院後の居住予定地が愛知県内の方
- ※頭部外傷、脳血管障害、低酸素脳症、脳炎、脳腫瘍の方々が対象です。

### 期間

原則、受傷・発症日から1年6ヶ月の間  
※リハビリセンターの他のサービスの利用を開始した場合、契約は終了します。

### 費用

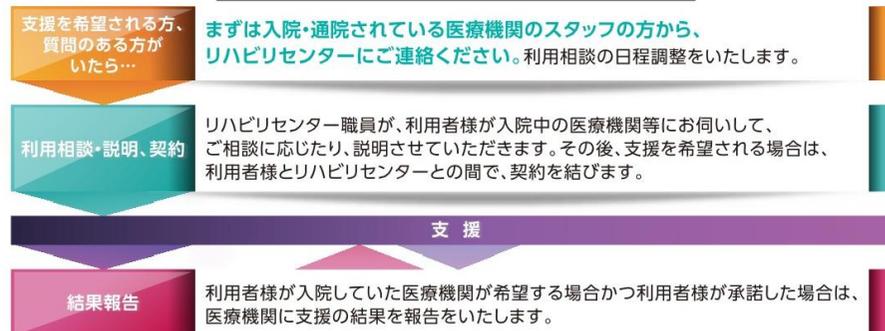
無料  
※相談等にかかる電話代や交通費等は除きます。

### 支援内容

- 相談対応・情報提供・助言  
利用者様からの「退院後の生活・就労へのスムーズな移行のための相談」に対応するとともに、必要に応じて情報提供や助言等を行います。  
(例)・生活(居住・移動・外出等) ・日中活動(障害福祉サービスの利用等)  
・就労(復職・新規就労等) ・所得補償(障害年金等) 等
- 定期連絡  
フォローアップの一環として、定期的に利用者様に連絡をし、状況確認を行います。  
(例)3ヶ月ごと等

支援方法 電話や面談(利用者様のご自宅やリハビリセンター等にて)等

### 退院後フォローアップ 支援の流れ



# 5. ネットワーク構築の取組について

## 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

### 「認知度向上のためのリーフレット」等

- リーフレット  
病院職員や市町村役場の窓口担当者から患者に自立訓練や支援センターを紹介してもらえるようリーフレットを作成し、訪問時に配布。
- 事業紹介カード  
病院や市町村役場の窓口に備え置いてもらえるよう、名刺サイズの事業紹介カードを作成し、訪問時に配布した。
- ポスター(新規)  
高次脳機能障害に対応した福祉サービスがあることを医療関係者や市町村役場に周知するため、新たにポスターを作成し、配布した。
- 取組の課題・改善点  
病院等の掲示方法のデジタル化に伴い、データでのやりとりを希望する病院等もある。また当事者や当事者を支える家族、地域事業所への高次脳機能障害の理解及び支援の協力をさせていただくためにも、アクセスしやすい当施設のHPなどのインターネットでの情報発信を活用していきたい。

### 事業紹介カード(二つ折り)

**カード表面**

交通事故・脳出血があつてから  
**頭がすっきりしない**  
ことがありますか？

- 考えがまとまらない
- 以前できていたことに時間がかかるようになった
- 忘れっぽくなった

高次脳機能障害に関するご相談は  
奈良県障害者総合支援センターへ

**カード内面**

自動車事故後に脳に外傷を負ったり、脳の病気になったり  
身体が回復した後も次のような症状が残って悩んでいませんか？

すぐに忘れよう  
になった  
集中力が続かない  
計画を立てることが  
苦手になった  
きいぬことで  
イライラする

高次脳機能障害は、病院で身体の治癒・リハビリが終了していても、福祉サービスを利用できます。訓練を続けたり、地域での生活の不安を相談することができます。

自立訓練センターが提供している福祉サービス

身体機能障害に特化した訓練  
施設入所支援  
短期入所支援  
自立訓練(機能訓練)  
自立訓練(生活訓練)

地域生活に向けて  
経験豊富なスタッフが、関係機関と連携しながら、バックアップします。

**カード裏面**

奈良県障害者総合支援センター  
自立訓練センター

電話 0744-32-0209 ホームページのQRコード

受付時間 10:00~16:00

E-mail narareho-jikun@narara-sf.or.jp

住所 〒636-0345 奈良県磯城郡田原町大字多722

※緊急事態発生時、自宅に突っ込んだ際の取りこぼしや、騒音に気をつけることへの不安がある方は、まずはお電話ください。

A4三つ折リーフレット表面

交通事故にあつてから、こんな症状はありませんか？

**記載面**

- 新しいことが覚えられない
- 同じことを何度も聞かされる

**注意面**

- 気が散りやす(集中力)が下がる
- うっかりミスが多くなった

**進行機能面**

- 優先順位がつけられず、段取りが悪くなる
- 一つひとつ指示がないと行動できない

**行動面・感情面**

- 怒りっぽい・イライラしやすい
- こだわりが強くなった

**音響面**

- 言葉が出ていきにくい
- 話を聞いても、理解しにくい

上記のほかにも、多様な症状が認められる場合があります。また症状の現れ方は、一人ひとり、さまざまです。

国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業 (社会復帰促進事業)

当施設について  
施設名称 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター  
住所 〒636-0345 奈良県磯城郡田原町大字多722  
お問い合わせは  
TEL・FAX 0744-32-0209 (受付時間 10:00~16:00)  
E-mail narareho-jikun@narara-sf.or.jp  
「オンライン利用申込フォーム」利用のご相談は、こちらのQRコードから申し込みください。

当施設へのアクセス

近鉄線 田原駅より徒歩約10分  
近鉄線 田原駅より徒歩約20分  
近鉄線 田原駅より徒歩約15分

奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

A4三つ折リーフレット裏面

医学的リハビリテーション → 社会的リハビリテーション

治療 → 急性期 → リハビリ・療養期 → 後遺障害 → 社会復帰

交通事故

治療

急性期

リハビリ・療養期

治療

症状固定

後遺障害

福祉の支援

社会復帰

交通事故により、日常生活や社会生活が困難な状況になった場合、障害福祉サービスを利用することができます。

例えば、訓練を受けたい、就労(復職、新たな就労・福祉的就労)したい、地域生活に向けて受けられる福祉サービスの相談にのってほしい等、ニーズによって受けられるサービスはさまざまです。

交通事故後のケガが治っても、以前と比べて、忘れっぽい、落ち着かない、ぼーっとしているなど症状が残ることがあります。それは、高次脳機能障害かもしれません。高次脳機能障害は、外見からは分かりにくく、事故からしばらくして日常生活に戻ったころに症状に気がつくことがあります。病院で身体の治療・リハビリが終了していても、福祉サービスを利用して、高次脳機能障害の訓練を続けたり、地域での生活の不安を相談することもできます。

高次脳機能障害の訓練についてのご相談

新しい「オンライン利用申込フォーム」を開設しました。お気軽にご相談ください。

自立訓練センターが提供しているサービス

身体機能障害に特化した訓練  
自立訓練(機能訓練)  
自立訓練(生活訓練)

施設入所支援  
短期入所支援

高次脳機能障害に特化した訓練

奈良県障害者総合支援センター内 自立訓練センター  
〒636-0345 奈良県磯城郡田原町大字多722  
電話 0744-32-0209  
受付時間 午前10:00~午後4:00 月曜日~金曜日

奈良県高次脳機能障害支援センターと連携して、サポートします。

A4普及ポスター

高次脳機能障害の症状に対応した福祉サービスがあります。

交通事故・脳出血があつてから、こんな症状はありませんか？

考えがまとまらない

忘れっぽくなった

疲れやすくなった

ミスが多くなった

高次脳機能障害についての相談

奈良県障害者総合支援センター(三つ折り)

自立訓練センター  
電話 0744-32-0209  
受付時間 午前10:00~午後4:00 月曜日~金曜日

高次脳機能障害に特化した訓練(自立訓練)を提供しています。詳しくは、自立訓練センターのHPをご覧ください。

国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業



## 5. ネットワーク構築の取組について

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

#### 病院訪問の実施

##### ●取組の背景・概要

広島県では、医療部門の高次脳機能障害に関する一定のネットワーク整備がなされたことから、急性期及び回復期病棟からの高次脳機能障害者の受け入れを、リハセンター内の外来や入院で受け入れ、入院の場合、基本90日間の認知・身体リハビリテーション等を行い、退院後に当施設で地域移行のための生活訓練を行っている。

##### ●取組の効果

引き続き、高次脳機能センターのコーディネーターと当施設の職員が病院を訪問し、新たに作成した施設紹介のパンフレットを用いて、退院後もリハセンター内の福祉施設で引き続き医療と連携した支援や訓練が提供できることが特色であることを説明を行った。今年度、訪問した病院のMSWから相談等の電話連絡があることもあり、病院訪問を再開した2年目となったことで、病院との関係づくりが進みつつある。

##### ●取組の課題・改善点

高次脳機能障害者であっても、障害福祉サービスの利用でなく、介護保険事業所を利用している方もいるが、病院から安易に介護保険に繋ぐのではなく、障害福祉サービスを利用することで、復職、就労、地域移行が図れることを丁寧に説明した。地域移行までの視点で医療・福祉サービスの利用を見据えた事業所としてリハセンターを認識してもらえよう努力しているが、病院サイドに頼っていただけのような、仕掛けが必要と思われる。

# 5. ネットワーク構築の取組について

## 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

【パンフレット】

社会福祉法人 広島県福祉事業団  
広島県立総合リハビリテーションセンター  
**あけぼの**

高次脳機能障害になられた方へ  
これからの生活を専門的に支援します。



こんなご希望に応えます！

- ひとり暮らしや、自主的な生活に向けて練習したい
- 仕事に就きたいけどその前に練習がしたい
- 高次脳機能障害のリハビリを継続したい
- 元の暮らしに戻りたい
- 家族との準備がしたい
- 施設からの継続がほしい
- 身体のことでの自立を継続したい
- 生活習慣を定めて、再発を予防したい
- 新たな生活の自立を達成する手助けをしてほしい

生活訓練  
対象：高次脳機能障害、身体障害（肢体不自由）の方  
利用期間：養成2年  
定員：44名

生活介護  
対象：高次脳機能障害、身体障害（肢体不自由）の方  
利用期間：個別に設定  
定員：30名

施設入所支援  
利用期間：日中活動の利用期間に準ずる  
定員：40名

短期入所  
定員：8名

あけぼのの1日(例)

入所生活訓練	6:00	退所生活訓練	6:00
起床、整容	7:00	通所	7:00
朝食	8:00	ミーティング	10:00
ミーティング	9:00	資源回収	11:00
オリブトレーニングジム	10:00	清掃作業	12:00
施設清掃	11:00	昼食	13:00
散歩	12:00	パンコン業務	14:00
軽作業	13:00	ミーティング	15:00
ミーティング	14:00	オリブプール利用	16:00
外歩リハビリ	15:00	シャワー浴	17:00
夕食	18:00	就寝	22:00

ここでの生活体験が自立の足がかりになります！

高次脳機能障害の特性や、スポーツ交流センターオリブなどの施設を活用し、専門的な支援を実施しています。

入居も満足できそうです！

社会復帰に向けたアプローチ

あけぼのは、高次脳機能障害のある方へ“就労”を専門的に支援しています。就職した後も、安定就労に向けて継続的に支援します。これまでも多くのご利用者が復職や、新規就労を実現し活躍されています！

- 職業訓練**
  - 軽作業（製品の組立、梱包など）
  - パンコン業務、事務作業
  - 清掃業務
  - 資源回収、洗濯など
- 就労に向けたアプローチ**
  - 月給10万円以上の就労が実現します。
  - ハローワークほか専門機関との連携
  - 職場訪問、職場実習
  - 面接、履歴書作成
  - ビジネスマナー、面接練習
- 外出訓練**
  - 公共交通機関の利用、買い物など
- 退所後の住まいの訪問、調整**
  - 自宅
  - グループホームなど

生活面へのアプローチ

- ミーティング**
  - メモリーノートの活用
  - スケジュールの管理
  - コミュニケーションの練習
- 身体機能訓練**
  - 歩行練習
  - 車椅子利用練習
  - トレーニングルームやプールの利用
- グループワーク**
  - 行事の企画・実施・振り返りなど
- 日常生活動作(ADL)訓練**
  - 身の回りのことを自分で行う練習
  - 食事、入浴、更衣、整容、トイレ、移動など
- 学習会**
  - 掃除
  - 洗濯
  - 片づけ
  - お金の管理
  - 買い物
  - 家の管理
- 生活の自立に向けた訓練**
  - 障害や病気について
  - 自分の状態について
  - 社会生活について

あけぼのの  
〒739-0036 広島県東広島市西条町田口 295-3  
☎082-425-1455 (代)  
https://www.rehab-hiroshima.org/akebono

見学・体験利用受付中！  
お待ちしております！

利用に関するご相談は「高次脳機能センター」もしくは、「あけぼの」へお問い合わせください。

広島県立総合リハビリテーションセンター  
**あけぼの**



【帰結報告様式】

令和 年 月 日

〇〇〇〇病院  
地域医療連携室長 様

広島県立総合リハビリテーションセンター  
障害者支援施設 あけぼの  
あけぼの長 高橋 正  
(公印省略)

拝啓、時下ますますご清祥のこと、お喜び申し上げます。  
平素より当施設の運営に際しましては格別のご配慮を賜り、お礼申し上げます。  
このたび、貴院を退院された後、当センターへの入院を経て、当施設をご利用いただきました方が、当施設のご利用を終了されましたので、下記の通りご報告させていただきます。  
当施設といたしましては、貴院と情報を共有させていただくことで高次脳機能障害のある方へのより良い支援に繋がればと考えており、引き続き、連携させていただければ幸いです。  
今後ともよろしくお願いたします。

敬具

記

利用者： 〇〇 〇〇 様(昭和 年 月 日生・男性)  
利用期間： 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日(約〇か月間)  
利用サービス： 生活訓練・施設入所支援  
進路先： (住まい) 障害者グループホーム「〇〇〇〇」  
(広島市〇区・包括型)  
(日中活動) 就労継続支援A型事業所「〇〇〇〇」  
(広島市〇区・クリーニング業)  
(支援機関) 相談支援事業所「〇〇〇〇」  
広島東障害者就業・生活支援センター  
高次脳機能センター  
(医療機関) 〇〇病院

経過： 貴院退院後、県リハ高次脳機能センターに転院。約3ヶ月間入院リハの後、あけぼのの入所。身体面では短下肢装具を使用した杖歩行が定着しADL面も安定。一方、高次脳機能面は、逆行機能面では代償手段獲得等による改善が見られたものの社会的行動障害が課題として残存。職場復帰は断念することになりましたが、上記のような形で地域での新生活をスタートされました。

以上

障害者支援施設 あけぼの  
〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3  
082-425-1455 (代) 担当：〇〇

## 5. ネットワーク構築の取組について

### ダイアリー

#### 病院訪問について

##### ●取組の背景・概要

運転再開支援において病院側と施設側での診断・評価のズレが生じた状態が続いていた。  
また、高次脳機能障害の手帳の申請、年金の申請等をお願いできる医療機関が確保できない状態だった。  
さらに、介護保険の第2号被保険者の退院後のサービスが介護保険に偏り社会復帰、就労に繋がりにくい状態であった。

##### ●取組の効果

- 前年度に積み残した運転再開評価・診断のための「依頼書」を作成。病院側の意向とすり合わせ、流れも作ることができた。
- ネットワーク構築によってつながった病院に手帳の申請を引き受けていただき、今後も依頼可能な状態となった。
- ネットワーク構築支援の訪問先およびケアマネージャー、相談支援専門員に対し、退院後の支援について、資料を用いて説明。ケアマネージャー、相談支援専門員については、地域の研修会の講師を頼まれ、直接話す機会を得た。また、退院先の施設としての機能訓練事業、介護保険との住み分けについて理解を得ることができた。

##### ●取組の課題・改善点

- 本来、訪問を予定していた医療機関において、連携に消極的な構えを見せ、訪問に繋がらなかった病院がある。次年度は、すでに連携できている医療機関への訪問は継続し、埼玉県が作成している「高次脳機能障害に対応できる医療機関」として掲載されている病院との連携を図っていくこととする。
- 第2号被保険者の医療機関からの退院後のサービスに、機能訓練などの障害福祉サービスがあることを、病院の退院支援窓口、相談員、地域包括支援センターに知っていただくためのパンフレットを作成する必要がある。

# 5. ネットワーク構築の取組について

## ダイアリー

### 機能訓練チラシ表面

18歳～65歳の機能訓練

## ダイアリー(モア・リハステーション)

機能訓練(障害者総合支援法)・共生型通所介護(介護保険)

——自立訓練(機能訓練)とは——

**対象** 地域生活を営む上で、身体機能・生活能力の維持・向上等のため、一定の支援が必要な身体障害者又は難病等対象者

1. 入所施設・病院を退所・退院した者であって、地域生活への移行を図る上で、身体的リハビリテーションの継続や身体機能の維持・回復などの支援が必要となる者
2. 特別支援学校を卒業した者であって、地域生活を営む上で、身体機能の維持・回復などの支援が必要となる者 等

\*標準利用期間:1年6ヶ月間(頸髄損傷による四肢麻痺等のこれに類する状態にある場合は3年間)

**脳出血、左片麻痺、40歳代、男性**  
仕事に戻るには難しさを感じる。ずっと家にいる訳には行かない。でも、高齢者のデイサービスには抵抗がある。な...

**脳性麻痺、20歳代、女性**  
特別支援学校を卒業し、週に3日事務職として働いているが、だんだん体の変形が強くなってきて、痛みも感じるようになってきた。状態が悪くならないよう今のうちにしっかりリハビリを受けておきたい。

**パーキンソン病、60歳代、男性**  
定年したばかりでこれから趣味を楽しもうと思っていたのに、生活の仕方をおアドバイスしてくれる場所でのリハビリに取り組めたら、もう少し妻と旅行に行くことができるかな...

**くも膜下出血、高次脳機能障害、30歳代、女性**  
外来が終了してしまっただけで、リハビリが受けられず、この先の生活が不安。子供も小さいので家のことをもっとできるようにしたいけど...

**脊髄損傷、20歳代、男性**  
自宅に戻ってからもう少しリハビリを続けたい。実際に復職するまでに同じ時間に公共交通機関を使って通所する練習をしてみたい。

### 機能訓練事業はその先の可能性を広げます

身体障害者リハビリテーション研究会2018 資料より引用

### 機能訓練チラシ裏面

上肢リハビリ装置  
CoCoroe AR<sup>2</sup>  
【上肢専門プログラムあり】

身の回りの練習  
機能回復訓練

外に出る生活  
家での生活

仕事・役割のある生活

OT・PT・ST他による  
**個別プログラム**

機能訓練

就職移行・継続支援

対象者(以下のいずれかの手帳をお持ちの方)

- 身体障害者手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 療育手帳
- 特定医療費(指定難病)受給者証

高次脳機能障害の方のための  
**専門プログラム**

脳トレ

実践練習

各種作業活動

グループ訓練

**利用頻度:** 週1～5日まで選べるプラン

**利用時間:** 午前または午後の半日

**PT・OT・STの3時間の個別機能訓練**

**介護保険との併用、他の障害福祉サービスとの併用可能**

**午前・午後ともに7～9名ずつの充実した訓練**

**就労系サービスへのスムーズな移行**

**買物や乗り物などの実践練習あり**

**選べる送迎パターン**

- ☑ 基本はご自身での通所(ご家族送迎可)
- ☑ 一部のルートは自宅⇄施設の送迎あり
- ☑ さいたま新都心駅⇄施設の送迎あり
- ☑ 生活サポートを利用した送迎可能
- ☑ 自宅から通所する練習プログラムあり

【利用料金】前年度の所得に応じて  
①0円 ②9,300円 ③37,200円の3段階

利用までの流れ

- ① 相談および申請 (区役所支援課)
- ② サービス等利用計画案の提出依頼
- ③ 指定特定相談支援事業者との利用契約
- ④ サービス等利用計画案の作成および交付
- ⑤ \*障害者支援区分認定
- ⑥ サービス等利用計画案の提出
- ⑦ 支給決定・受給者証の交付
- ⑧ サービス等利用計画案の作成
- ⑨ 契約・サービスの提供

\*⑤自立訓練(機能訓練)のみの利用場合は障害者支援区分の認定は不要

共生・多機能型デイサービス **ダイアリー(モア・リハステーション)**

TEL:048-682-2151 048-797-6626 FAX:048-797-6627 (担当:茂木)

**お気軽に相談ください**

24

# 5. ネットワーク構築の取組について

## ワークセンター大きな木

### 病院訪問について

#### ●取組の背景・概要

多くの病院において、病院と福祉事業所間のシームレスな連携が十分に実現されていないことは、以前から課題として指摘されてきた。医療連携室やリハビリテーション科などにおいて、福祉サービスに関する知識が不十分であるため、高次脳機能障害者や自動車事故による頭部外傷患者など、適切な支援が必要な患者に対して、介護保険サービスやその他の支援先を紹介できないケースが散見される。この現状を改善するため、地域における課題を明確化すべく、病院への訪問調査を実施することとした。

#### ●取組の効果

静岡県内10箇所の病院を訪問し、本事業の趣旨と連携の必要性についてパンフレットを配布。また地域の現状についてヒアリングを実施した。

#### ●取組の課題・改善点

医療と福祉との連携において、医療が福祉について制度や退院時の目的が在宅復帰となっていることから医療職を対象とした研修会を実施。例としては院内研修会の開催や医療と福祉とのネットワーク構築のための研修会を開催する。

A4三つ折りリーフレット表面

**よくある質問**

- Q 介護保険サービスと障害者福祉サービスを両方使えるの？
- A 介護福祉と障害福祉の併用が可能です。個別介護保険が優先されます。各自治体の窓口で確認が必要です。
- Q 介護保険法と障害者総合支援法の利用できる年齢は？
- A 介護保険法は40歳以上でかつ特定疾患などです。障害者総合支援法は18歳以上です。
- Q 障害者総合支援法を利用するのに障害者手帳は必要ですか？
- A 障害者手帳を持っていない方も利用できます。医師の見解等により利用も可能です。
- Q 福祉サービスで病院のようなリハビリは受けられるの？
- A 残念ながら受けられません。就労を含め生活を再開するためのサービスです。
- Q 高次脳機能障害はみんなおなじ症状ですか？
- A 損傷している脳の場所が人によってことなり症状は様々です。
- Q 病院の退院後どうしたらいいの？
- A 病院からサービスの提案があれば参考にしてください。提案がなければ「相談できる人をつくる」を参考にしてください。

**県内で行われている医療等総合相談**

健康福祉センター名	電話番号
賀茂健康福祉センター福祉課	(0558) 24-2056
熱海健康福祉センター福祉課	(0557) 82-9120
東部健康福祉センター福祉課	(055) 920-2087
静岡中央健康福祉センター福祉課	(0550) 82-1222
富士健康福祉センター福祉課	(0545) 65-2155
中部健康福祉センター福祉課	(054) 644-9281
西部健康福祉センター福祉課	(0538) 37-2252

**静岡県の高次脳機能障害支援拠点機関**

地区	支援拠点機関	電話番号
東部	(有) 東海共同中伊豆リハビリテーションセンター伊豆地区あき	☎ (0557) 36-6381 ■ tsuyoyo-ho@janrc.or.jp
東部	(有) 東海共同中伊豆リハビリテーションセンターなかいずりハ	☎ (0558) 83-2195 ■ soudan@janrc.or.jp
東部	NPO法人 はっぴい すまいるびーす	☎ 080-1560-4000 ■ smile_peace@smilegroup.or.jp
中部	(有) 明光会 サポートセンターコンパス北	☎ (054) 278-7828 ■ satuki.hokuto3019@meikoukai.or.jp
中部	株式会社 T-CHAWA ポノワークセンター	☎ (054) 374-4538 ■ yumi.s.coo@ponowork.jp
西部	(有) Mネット東海 相談支援専門所Mネット	☎ (053) 228-1100 ■ mnet@net-net.or.jp
西部	NPO法人 えんしゅう生活支援 net	☎ (053) 420-6250
西部	ワークセンター 大きな木	☎ (053) 455-8226
西部	ワークセンター みたび	☎ (053) 455-8226

**高次脳機能障害ってなに!?**

高次脳機能障害は交通事故や病気などにより脳が損傷したことによっておこる情報処理過程の障害といえます。例えば記憶、注意、段取り力の低下や、怒りっぽい、我慢できないなど外見で見分けがつかない、自覚がないことが多いです。

A4三つ折りリーフレット裏面

**知ること**

- 知的の気づき: 高次脳機能障害と診断された
- 体験的の気づき: 高次脳機能障害に関連しているかもと思える
- 予測的の気づき: 同じ失敗を繰り返さないように対策ができる

**相談できる人をつくること**

医療: 主治医、医療相談室、リハビリなど

行政: ケアマネ、地域包括支援センターなど

当事者団体: NPO法人高次脳機能障害サポートネットしずおか

介護サービス: ケアマネ、地域包括支援センターなど

**つながること**

セーフティネットをつくり連携

多機関が役割分担し複数で支えていくことが重要

**居場所をつくること**

介護保険法サービス: 通所リハ、通所介護 など

障害者総合支援法サービス: 自立訓練、就労移行支援、就労継続支援 など

**何をしたらいいの?**

- 相談する: 支援拠点など
- 受診する: 県指定の医療機関
- サービスを利用する: 福祉・介護など

詳しいお問い合わせ先はリーフレット裏面に記載しています

# 5. ネットワーク構築の取組について

## 就労準備支援センターあぼかぼ

### 病院訪問について

#### ●取組の背景・概要

社会復帰＝復職、再就職、福祉的就労、その他社会参加に向けて医療機関(主治医、相談員、リハビリ担当)と社会復帰促進事業について情報共有し対象患者に情報提供していただく。その後、定期的に訪問、電話など情報共有する場を作り対象患者の継続した支援を行っていく。また、今まで直接関わりがなかった医療機関を訪問し、事業案内を行い、県内の支援の広がりを作っていく。

#### ●取組の効果

昨年度訪問できなかった県南エリア、石巻エリアの医療機関を訪問し、事業案内を行った。仙台圏域に支援が集中しているが各圏域の状況を知ることで新たな支援のつながりを作っていくことができた。

#### ●取組の課題・改善点

遠方の医療機関を訪問することができたが、なかなか複数回訪問することができなかった。一度訪問したあとの患者様の状況など何度か訪問することで対象者を共有することができるため、次年度は年間計画の中で訪問予定を細かく設定していく必要がある。

A4チラシ表面

同じことを何度も聞くと、うっかりミスが多くなった

交通事故にあっから「頭がすっきりしない」ことがありますか？

優先順位がつけられない  
言葉が出てきにくい  
イライラしやすい

それは高次脳機能障害かもしれません

あぼかぼでは設立以来、多くの高次脳機能障害の方々の就労に向けての歩みをサポートしてきました。お気軽にお問い合わせください！

お問い合わせ 特定非営利活動法人 **あぼかぼの森** TEL. 022-797-8801

国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業

A4チラシ裏面

交通事故後に身体のケガが治っても、以前と比べて、忘れっぽい、落ち着きがない、ぼーっとしているなどの症状が現れることがあります。それは**高次脳機能障害**かもしれません。高次脳機能障害は、外見からは分かりにくく、事故後しばらくして**日常生活に戻ったころ症状に気付く**ことがあります。病院での身体の治療・リハビリが終了していても、福祉サービスを利用してトレーニングをすることで社会復帰に向けた歩みを進めることができます。

交通事故

急性期病院での治療

回復

回復期病院でのリハビリ

社会的リハビリテーション

社会復帰

福祉的支援

あぼかぼでは高次脳機能障害の方に対して下記のような支援をしています。

- 生活トレーニング: 普段の生活で出来ることを練習しよう
- 移動トレーニング: 一人で出来る方法を一緒に考え実践しよう
- 脳トレ: タイプやトレーニングなどで楽しく脳を活性化させよう
- 運動プログラム: 自分に合った体の動かし方を学ぼう
- グループ活動: 目標の達成をみんなで見よう
- 個別ワーク: 一人一人のやりかたに合った一対一のトレーニングしよう
- 表現のプログラム: いろいろな会社や職種で実際に実践しよう

あぼかぼ (生活訓練事業)

日々のプログラムに参加しながら生活リズムを整え、やりたいこと、できることをいっしょに身につけていきます。

お問い合わせ 特定非営利活動法人 **あぼかぼの森** TEL.022-797-8801 FAX.022-797-8802 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-5 第三ビル4階

## 6. 自立訓練提供の取組について

(令和4年度より実施)

### 千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 令和6年度の福祉サービス報酬改定にて社会生活の自立度評価(SIM)の活用と報酬上の評価が示されたことで、多くの事業所でSIMの運用が始まった。
- SIMを用いて自立訓練にて提供されるプログラムの効果を図り、全体比較から交通事故被害者の課題および障害特性から適応プログラムを探る。

### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 高次脳機能障害の特性を踏まえ、施設内ではなく、自宅及び居住地域へ訪問するいわゆるアウトリーチによるIADL(手段的日常生活動作)訓練を実施。
- 支援の質を均一にするため、引き続き、リハ専門職と支援員が共同してプログラムを実施。
- 令和6年4月よりSIMによる評価を開始。

### 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

- 専門職(心理士・作業療法士)が訓練の受講前後での神経心理学的検査データを利用者にフィードバックすることで障害認識を促進。
- 進路が決定した利用者には、訓練での取組みの様子や具体的な対応方法を専門職が作成し、ご家族や復職された会社等と情報共有。

### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

- 自立訓練プログラム検証プロジェクトを立ち上げ、現状のプログラムが効果的なのか、職員間の情報共有はどうすればよいのか等検討する場を持った。
- 令和6年度よりSIMによる評価を開始し、データの蓄積、評価の振り返り、他事業所のSIM活用事例の情報収集を行った。

## 6. 自立訓練提供の取組について

(令和5年度より実施)

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

- 引き続き、自立訓練提供にあたり、利用者の障害像やニーズに応じて①生活訓練グループ、②機能訓練グループ、③就労グループに分け、グループワークを実施。
- 令和6年度より、SIMによる評価を開始

### ダイアリー

- 2024年7月に機能訓練のための新棟を開設し、高次脳機能障害の方々が訓練しやすい施設を設計・建設した。また、STやグループ訓練が実施しやすくなり、自主トレでの机上訓練のスペースも確保できることになった。
- 令和6年度より、SIMによる評価を開始

(令和6年度より実施)

### ワークセンター大きな木

- 職員を非常勤から常勤雇用へ転換したことにより、時間的な余裕が生じ、よりきめ細やかな個別支援の提供が可能となった。また、職員研修用の動画を作成した。
- SIMと神経心理検査の関係性を明らかにするため、高次脳機能障害者18名に対し検査を実施し、その結果を分析した。

### 就労準備支援センターあぽかぼ

- 今年度は独自のSIM評価表を使用し、定期的な面談の際の振り返りと目標決めに活用できた。
- 仙台市内にある他の生活訓練事業所と2か月に1度の連絡会議を開催し、実施プログラム、SIM評価表、集客、人材育成など情報共有している。各々実施地域も異なるのでそれぞれの地域における資源の共有も行った。

# 6. 自立訓練提供の取組について

## 社会的生活自立度評価(SIM)について

### ●取組の背景・概要

令和6年度の福祉サービス報酬改定にて社会生活の自立度評価(SIM)の活用と報酬上の評価が示されたことで、多くの事業所でSIMの運用が始まった。

当センターではSIMを開発した経緯から早期から試験的に運用をしており、本事業においてもその効果測定を検証している。

SIMを用いて自立訓練にて提供されるプログラムの効果を図り、全体比較から交通事故被害者の課題および障害特性から適応プログラムを探る。

### ●取組の成果

昨年度はSIMとFIMを用い、評価点数によって帰結に変化があるのかを調査検証した。

データ数の問題から妥当性・整合性があるとは言えないものの、ある程度の関連性がある傾向が見られている。しかしどのようなプログラム・支援によって数値が向上したかまでは検証がされていなかった。

自立訓練として交通事故被害者への専門的プログラムを提供することで、社会参加する力が身に付くことが認められる評価として期待する。

### ●取組の課題・改善点

本事業を継続していく為には、自立訓練事業として交通事故被害者への効果的なプログラムを提供し評価として示すことで、本事業としての成果をまとめていく必要があると思われる。

## 社会的生活自立度評価(SIM)の項目と採点基準

	項目		点数		SIM利得
			利用時	終了前	
毎日の社会生活を維持するための項目	1. 健康管理	必須			0
	2. 金銭管理	必須			0
	3. 身の回りの管理	必須			0
	4. 買い物(買い物先までの移動を除く)	必須			0
	5. 家事活動(調理含まず)	選択			0
	6. 調理	選択			0
	7. 生活のセルフマネジメント	必須			0
社会の一員として積極的に参加するための項目	8	(1)公共交通機関を利用しての外出 (2)自動車運転	1つを選択		0
	9. 人間関係	必須			0
	10. 仕事/学校	選択			0
	11. 余暇活動	必須			0
	12. 日中活動	必須			0
共通項目	13. 制度・サービス活用	必須			0
合計(10~91)					

※除外項目は斜線

採点基準(以下は目安である。具体的には各項目の採点基準を参照)

自立	継続自立	7点	安定性や対応力が高い自立レベル
	自立	6点	現段階で自立している場合 (店員や窓口担当等に問い合わせる等、通常ある人的資源の活用を含む)
部分的支援が必要	見守り	5点	(見守り、時々促しや助言が必要)
	最小援助	4点	(75%以上自分で行う)
全面的な支援が必要	中等度援助	3点	(50%以上75%未満自分で行う)
	最大援助	2点	(25%以上50%未満自分で行う)
	全面援助	1点	(25%未満しか自分で行わない)

※7点、6点は、自助具の活用、自らが選択、利用、指示、調整して介助サービス等を利用する場合が含まれる

※実行状況の評価であるため、利用者の意思や意欲は大いに加味される。能力はあるが実行の意思が低く声かけが必要な場合も5以下となる。

## 6. 自立訓練提供の取組について

### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

#### ● 概要

高次脳機能障害の特性を踏まえ、施設内ではなく、自宅及び居住地へ訪問するいわゆるアウトリーチによる動作獲得・定着を目指したIADL訓練を実施。

対象層を絞ったグループワークを実施し、障害認識の促進及び補償行動の獲得の機会とする。

#### ● 実施内容

昨年度から引き続き、リハ専門職と支援員が共同してプログラムを実施した。

##### ①若者グループワーク(臨床心理士+SW)

学齢期の受傷により社会性が十分でない利用者へ自信づけをはかる

##### ②遂行機能グループワーク(作業療法士+SW)

遂行機能に関する講義と外出計画の立案、実施を行う

##### ③STグループワーク(言語聴覚士+SW)

失語症がある利用者が外出先で他者とコミュニケーションをとる

##### ④外出グループワーク(理学療法士+SW)

車いす使用者の交通機関利用体験

##### ⑤中高年グループワーク(臨床心理士)

働き盛りの利用者が身の病気や障害について語りあい自己理解を深める

##### ⑥注意障害グループワーク(臨床心理士)

注意障害に関する講義と体験ワークを行うことで自己認識を高める 等

#### ● 取組の課題・改善点

令和6年4月より評価を開始しているSIMについて、個別のプログラムの有効性に関する効果測定は実施できていないが、自立訓練利用前と利用後について、全体の平均点は向上している。

交通事故後遺症者を含む高次脳機能障害者に対して、社会生活力の向上や後遺症に関する自己認識の深化に寄与するプログラムがどのようなものか精査をすすめ、提供する体制を整えていく。

様

### 注意障害グループワーク

注意障害があるって言われたけど  
注意障害って一体何？  
どうしたらいいの？

このグループワークでは**注意障害**について考えたり、練習したりします  
「注意障害のこと知りたい！」  
「自分の注意について考えてみたい！」  
「注意の練習、してみたい！」  
というあなたの参加をお待ちしています

時間：毎週金曜13時～15時 全8回  
①5月10日 ②5月17日 ③5月24日  
④5月31日 ⑤6月 7日 ⑥6月14日  
⑦6月21日 ⑧6月28日

場所：3階ワークルーム2

持ち物：筆記用具  
電卓（なければスマホでも可）  
ファイル（初日にお配りするもの）

注意障害グループワークチラシ

### 遂行機能グループワーク

外出計画や外出を通じて、遂行機能について学ぶ、知る、対処法

日時 令和6年7月29日（月）～9月9日（月）の計6回  
毎（月）13時～14時 ワークルーム2にて

職員 一色 OT、塚本 OT、遠藤支援員

内容 7/29 I：遂行機能について学ぶ  
8/5 II：目的地の検討、練習  
8/19 III：目的地決定、外出計画①

お渡しした「BADSの質問票」を回答して持ってきてください。

遂行機能グループワークチラシ

## 6. 自立訓練提供の取組について

### 集団訓練等による障害受容の獲得

#### ● 取組の背景・概要

高次脳機能障害の特性に対して、個別訓練に加え、グループディスカッション等の集団訓練を実施し、本人の障害状況に応じた訓練を提供。障害認識・受容が進むことで、自らの障害特性に向き合い、社会参加が出来るよう取り組んでいる。

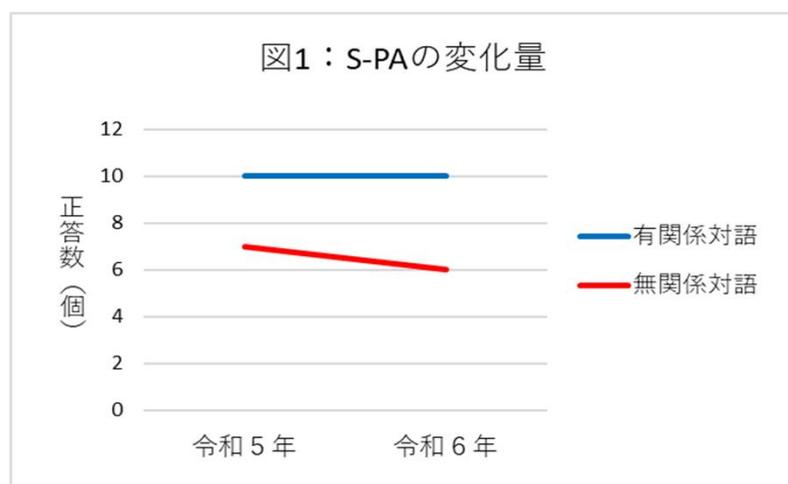
#### ● 取組の効果

- 高次脳機能障害の認知機能の特性に応じたグループ訓練を提供することで、障害認識及び補助行動の獲得を促進。
- 専門職(心理士・作業療法士)がグループ訓練運営に関わるだけでなく、訓練を受講した前後での神経心理学的検査データ(標準言語性対連合学習検査[S-PA] Trail Making Test日本版[TMT-J])を利用者にフィードバックすることで障害認識を促進。
- 進路が決定した利用者には、訓練での取組みの様子や具体的な対応方法を専門職が作成し、ご家族等と情報共有。

#### ● 課題・次年度以降に向けた改善点

訓練プログラムの運営を専門職が中心となって実施していることから、今後も引き続き、ケースワークとの連携を深めていく必要がある。また、今年度から当施設でもSIMを導入し、現在実施している神経心理学的検査データやSIMの変化量などを用いて、プログラムの有効性の検証を進めていきたい。

今後は、退所後の一番の支援者となるべき家族に対しても、家族参加型の基礎研修を開催し、家族が実際の訓練を体験等することで、高次脳機能障害を知る機会を提供していきたい。



- ※ S-PA：言語性記憶の把握、また、記憶障害が疑われる場合のスクリーンツールとして使用できる評価法。
- ※ 有関係対語：関係性の高い二つの単語 \* 無関係対語：関係性の低い二つの単語



- ※ TMT-J：幅広い注意、ワーキングメモリ、視空間探索、処理速度、保続、衝動性などを総合的に測定できる評価法。
- ※ Part A：数字を順番に結ぶ \* Part B：数字と五十音を交互に結ぶ。

## 6. 自立訓練提供の取組について

### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

#### 高次脳プログラムの強化

- 取組の背景・概要  
自立訓練プログラム検証プロジェクトを立ち上げ、現状のプログラム等について検討を行った。
- 内容
  - ① プログラムと生活の連動性を高めることを目指し、各プログラムの意図するものを職員間で再確認する。
  - ② ケース担当者がプログラムで実施していることを活かして支援を行い、その内容をプログラム担当者が反映できるような体制を構築する。
  - ③ 今年度からのプログラム内容、体制について定期的(毎月)に振り返りを実施する。
  - ④ 先進地視察やリハビリテーション研究集会等に参加し、先進地の取り組みを学び、支援に取り入れる。
- 取組の課題・改善点
  - ・ ケース担当とプログラム担当の情報共有は以前と比べてできるようになったが、ケース担当者の経験によってはプログラム担当者からの情報を生かしきれていない状況も散見されるため、ケース担当にプログラム毎の情報を共有し、ケース担当へのフィードバックの頻度を高める。

#### SIM評価の活用

- 取組の背景・概要  
令和6年度からSIM評価を開始。各職員が同じような視点で評価を実施するためにも、評価の振り返りおこなうことで評価の精度を挙げていく必要があるとともに、医療機関へ自立訓練の支援効果を伝えるために評価データを蓄積・分析する必要がある。
- 内容
  - ① 利用開始時、利用終了時に評価を実施し、データの蓄積をおこなう。
  - ② 評価の振り返りをおこない、各職員が同じような視点で評価をおこなう。
  - ③ 他事業所でのSIMの活用について情報収集をおこなう。
- 取組の課題・改善点  
SIM評価項目に対してアプローチが十分でないものがあるため、SIM評価結果を基にプログラムの見直しが必要。また、詳細マニュアルの理解が十分でなく評価者によって解釈が異なるため、検者間の差異を少なくするために、定期的な情報交換を行い、職員の理解向上を図る。

# 6. 自立訓練提供の取組について

## かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

### 利用者用レジュメ

### 職員用レジュメ



## 高次脳機能障害プログラム 遂行機能・論理的思考のワーク

名前：

実施日：



### 遂行機能・論理的思考のワークのメリット

1. 例示された場面から、自分の経験を思い出ししたり、様々な状況を考えたりすることで、「イメージする力」がつく
2. イメージした場面で、どの情報が大切か、「情報を整理する力」がつく
3. 情報をもとに、どのような判断が適切か考える「論理的思考の力」がつく

【あなた】→自分のこととして考えてください  
【友人】→身近な友人、家族を想像してください

①三宮駅までの交通手段です。  
それぞれ時間・金額はどのくらいかかると予想してみましょう。

交通手段	時間 (片道)	金額 (往復)
高速バス ゆめタウン→三宮駅	約 時間	約 円
車 高松中央1C→三宮駅 豊橋1C→三宮駅	約 時間	約 円 (高速代のみ)
JR 高松駅→三宮駅 ※新幹線	約 時間	約 円 (阪神往復フリーきっぷ)
JR 高松駅→三宮駅 ※在来線	約 時間	約 円
フェリー 高松港→神戸港	約 時間	約 円



②答え合わせをして、正解を赤で書き込みましょう

③どの手段を選びますか？

高速バス 車 新幹線 在来線 フェリー  
その他 ( )

④午前10時に三ノ宮駅に着くには何時頃に高松を出ますか？

くらいに高松を出る



## 高次脳機能障害プログラム 遂行機能のワーク



共通実施

実施日：

職員：

準備物：ワークシート・ホワイトボード

実施内容：旅行計画を通して、状況を正しく理解し、条件に合った判断を考える

### 特に意識してアスローにする項目



記憶障害		注意障害	
<記憶の種類>	<記憶の種類>	<注意の配分>	<注意の選択>
<input type="checkbox"/> 直観記憶 <input type="checkbox"/> 長期記憶 <input type="checkbox"/> 短期記憶 <input type="checkbox"/> 意味記憶 <input type="checkbox"/> 遠隔記憶 <input type="checkbox"/> 順列記憶	<input type="checkbox"/> 符号化 <input type="checkbox"/> 貯蔵 <input type="checkbox"/> 検索 <input type="checkbox"/> 記憶の引出し方 <input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 再認	<input type="checkbox"/> ABCを同時処理 <input type="checkbox"/> 注意の持続 <input checked="" type="checkbox"/> 注意の切り替え <input type="checkbox"/> 集中力	<input type="checkbox"/> ABCからAを選ぶ <input type="checkbox"/> 注意の切替 <input type="checkbox"/> A→B→Cの切替
遂行機能障害		言語障害	
<input checked="" type="checkbox"/> 自己認識 <input checked="" type="checkbox"/> ガールセッティング <input checked="" type="checkbox"/> プランニング <input type="checkbox"/> 発動性 <input checked="" type="checkbox"/> 自己モニタリング	<聞く> <input type="checkbox"/> 短い文章を聞く <話す> <input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 説明する	<読む> <input type="checkbox"/> 短い文章を読む <input checked="" type="checkbox"/> 短い文章を読む <書く> <input type="checkbox"/> 月報 <input checked="" type="checkbox"/> メモ	

### 実施の流れ

#### 【前回の確認】

- ・先週は何をしたか、カレンダーを見て振り返りましょう。(メモできている人に言ってもらう)
- ・振り返りをする事で記憶が想起され、積み重ねができていくことを確認

#### 【今日のテーマ：遂行機能・論理的思考のワーク】

##### (職員)

今日は「遂行機能・論理的思考のワーク」を行います。様々な情報を総合して未来の予定を考えたり、様々な条件を考えて判断したりする力です。今回は旅行の予定を考えるワークを通して行います。

では、ワークに参加するメリットを読んでください。

(利用者を読んでもらう)

1. 例示された場面から、自分の経験を思い出ししたり、様々な状況を考えたりすることで、「イメージする力」がつく
2. イメージした場面で、どの情報が大切か、「情報を整理する力」がつく
3. 情報をもとに、どのような判断が適切か考える「論理的思考の力」がつく

##### (職員)

#### 1-①

では1を読んでください。(利用者に1「あなたは友人と～」を読んでもらう)

これから皆さんに予算3万円神戸に日帰り旅行をするプランを考えていただきます。

まず①交通手段の時間と値段を予想してみましょう。それぞれの交通手段でかかる時間、値段を書いてみてください。予想なので思いつきで構いません。この、予想をする↑正解を知って違いを確認するという作業も、論理的思考にとっても大切な工程です。(予想を書いてもらう)

#### 1-②

では正解をお伝えします。まず高速バスは何時間かかるとおもいますか？(利用者発表してもらう)

正解は3時間です。あたりましたか？違っていたら、赤で正解を書いてください(板書しながら正解を伝える)※以降繰り返す

#### 1-③

それでは、皆さんが神戸に旅行に行くとしたら、どの交通手段を選びますか？選んだものに○をつけてください。

#### 1-④

みなさんが選んだ交通手段を使った手、朝10時に三ノ宮駅に着くとすると、高松を何時くらいに出発することになりますか？

逆算して書いてみてください。

## 6. 自立訓練提供の取組について

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

#### グループワークの実施について

##### ● 取組の背景・概要

①生活訓練グループ、②機能訓練のニーズの高いグループ、③就労グループに分け、それぞれのグループに担当支援員を配置してグループワークを実施。作業療法士は各グループに横断的に関わりながら、訓練内容に対する専門的介入や、利用者に対する面談や評価などの個別対応を実施。

##### ● 実施内容

###### ・グループワークの実施

##### ①生活訓練グループ

地域生活に必要なスキル獲得のため、メモリーノートを活用した日常生活訓練、コミュニケーション訓練、パソコン講習、利用者が自ら企画する形での外出訓練・買物訓練・調理実習、障害の学習会などを実施。

##### ②機能訓練グループ

身体機能の維持向上のためのトレーニング実施を中心として、生活訓練グループ同様の内容を実施。

##### ③就労グループ

復職希望者には、職場との調整や職場の希望する業務内容(清掃・皿洗い・受付業務など)に即した実践的な訓練を実施するとともに、復職後の定着に向けたフォローを利用者・職場に対して実施した。

新規就労希望者には、事務、軽作業、清掃、洗車、物品の運搬や管理など多様な業務訓練を実施するとともに、履歴書作成や面接練習、マナー練習などを実施。利用者の希望や障害特性に基づき、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、募集事業所の見学～実習～トライアル雇用と関わりながら、障害特性による配慮事項や対応事項について事業所や連携機関との調整を行った。

・社会的生活自立度評価(SIM)の実施

##### ● 取組の課題・改善点

生活介護の利用者に対しては、障害が重度であることから、提供するプログラムもクロスワードや余暇活動等であったが、生活訓練プログラムが難しい利用者でも、部分的に軽作業等が可能な利用者については、積極的に参加を促すことも必要と感じた。また、作業に従事することで、将来的な生活訓練への切り替えを目指す。

機能訓練



就労訓練



## 6. 自立訓練提供の取組について

### ダイアリー

#### 訓練スペース、プログラムについて

##### ● 取組の背景・概要

既存の機能訓練スペースでは脊髄損傷の方と高次脳機能障害の方などが一緒に訓練をするため、集中できる部屋やグループ訓練の場所が確保できずにいた。STやOTの増員により、ST室やグループ訓練室を確保する必要があった。

また、高次脳機能障害者が訓練利用者の50%に達しており、より個別的な支援と終了後の支援に時間をかける必要が生じていた。

さらに、「調査(S)ープログラム立案(P)ープログラム実施(D)ー評価(C)ー改善(A)ー社会につなぐ」という流れにおいて、専門職の力量によってプログラムの質と他機関との連携に差が生じていた。リハビリテーション加算(I)を算定していくにあたりSIMを連動させた流れを作り、高次脳機能障害に特化した評価を実施し、プログラムに反映させる必要があった。

##### ● 取組の効果

- 2024年7月に機能訓練のための新棟を開設し、高次脳機能障害の方々が訓練しやすい施設を設計・建設した。また、STやグループ訓練が実施しやすくなり、自主トレでの机上訓練のスペースも確保できることになった。
- 高次脳機能障害支援者養成研修を受講し、さらに訓練の質を高めることで、加算の算定に繋がりたいと考えていたが、今年度は1事業所1名までのため、加算算定要件の50名の利用者に対して1名の研修修了者を満たせず、次年度からの算定を目指す形となった。
- SIMの流れはできたが、評価結果をプログラムに反映させることは不十分となっている。

##### ● 取組の課題・改善点

- 高次脳機能障害支援者養成研修などの内容を落とし込む場合、評価、個別支援会議、リハカンファレンスの流れにおいて、高次脳機能障害者に対する支援の流れを別枠で作成していく必要がある。SIMはあくまでもスクリーニングであるため、高次脳機能障害者用のS-P-D-C-Aサイクルを検討していく。
- 専門職が多い施設のため、施設側で実施可能な高次脳機能障害に対する評価を行うことが求められており、検査道具の購入や定期評価の種類を選定する必要がある。
- 終了後の連携先に、高次脳機能障害を有する対象者の状況を分かりやすく伝える書式や動画も必要である。

機能訓練棟



ホール全体



運動



グループ



個室



机上での自主トレスペース



## 6. 自立訓練提供の取組について

### ワークセンター大きな木

#### SIM評価について

##### ●取組の背景・概要

高次脳機能障害者に対する定期的な神経心理検査の実施が、マンパワー不足により十分に行われていない現状がある。本事業では、社会自立度評価尺度(SIM)との関連性を明らかにすることで、よりエビデンスに基づく介入・支援の実現を目指す。

##### ●取組の効果

職員を非常勤から常勤雇用へ転換したことにより、時間的な余裕が生じ、よりきめ細やかな個別支援を提供できるようになった。さらに、早期に神経心理検査の実施が可能となった。

##### ①SIM実施者(延べ人数)

93名(うち高次脳機能障害者81名)

##### ②実施した神経心理検査

- ・CAT-R(改訂版 標準注意検査法・標準意欲評価法)
- ・かなひろテスト
- ・TMT-J(Trail making test )
- ・GSES(一般性セルフ・エフィカシー(自己効力感)尺度)
- ・POMS(気分抑うつスケール)
- ・三宅式記銘力検査
- ・Rey-Osterrieth複雑図形
- ・WCST(ウィスコンシンカードソーティングテスト)
- ・コース立方体組合せテスト

##### ●取組の課題・改善点

本年度のSIM研修会で得た知見に基づき、SIM評価の妥当性と客観性について更なる検討が必要。

今後は、神経心理検査の結果と照らし合わせながら、個人の社会背景も考慮することで、一般就労、福祉的就労、復職といった多様なアウトカムとの関連性を詳細に分析していく予定。

## 6. 自立訓練提供の取組について

### 就労準備支援センターあぽかぼ

#### 自立訓練プログラムについて

##### ●取組の背景・概要

入院中は看護師等のサポート、また退院後自宅では家族のサポートがあり日常生活で困ることがないが、外出し事業所に通うことで公共交通機関、人込み、道迷いなど困難なことに遭遇する。その困り感が社会生活上の課題にもなってくるので、その課題を活動の中で一緒に確認し取り組んでいく。

また事業所を利用している他の方々と一緒に活動することで自分の症状にも気づく場面もある。

##### ●取組の効果

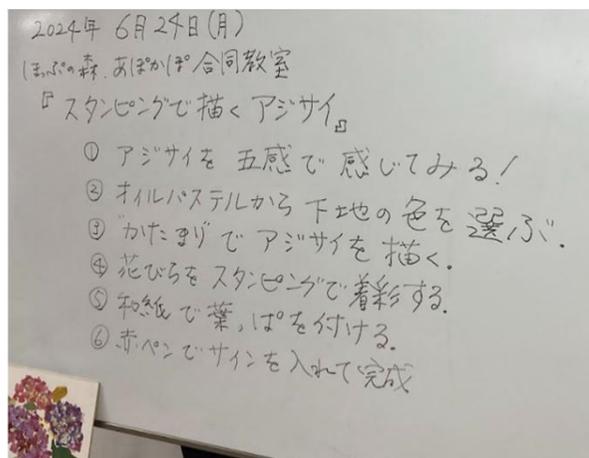
令和5年度から生活訓練事業を開始したところであるが、今年度は利用者も増え、毎日4～6名が活動している。

今年度は独自のSIM評価表を使用し、定期的な面談の際の振り返りと目標決めに活用できた。

また、仙台市内にある他の生活訓練事業所と2か月に1度の連絡会議を開催し実施プログラム、SIM評価表、集客、人材育成など情報共有している。実施地域も異なるのでそれぞれの地域における資源の共有も行っている。

##### ●取組の課題・改善点

利用人数が増えたことでプログラム内の個別対応が増えてきている。集合訓練時と個別対応での職員体制を考えながら実施していきたい。



## 7. 地域連携の取組について

(令和4年度より実施)

### 千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 引き続き、事業所を訪問する際に本事業の説明をするとともに、高次脳機能障害者支援についての情報交換を行う。
- 県内の自立訓練事業所に対し、高次脳機能障害者の障害特性や支援及び評価についてSIMを用いた研修会を開催し、その後も連携できるよう体制を構築した。

### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 引き続き、他の高次脳機能障害支援拠点機関の協力を得て取り組み、また、他の支援拠点機関の企画に講師派遣・運営協力するなど、相互に事業協力することで、高次脳機能障害に関する理解を深め、連携を図った。
- 新たに市民向けポスターを作成し、愛知県内の公所に掲示を依頼した。

### 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

- 引き続き、ネットワーク構築支援事業とともに、市町村や相談支援事業所においても、高次脳機能障害への理解が必要であることから、県内全市町村を訪問し、リーフレット、ポスター、事業紹介カードを配布。
- 地域連携用のリーフレットについては、当事業所の実施する電話相談・事業所訪問といった地域生活支援事業と、他の事業所や企業に向けた研修会開催などのバックアップ体制とともに実際の活用事例を掲載。

### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

- 引き続き、相談支援事業所を中心に地域の支援状況の確認を行い、高次脳機能障害支援センターや成人支援施設(自立訓練)の役割や対象者像の共有、連携することの有効性等について説明を実施。
- 高次脳機能障害ミニセミナー&施設見学会を実施し、高次脳機能障害についての講義だけではなく、自立訓練と就労移行支援を見学できる機会を設け、地域の支援者に支援の効果性を伝えた。

## 7. 地域連携の取組について

(令和5年度より実施)

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

- 引き続き、グループホームへ作業療法士の派遣を行うとともに、新たに復職する会社において、作業療法士を講師として派遣し、高次脳機能障害者の特性についての勉強会を開催。
- 就労支援機関や企業に対して積極的な働きかけを行い、高次脳機能障害者の就職を促進
- 高次脳機能障害支援養成研修の実施

### ダイアリー

- 障害福祉サービス事業所に対し、実態把握のためのアンケート調査を実施。当該アンケートをきっかけに高次脳機能障害への興味・関心を持ち、研修や座談会に参加する事業所が出てきた。
- 社会福祉協議会とコラボし、「土曜親子講座」にて、市内の小学生から高校生の約30名と失語症がある高次脳機能障害者のワークショップ(カルタ遊び、だるまさんが転んだ)を開催。

(令和6年度より実施)

### ワークセンター大きな木

- 静岡県内の生活訓練および機能訓練事業所36施設に利用対象者についてのアンケートを実施した結果(回答数:15件、回収率:41.6%)、高次脳機能障害者の利用人数は少なく、更に交通事故となると限られた施設でのみ利用されていることが明らかになった。
- 研修会では地域連携の課題と対策についてグループワークを実施し、その結果をテキストマイニングで分析をおこなった。

### 就労準備支援センターあぽかぼ

- 障害者自立支援協議会のネットワーク会議への参加、各種研修会の参加及び市内機能訓練事業所での情報交換を行いながら事業案内と高次脳機能障害の普及啓発を行った。
- 毎年、どんまいネットみやぎと共催している「令和6年度宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会」において、今年度は家族の発表と地域での家族会に取り組んだ。

# 7. 地域連携の取組について

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

## 地域の自立訓練事業所との連携(研修会の開催)

### ●取組の背景・概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園は、施設入所支援を有していることから社会復帰に向けた地域移行に力を入れており、年間50カ所以上の地域事業所への訪問や連携を実施している。

また全国障害者自立訓練事業所協議会に参加し、県外の自立訓練事業所と連携しながらサービスの質の向上に努めている。

しかし、千葉県内の機能訓練事業所は減少傾向にあり、また生活訓練事業所は増加傾向にあるものの小規模で民間参加が多いことから高次脳機能障害者支援に対し不安に思っている事業所が多い。

### ●取り組みの効果

事業所訪問の際には本事業の説明に合わせ、高次脳機能障害者支援についての情報交換を行う。

また千葉県内の自立訓練事業所に向けて高次脳機能障害者の障害特性や支援及び評価についてSIMを用いた研修会を開き、その後も連携できるよう体制を構築することで、千葉県内の自立訓練事業所の多くが高次脳機能障害者を受け入れられる効果が期待される。

### ●課題・次年度以降に向けた改善点

千葉県内の機能訓練事業所は6年前より機能訓練事業所連携会を作り、定期的な情報交換を行っていたが、生活訓練事業には千葉県内の連携会がなく、高次脳機能障害者支援に対する理解が低かった。

本事業で行った研修会にて連携機会を得ることができたことによって、次年度以降に連携強化し高次脳機能障害者支援について理解を深めて頂く機会が必要と考える。

令和6年度 福祉サービス報酬改定 自立訓練の加算項目  
**社会生活の自立度評価指標 (SIM) を学ぼう!**  
 2024年9月6日(金) 14:00~17:00  
 会場 美浜文化ホール  
 〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5-15-2

申込み期限 | 2024年8月23日(金)まで

**プログラム**

- 14:00 開会
- 講演 「SIMの解説」 かがわ総合リハビリテーション事業団 地域生活支援部長 小島 正平氏
- 14:40 評価事例報告① 機能訓練事業所
- 15:00 評価事例報告② 生活訓練事業所
- 15:20 評価事例報告③ 機能訓練事業所
- 15:40 評価事例報告④ 生活訓練事業所
- 16:00 ディスカッション テーマ「SIMの評価基準と公表について」
- 16:50 閉会
- 17:00 終了

### 社会生活の自立度評価表とは？

社会生活の自立度評価表 (Social Independence Measure) 略してSIMと呼ばれます。  
 SIMは障害福祉サービスの自立訓練(機能訓練・生活訓練)事業における評価基準の指標として令和2~3年度厚生労働科学研究の「障害者に対する社会リハビリテーション支援プログラム及びその評価手法開発に関する研究」の中で開発されました。自立訓練では様々な訓練プログラムや支援の中で身体・認知機能や生活能力の向上だけでなく、安定した地域生活や社会参加が継続できるよう、社会生活の自立を目指して支援をしていますので、SIMは様々な視点・側面から地域生活や社会参加に繋がる能力の評価指標としています。令和6年度の障害福祉サービス報酬改定においてリハビリテーション加算(機能訓練)や個別計画訓練支援加算(生活訓練)の加算要件となりましたので、是非この機会に学んで下さい。



かがわ総合リハビリテーション事業団 地域生活支援部長  
 小島 正平氏  
 小島様はかがわ総合リハビリテーション事業団の理事で地域生活支援部長として活躍され、全国障害者自立訓練事業所協議会の副会長を務められています。厚生労働科学研究の委員として中心的にSIMの開発に携わりマニュアル作成や研修会などSIMを広める活動をされています。

以下にご記入いただき、お申込み下さい

SIM研修事務局 千葉リハビリテーションセンター-更生園(担当:寺内)  
 FAX: 043-291-1849 mail: kouseien@chiba-reha.jp

フリガナ			
施設名			
TEL	FAX	e-mail	

\*研修参加に必要な範囲内での個人情報の提供について、同意のうえ、以下の通り申し込みます。

	氏名/フリガナ	職種	備考
参加者			
事前質問			

※会場定員の関係上、1事業所1名までお願い致します。

※車椅子使用の方や介助者が必要な方など、配慮が必要な方は質問事項欄にその旨をお伝えください。

# 7. 地域連携の取組について

## 名古屋市総合リハビリテーションセンター

### 会議・研修・見学会等の開催による連携強化

#### ●取組の背景

高次脳機能障害に対する支援は、医療から始まり、行政、福祉、教育、就労支援機関等の幅広い関係者が関わっていることから、それぞれのニーズに即した研修を通じて連携を深め、人材を育成する必要がある。

#### ●取組内容

近年、名古屋市外で集合形式の研修は開催できていないものの、オンラインセミナーに毎回約100名、医療機関も福祉関係と同程度参加いただいている。

また、県外からも毎回3割程度参加いただいております、広いエリアのニーズに対応している状況である。

また、広報・啓発に力を入れてきたことで、ちらし等を見たことをきっかけに相談される方が増えている。

#### <実施内容>

- ・福祉事業所への出張相談
- ・失語症サロンでの出張相談
- ・若年者のつどい
- ・失語症のある方のICT講座
- ・メール相談開設
- ・情報の充実化
- ・広報・啓発 等

#### ●取組の課題(改善点)

これまでの取り組みを継続しつつ、必要かつ可能な取組を企画・強化していく。

### 失語症サロンチラシ

#### 失語症サロン@みかん山

##### ご案内

日時：令和6年8月3日(土)  
14:15~16:00

会場：名古屋市総合リハビリテーションセンター  
4階 大研修室

対象：失語症の人・ご家族・支援者

●失語症の皆さんと一緒に、あれやこれや、お話ししながら、楽しい一時を過ごしましょう。

●おしゃべりしたい方、相談したい方、愚痴りたい方・・・どうぞお気軽にお集まりください。

参加費無料  
先着20名  
(事前申込制)

申し込み方法：①リハビリセンター1F 総合相談窓口(講師)  
②メール ③電話 ④FAX(裏面参照)

申し込み：なごや高次脳機能障害支援センター ST 講師  
お問い合わせ(名古屋市総合リハビリセンター1階 総合相談窓口)  
E-Mail n-koujinou@nagoya-rehab.or.jp  
☎ (052) 835-3814 FAX (052) 838-9105

失語症サロン@みかん山 参加申込

### 失語症啓発チラシ

#### 失語症 ってご存じですか？

(しつごしょう)

失語症は、脳の言語中枢が損傷されることで起こる言語障害です。

##### 聞くこと

- ・耳は聞こえているのに、言葉の意味が理解できない
- ・聞いた内容を頭の中に留めておくことが難しい

##### 話すこと

- ・言いたい言葉が浮かんでこない
- ・思ったことと違うことを言ってしまう

##### 読むこと

- ・読んで理解することが難しい
- ・漢字より仮名が特に難しい
- ・声に出して読んでも意味が分かっていないことがある

##### 書くこと

- ・文字を思い出せない
- ・仮名が特に難しい
- ・書き崩れがある

#### 失語症の原因

脳血管障害	脳梗塞・脳出血・くも膜下出血 など
頭部外傷	交通事故・転落 など
その他	脳腫瘍・脳炎 など

### 市民向け啓発ポスター

#### 高次脳機能障害を知っていますか？

病気や事故で脳にダメージを受けたあと、こんな症状(後遺症)があります。

##### 注意障害

同時に複数のことに注意がはらえなくなった。うっかりミスが増えた。集中力が続かなくなった。

##### 記憶障害

すぐに忘れるようになった。新しいことを覚えることが苦手になった。

##### 遂行機能障害

目標的に計画を立てることが苦手になった。

##### 社会的行動障害

ささいなことでイライラするようになった。やる気が出なくなった。

##### 失語症

言葉が出にくくなった。聞く、話す、読む、書くことが難しくなった。

この障害により、生活や仕事、学校でトラブルやミスを生じ、社会生活に支障が出る場合があります。お困りごと、気になることがあるときは、**相談してみましょ。**

愛知県高次脳機能障害支援拠点機関

なごや高次脳機能障害支援センター (名古屋市総合リハビリテーションセンター内) **児童に親しみ相談もできます。**  
電話:052-835-3814

高次脳機能障害愛知県東部支援センター-笑い太鼓  
電話:0532-34-6098

### 市民向け啓発チラシ

#### 知ってる? 高次脳機能障害

病気や事故のあとこんな症状で困っていませんか？

##### 記憶障害

- すぐに忘れるようになった。
- 新しいことを覚えるのが苦手になった。

##### 遂行機能障害

- 物事を順序付けで考えることが苦手になった。
- 段取りが壊れた。
- 効率的に計画を立てることが苦手になった。

##### 注意障害

- 同時に複数のことに注意がはらえなくなった。
- うっかりミスが増えた。
- 集中力が続かなくなった。

##### 社会的行動障害

- 自己主張が弱くなった。
- 我慢できなくなった。
- ささいなことでもイライラするようになった。
- やる気が出なくなった。

※重症例には個人差があります。

#### 高次脳機能障害の原因

脳外傷	交通事故やスポーツ事故、転落や転倒など
脳血管障害	くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、もやもや病など
脳腫瘍・脳炎、脳腫瘍など	心筋停止による酸素不足など

※高次脳機能障害は、外見では高次脳機能障害があることが分かりにくいことに加え、本人も自覚することが難しいため、「見えない障害」とも言われることがあります。

# 7. 地域連携の取組について

## 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

### 研修等の開催

- 取組の背景・概要
 

昨年度実施した研修のアンケートにて、「知識の習得とともに医療から福祉、そして地域生活までの一連の流れを具体的にイメージできるようになった。」との感想を頂き、高次脳機能障害の普及には、普及ポスターや事業紹介カードなどの資料の作成及び配布とともに、各々の支援施設のニーズに即した内容の研修を行ったり、支援機関同士が相互交流できる機会の提供が重要であると考えた。
- 取組内容
 

引き続き、以下の研修を開催。

  - ・高次脳機能障害の基礎知識と具体的な症状、福祉サービスの研修
  - ・就労に関する支援体制の充実を図るための研修
  - ・SIMの研修
- 取組の成果と課題
 

研修会の参加が想定よりも低迷しているため、研修の案内方法や案内先などを見直す必要がある。



令和6年度 国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業 社会復帰促進事業

**参加無料**

### 第1回 地域連携支援研修会

## 交通事故後の後遺症と就労支援

～交通事故にあってから、頭がすっきりしないことはありませんか？～

**日時** 2024年11月6日(水)  
13時30分～16時00分  
(Zoom入室は13:00～)

**会場** オンライン開催 (Zoom)

**定員** 先着60名  
\*定員になり次第締め切ります。

**申込** メールまたはGoogleフォームにて、必要事項を記載して、ご申込みください。詳細は裏面をご覧ください。

**第1部** 13時40分～14時40分  
**頭部外傷と高次脳機能障害**  
講師: 平林 秀福  
(上本町ふるさと健康・脳神経クリニック院長)

**第2部** 14時50分～15時50分  
**高次脳機能障害と就労支援 (仮)**  
講師: 小島 七つさ  
(ワークラボ 社会福祉士・サービス管理責任者)

**お問い合わせ**  
奈良県障害者総合支援センター  
総合相談支援センター  
TEL: 0744-40-6631

**申込締切: 令和6年10月30日(水)**

主催: 奈良県障害者総合支援センター 共催: 高次脳機能障害支援センター

# 7. 地域連携の取組について

## かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

### 相談支援事業所への説明

#### ●取組の背景

病院退院後に適切な支援へ繋がっていない場合や自立訓練利用終了後に新たな問題が発生している場合があるが、支援が途切れてしまった方への関わりについて、支援体制に地域差がある。

#### ●取組内容

- 地域のサービス提供事業所等へ支援状況の確認、高次脳機能障害支援センターや成人支援施設(自立訓練)の役割や対象者像の共有、連携することの有効性等について説明をおこない、高次脳機能障害者の理解を深める。
- 支援体制の整っている高松市以外の地域での高次脳機能障害者の相談体制について確認し、地域に合った連携体制について検討する。県や市町、地域の核となる相談支援事業所と状況を共有する機会を持ち、地域に合った連携体制について協議する。
- 高次脳機能障害児向けの啓発資料を作成し、教育現場へ啓発をおこなう。
- 高次脳機能障害ミニセミナー&施設見学会の実施。高次脳機能障害についての講義だけではなく、自立訓練と就労移行支援を見学できる機会を設け、地域の支援者に支援の効果性を伝える。
- 研修会の実施。地域の自立訓練事業所に対して、SIMの活用方法や実践報告をおこない、地域で自立訓練利用の有効性を関係機関や団体等に客観的に示すことにより、自立訓練の目的や役割を分かりやすく普及することを目指す。

#### ●取組の成果と課題

相談支援事業所への訪問を継続するとともに、地域のサービス提供事業所等に対し、支援状況の確認、高次脳機能障害支援センターや成人支援施設(自立訓練)の役割や対象者像の共有、連携することの有効性等について説明を行い、高次脳機能障害者の理解を深める必要がある。

また、地域の相談体制を整え、研修会の内容も充実させる必要がある。加えて、事業の取り組み効果を確認するため、令和7年度にこれまで啓発訪問や講師派遣、個別ケースでの連携をおこなった事業所に対してアンケート調査を実施する予定。

## 小児啓発チラシ

お子さんが、事故や病気のと  
こんなことに困っていませんか？

もしかしたら… こうじのうきのうしようがい

# 高次脳機能障害

…かもしれない

物忘れをする 	内容が理解できない 	集中できない 
取り掛かれない 	しつこい 	すぐキレる 
疲れる 	友達関係が 上手くいかない 	→ 次ページの チェックリストで 詳しく確認しよう

このパンフレットは国土交通省「自動車事故被害者支援特別調整事業（社会復帰促進事業）」の協賛にて作成しています。

## 研修会チラシ

### R6年度 高次脳機能障害 ミニセミナー&見学会

※高次脳機能障害支援体制加算研修ではありません。

高次脳機能障害の対応方法や支援のヒントを  
一緒にみつけませんか？

<p>【第1回】 令和6年8月19日（月） 13：30～15：30</p> <p>【内容】 ①高次脳機能障害ミニセミナー ②センター内見学 自立訓練 高次脳プログラム</p> <p></p> <p>【申込締切】 令和6年8月13日（火）</p>	<p>【第2回】 令和6年10月9日（水） 10：00～12：00</p> <p>【内容】 ①高次脳機能障害ミニセミナー ②センター内見学 就労移行支援</p> <p></p> <p>【申込締切】 令和6年10月2日（水）</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【問い合わせ先】  
かがわ高次脳機能障害支援センター  
かがわ総合リハビリテーションセンター内  
(高松市田村町1114番地)  
TEL：087-883-8200 FAX：087-883-8201 担当：松村

## 7. 地域連携の取組について

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

#### グループホーム、就労支援機関等への訪問

##### ●取組の背景・概要

障害福祉分野においては、高次脳機能障害者支援体制加算に伴う、高次脳機能障害支援養成研修の実施により、高次脳機能障害に対する認識が高まったが、医療・就労支援機関等は、高次脳機能障害に対する認識が未だ十分でない状況であり、訪問等による情報提供を行った。

地域移行する際の受け皿となるグループホームについても、居所から通える高次脳機能障害に理解のある事業所が少ない実情がある。

復職する事業所においても、人事部門や配属となる部署の方に高次脳機能障害の特性を理解していただく必要があることから、新たに高次脳機能障害者等を受け入れるグループホームや事業所に対して、支援における困りごと相談、あけぼのでの生活訓練の支援状況の見学研修、勉強会への参加、事業所への作業療法士及び支援員の派遣などにより、地域の事業所支援を行う必要があった。

##### ●取組内容

- 引き続き、グループホームへ作業療法士の派遣を行うとともに、新たに復職する会社において、作業療法士を講師として派遣し、高次脳機能障害者の特性についての勉強会を開催。
- 就労支援機関や企業に対して積極的な働きかけを行い、高次脳機能障害者の就職を促進
- 高次脳機能障害支援養成研修の実施

##### ●取組の成果と課題

- 復職・新規就職に伴う会社・作業所等へ派遣する職員の拡大
- 高次脳機能障害者を受け入れている、または受け入れ可能な事業所の把握
- 高次脳機能障害支援養成研修受講希望者の拡大に係る県との調整

# 7. 地域連携の取組について

## 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

### 高次脳機能センターパンフレット

#### 高次脳機能障害とは？

事故（交通事故や転倒等）や病気（脳卒中や脳炎等）などで、脳が損傷することによって以下のような症状があらわれることがあります。これらの障害をまとめて「高次脳機能障害」といい、日常生活や仕事、対人関係に障害が出る場合があります。

この障害は外見上ではわかりにくく、周囲の理解を得られにくいという特徴があります。また、障害の内容によっては、本人でも気づきにくいことがあります。

高次脳機能センターは高次脳機能障害者とご家族が幸せに暮らせる社会を目指します

#### 高次脳機能障害の主な原因

1. 脳外傷：交通事故や転倒など
2. 脳卒中：脳出血、脳梗塞、くも膜下出血など
3. その他：脳炎、脳腫瘍、脳脊髄液減少症など

#### 高次脳機能障害の主な症状

- 記憶障害
  - ・物忘れがひどくなる。
  - ・今言ったことを忘れてしまう。
- 注意障害
  - ・ぼーっとしている。
  - ・一度に2つの事が出来ない。
- 実行機能障害
  - ・時間を守れなくなった。
  - ・計画を立てることが困難。
  - ・仕事をやりかたでそのままだらけておいてしまうことが多くなった。
- 社会的行動障害
  - ・感情の爆発がある。
  - ・浪費がひどくなる。
  - ・みんながいる前で不適切な発言をするようになった。
  - ・依存性になった。
- 失語症
  - ・思ったことが言葉にならない。
  - ・言葉や数字の理解が難しい。
  - ・言われたことが理解できない。
  - ・読めない。
  - ・書けない。

#### 高次脳機能センターの機能

- 相談、家族支援
- 入院・外来での専門医療
- 診断・評価
- リハビリテーション医療
- 生活自立・社会復帰支援（就労支援・就労支援）
- 地域ネットワーク
- 教育・啓発・調査研究
- その他、新たなニーズへの対応

#### 診療のご案内

診療は予約制です。まずは、お電話にてご相談下さい。

TEL 082-425-1455（内線 237）

■脳疾患・リハビリテーションに関する専門医が診察します

※県内唯一の高次脳機能障害診療実績を有します

※専門の支援コーディネーターが対応します

※相談のみでもお受けいたします

**相談：無料**

#### アクセス

■JR JRバスを利用の場合  
「広島県立総合リハビリテーションセンター」停留所下車、徒歩約5分

■自動車の場合  
山陽自動車道西条インターから車で約20分

■無料送迎バス  
JR西条駅（西条駅）から、「広島県立総合リハビリテーションセンター行き」の無料送迎バス（1日1往復）があります。  
※詳しくはHPでご確認ください。

## 広島県高次脳機能センター

# Hiroshima Higher Brain Function Center

広島県立障害者リハビリテーションセンター

〒739-0036 広島市西条岡田 0295-3

TEL 082-425-1455（内線 237）

FAX 082-425-1094

URL <http://www.rehab-hiroshima.org>

### あけぼのパンフレット

あけぼのは…

高次脳機能障害・身体障害（肢体不自由）の方に対して、生活や就労の訓練および進路支援などのサービスを提供し、目標とする生活の実現をお手伝いします。

こんなお悩みやご希望はありませんか？

生活や人とのかわりの中で「難しい」と感じるが多くなった。

車いすの練習、外出ができるようになりたい。

ひとり暮らしのための練習がしたい。

地域で利用できるサービスを知りたい。

高次脳機能障害のリハビリを続けたい。

復職、就職がしたい。

**高次脳機能障害による生活のしづらさは、専門的な支援を受けながら、時間をかけてじっくりと取り組むことが必要です。私たちが応援します！まずは、ご相談ください。**

#### ～主な活動とサービスの内容～

- ・日常生活訓練
- ・代償手段の活用練習
- ・コミュニケーション（対人技能）練習
- ・外出訓練
- ・買い物訓練
- ・宿泊訓練
- ・機能訓練
- ・スポーツ活動
- ・パソコン練習
- ・職業準備訓練
- ・職業体験訓練
- ・就労マッチング支援
- ・生活介助（入浴、排泄、食事等）
- ・レクリエーション活動
- ・余暇活動支援
- ・相談支援
- ・進路支援 ほか

\*「個別支援計画」を作成し、定期的に見直しを行いながら実施します。

#### 障害者支援施設 あけぼの

##### 生活訓練（自立訓練）

■対象：高次脳機能障害・身体障害（肢体不自由）の方

■利用期間：最長2年 ■定員：24名

■主な内容：

- ・高次脳機能障害のリハビリ
- ・地域生活に必要なスキル獲得のための訓練
- ・身体機能の維持向上のためのトレーニング
- ・就労（復職を含む）を目標とする訓練や就職支援
- ・生活の場の検討や環境調整
- ・サービス利用の調整

##### 生活介護

■対象：高次脳機能障害・身体障害（肢体不自由）の方

■障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）

■利用期間：個別に設定します。 ■定員：30名

■主な内容：

- ・生活上必要な介助
- ・生活能力や心身機能の維持向上のための支援
- ・作業活動や趣味活動など個々の充実した活動

##### 施設入所支援

■対象：区分4以上（50歳以上は区分3以上）の方

■利用期間：日中活動の利用期間に準ずる。

■定員：40名

■内容

- ・安全、安心な生活の場の提供
- ・日常生活上必要な介助や支援

##### 短期入所

■定員：8名

45

## 7. 地域連携の取組について

### ダイアリー

#### 障害福祉サービス事業所に対するアンケート

##### ●取組の背景・概要

就労系事業所にOT・PT・STが配置されていることが非常に少ない。配置されていても非常勤の場合も多く、継続的な支援になりにくい。さらに、就労系の事業所の多くが高次脳機能障害者の受入に消極的である。グループホームにおいては世話人が無資格の場合も多く、高次脳機能障害も身体介助の方法も理解している事業所は少ない。

##### ●取組成果

所属する障害福祉サービス事業所の連盟を通して、実態把握のためのアンケート調査を実施。  
当該アンケートをきっかけに高次脳機能障害への興味・関心を持ち、研修や座談会に参加する事業所が出てきた。

##### ●取組の課題

アンケート回収率は40.6%であったが、母数が少ないため、この形式のアンケートをもう少し広範囲で実施していく。今回得られた結果をもとに、就労系、日中活動系、グループホームのスタッフが、高次脳機能障害について学び、関わり方を理解していけるよう引き続き、連盟の中でも研修会を企画していく。

#### 土曜親子講座の開催

##### ●取組の背景・概要

障害の理解、高次脳機能障害者への理解を促すには、小さい頃からの教育が必要だが、未だに障害者と健常者という分け方があり、見えない障害に対する理解の難しさもある。

##### ●取組成果

社会福祉協議会とコラボし、「土曜親子講座」にて、市内の小学生から高校生まで約30名とワークショップを開催。  
高次脳機能障害(失語症)の方とカルタを楽しむにはどうしたら良いか、失調症状のある高次脳機能障害の方とだるまさんが転んだを楽しむためにはどうしたら良いか、というテーマで、遊びのルールをアップデートする＝障害者をルールに当てはめるのではなく、障害特性に合わせてルールを変えることを学び、ワークショップ終了後は、一気に障害者との隔たりがなくなっていた。

##### ●今後の見通し

「土曜親子講座」は、障害の価値観の変容をたった2時間で可能し、見えない障害を持つ方の生きやすさにつながり、非常に意味のある企画であるため、次年度も実施予定。

土曜親子講座2024



## 7. 地域連携の取組について

### ワークセンター大きな木

#### 他の福祉事業所に対するアンケートの実施

##### ●取組の背景・概要

福祉事業所における高次脳機能障害者数は少なく、県内の自立支援事業所の実態がわからなかった。

そこで県内すべての自立支援事業所(36施設)にアンケート調査をおこなった。あわせて20件の施設等を訪問し、ヒアリングを行い内容をテキストマイニングを用いて分析をおこなった。

また、研修会では地域連携の課題と対策についてグループワークを実施し、その結果をテキストマイニングで分析をおこなった。

##### ●取組の効果

静岡県内の生活訓練および機能訓練事業所36施設に利用対象者についてのアンケート依頼し、15施設(回収率41.6%)からの回答を得ることができた。

その結果、高次脳機能障害者の利用人数は少なく、更に交通事故となると限られた施設でのみ利用されていることが明らかになった。

(例:交通事故による高次脳機能障害となると休職中に就労移行支援のサービスを利用されている方がいる。)

##### ●取組の課題・改善点

福祉サービスの質の向上と福祉から医療に向けた連携強化のための研修会を行う。主には交通事故による高次脳機能障害の特徴とその対応などについて医療と福祉が連携する意義を伝え福祉から医療への積極的なアプローチ方法を模索する。

さらに実態調査の範囲を就労移行支援事業所に拡大し調査をすることも検討。

研修会リーフレット(浜松市会場(静岡県西部))  
(※静岡県中部、東部においても別途開催)

国土交通省 令和6年度自動車事故被害者支援体制等整備事業(社会復帰促進事業)

## 高次脳機能障害と地域社会 医療から地域への連携と学び

高次脳機能障害の理解を深めて支援に活かしたい方、退院後の移行を考えて地域資源への理解を深めたい方へ。医療と地域の連携を目指した講義と、家族会も参加してのセッションを行います。

令和6年11月8日(金)

13:30~17:00(受付13:10)

病院職員の方・福祉、相談支援事業所職員の方など

参加無料

浜松市市民協働センター 2階 第1研修室  
(浜松市中央区中央1丁目13-3)



地域で暮らすために、高次脳機能障害について知っておくべきこと(1時間)

聖隷三方原病院副院長 片桐伯真先生

高次脳機能障害者を地域で支援することの意味(1時間)

NPO法人えんしゅう生活支援net 作業療法士 建木 健

グループワーク・セッション(1時間)

申し込み・問い合わせ先

NPO法人 えんしゅう生活支援net 担当: 木田

〒433-8117 静岡県浜松市中央区高丘東3丁目46-14 TEL/FAX: 053-420-6250

E-mail: ensyuu.ssn@gmail.com WEB: <https://www.ensyuu.org/>



申し込みはこちら→

申込締め切り日: 11月1日(金) 定員40名



# 7. 地域連携の取組について

## 就労準備支援センターあぽかぼ

### 研修会、講習会等の開催・参加

#### ●取組の背景・概要

高次脳機能障害者が地域で安心して生活をするために、主に仙台市内各区で開催している障害者自立支援協議会のネットワーク会議に参加し、普及啓発を行うとともに地域に埋もれている対象者の新規利用につなげていく。なお、生活訓練事業利用者の社会復帰の場は一般就労だけでなく多岐にわたるため、地域での障害理解や資源の確認が必要である。

また、一般就労の場合、企業担当者への高次脳機能障害の理解を進めていく。

#### ●取組の効果

障害者自立支援協議会のネットワーク会議への参加、各種研修会の参加及び市内機能訓練事業所での情報交換を行いながら事業案内と高次脳機能障害の普及啓発を行った。なお、職員体制を整え可能な限り、上記研修会等にそれぞれが参加できるようにした。

また、毎年、どんまいネットみやぎと共催している「令和6年度宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会」ではご家族の立場での発表と地域での家族会に取り組み、自動車事故被害者に向けた支援事業についてオンライン含め多くの方の参加があった。

さらに、「令和6年度宮城県高次脳機能障害者支援普及事業専門研修会」に参加し、医療関係者だけでなく当事者、家族、地域の支援者向けに地域での連携について発表を行った。

#### ●取組の課題・改善点

ネットワーク構築支援において、仙台圏域だけでなく県南圏域、石巻圏域を訪問しているため、地域連携支援においても他の圏域との連携を検討する。また、説明用のツール(チラシ等)も準備する必要がある。

一般社団法人 日本損害保険協会助成事業

# 2024年度 宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会

とき 2024年9月28日(土) 13:30~16:30

ところ 仙台市医師会館2階ホール 〒984-0806 仙台市若林区舟丁64-12

配信 配信期間 10月7日(月)~10月31日(木) 参加費無料 定員150名

視聴をご希望の方にはメールにて、配信アドレスをお知らせいたします。

交通のご案内  
●地下鉄をご利用の場合 / 地下鉄大町駅下車、北1出口から徒歩3分。(回送運賃を併せてお支払い)  
●駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

仙台市医師会館 (仙台市急病センター)

<司会> 実行委員 細川 恵子 / <賛助挨拶> 実行委員長 渡邊 実 (一般社団法人どんまいネットみやぎ 代表理事、仙台厚生病院 名誉院長)

<p><b>第1部 講演</b> 13:40~</p> <p>テーマ 高次脳機能障害者をご家族に持つ方のために ~あらたな幸せを探して~</p> <p>講師 フェリス女学院大学名誉教授 立神 粧子氏</p> <p>ニューヨークのラスク研究所における脳機能回復訓練と「認知機能の神経心理ピラミッド」を紹介した著書「脳障害機能不全その先の戦略」(医学書院、2010年)は、脳神経外科・リハビリテーション医療の分野でターニングポイントになったと話題に、関東を中心に九州から東北まで専門職 / 当事者を対象に日本各地での講演多数。歌謡伴奏・室内楽など共演ピアノが専門。東京藝術大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として渡米。シカゴ大学にて修士号、南カリフォルニア大学にて博士号を取得。帰国以来、日政米の主要オーケストラ首席奏者・歌劇場のソロ歌手たちと国内外でリサイタル共演多数。日本芸術文化振興会では、文化庁や振興会基金の助成を受けている国内のオーケストラやオペラ団体の存在支援を行う。現在、フェリス女学院大学名誉教授、日本芸術文化振興会音楽プログラムオフィサー、日本ピアノ教育連盟常務理事、米田 P1 Kappa Lambda 会員。</p>	<p><b>第2部 パネルディスカッション</b> 14:50~</p> <p>テーマ 宮城の高次脳機能障害をとりまくゆるやかなネットワーク創りについて</p> <p>◆司会・進行 実行委員 一般社団法人どんまいネットみやぎ 監事 深野せつ子</p> <p>●「みやぎの家族会の現状」 一般社団法人コ・エル 代表理事 小林明美氏</p> <p>●「覚悟と異文化交流。お互いに生老病死を生きる」 みやぎ発達症を生きるネットワーク「まんまる」事務局 失職友会の会ひまり 世話人 松谷寛元氏</p>
<p><b>第3部 情報提供</b> 15:50~</p> <p>テーマ 自動車事故による高次脳機能障害者支援事業について</p> <p>独立行政法人自動車事故対策機構 仙台主管支所 課長・診断担当マネージャー 板橋 忠幸氏</p> <p>質疑応答 お聞きしたいことがございましたら申込書にご記入ください。</p>	

<賛助挨拶> 実行委員長 渡邊 裕志 (仙台リハビリテーション病院 院長)

●主催 / 宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会  
●共催 / 一般社団法人 どんまいネットみやぎ ●協力 / 特定非営利活動法人 ほつぷの森

お申し込み・お問い合わせ どんまいネットみやぎ 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-5-4F (ほつぷの森内) ☎022-797-8801

Fax 022-797-8802 Email miyagi.kojinoreha@gmail.com

## 8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細

人材雇用	全体	臨床心理士	後任心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	0名	5名
求人情報発信	該当無し							
パンフレット等作成	医療機関・地域支援機関の皆さま（A 4 3つ折り リーフレット）				200枚			
備品類導入	該当無し							
訪問先病院	<b>訪問先名</b>				<b>所在地</b>			
	松戸リハビリテーション病院（回復期）（2回）				千葉県松戸市和名ヶ谷1009-1			
	千葉中央メディカルセンター（急性期）				千葉県千葉市若葉区加曽利町1835-1			
	東京湾岸リハビリテーション病院（回復期）（4回）				千葉県習志野市谷津4-1-1			
	八千代リハビリテーション病院（回復期）				千葉県八千代市米本1808番地			
	千葉みなとりリハビリテーション病院（回復期）				千葉県千葉市中央区中央港1-17-18			
	我孫子平和台病院（急性期）				千葉県我孫子市布佐834-28			
	佐倉厚生園病院（回復期）				千葉県佐倉市鎚木町320番地			
	東邦大学医療センター佐倉病院（急性期）				千葉県佐倉市下志津564-1			
	千葉徳洲会病院（急性期）				千葉県船橋市高根台2丁目11-1			
	最成病院				千葉県千葉市花見川区柏井町800-1			
	船橋二和病院（急性期・回復期）（2回）				千葉県船橋市二和東5-1-1			
	千葉脳神経外科病院（急性期）				千葉県千葉市稲毛区長沼原町408			
	名戸ヶ谷あびこ病院				千葉県我孫子市我孫子1855-1			
	北柏リハビリ総合病院（回復期）				千葉県柏市柏下265			
	千葉・柏リハビリテーション病院（回復期）				千葉県柏市大井2651			
	柏たなか病院				千葉県柏市小青田1-3-2			
	柏厚生総合病院（急性期）				千葉県柏市篠籠田617			
	名戸ヶ谷病院				千葉県柏市新柏2-1-1			
船橋総合病院（急性期）				千葉県船橋市北本町1-13-1				
合計19病院（のべ24回）								
研修	開催	該当無し						
	参加	リハビリテーション・ケア合同研究大会			1名			
		日本生活期リハビリテーション医学会学術集会			1名			
施設見学会	4回（参加者17名）							
その他	該当無し							
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 5件				新規受入予定件数 1件（令和7年2月～3月）			

## 8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細

		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他	
自立訓練提供	人材雇用	全体	0名	2名	1.8名	0.4名	0.2名	4名
		うち補助金	0名	1名	1.8名	0.4名	0名	0名
	求人情報発信	該当無し						
	パンフレット等作成	当事者・ご家族の皆さま（A 4 3つ折り リーフレット）				200枚		
	備品類導入	生活保護手帳				1冊		
		生活保護手帳 別冊問答集				1冊		
		生活保護関係法令通知集				1冊		
		脳機能入門：機能局在から症状・リハビリまで				1冊		
	研修	開催	社会生活自立度評価（SIM）研修（参加者70名）				11名	
			全国障害者リハビリテーション研究集会				3名	
		参加	高次脳機能障害学術集会				2名	
			サービス管理者責任者基礎研修				2名	
			就業支援基礎研修				1名	
			高次脳機能障害支援者養成研修				1名	
	その他	該当無し						
自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで			令和7年2月～3月予定		
	自立訓練（生活訓練）	2名（個別）	33回	（プログラム）	117日	2名（個別）	9回（プログラム）	76日
	機能訓練	6名（個別）	178回	（プログラム）	529日	6名（個別）	55回（プログラム）	228日
	退所後支援	2名9回			2名3回			

## 8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細

人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他
	全体	0名	0名	0名	0名	0名	0名
うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	0名	5名
求人情報発信	該当なし						
パンフレット等作成	自立訓練提供支援（A4 3つ折り リーフレット）				200枚		
備品類導入	該当なし						
地域連携 訪問先	<b>訪問先名</b>			<b>所在地</b>			
	AMANEKU千葉大木戸町（共同生活援助）（1回）			千葉県千葉市緑区大木戸町1405-10			
	イグルーム船橋前原（共同生活援助）（1回）			千葉県船橋市飯山満町2丁目530-31			
	ウサギホーム（共同生活援助）（1回）			千葉県船橋市咲が丘1-2-11			
	ウサギホーム大穴南（共同生活援助）（1回）			千葉県白井市富士52番地51			
	エッセンス都賀（共同生活援助）（1回）			千葉県千葉市若葉区若松町489-1			
	おはな（共同生活援助）（1回）			千葉県千葉市稲毛区宮野木町1643-5			
	楓（共同生活援助）（4回）			千葉県八千代市大和田274-8			
	クライスハイム米本（共同生活援助）（3回）			千葉県八千代市米本2418-1			
	クライムハイム上志津原（共同生活援助）（2回）			千葉県佐倉市上志津原214-3			
	ぐらっど誉田町（共同生活援助）（1回）			千葉県千葉市緑区誉田町1-212-7			
	秋桜ビラージュ鎌ヶ谷（共同生活援助）（1回）			千葉県鎌ヶ谷市軽井沢2085-11			
	シャインホーム（共同生活援助）（12回）			千葉縣市原市古市場82-21			
	ソーシャルインクルー南新木（共同生活援助）（1回）			千葉県我孫子市南新木2-20-8			
	てとてと花見川（共同生活援助）（3回）			千葉県千葉市花見川区長作町1245-1			
	ドットホーム市原（共同生活援助）（1回）			千葉縣市原市能満2089-176			
	ドットホーム袖ヶ浦（共同生活援助）（1回）			千葉県袖ヶ浦市奈良輪817			
	ドットホーム長沼町（共同生活援助）（3回）			千葉県千葉市稲毛区長沼原町285-8			
	トミオハウス（共同生活援助）（5回）			千葉県千葉市若葉区源町562-3			
	ビートルケア鎌取（共同生活援助）（1回）			千葉市緑区平山町 2019-1			
	ビートル前原西（共同生活援助）（4回）			千葉県船橋市前原西1-35-2			
	ぶらり（共同生活援助）（3回）			千葉県茂原市六ツ野2796-12			
	まほろば（共同生活援助）（1回）			千葉県南房総市谷向166-2			
	ミラエル八千代（共同生活援助）（2回）			千葉県八千代市高津1025			
	La Iris（共同生活援助）（1回）			千葉県千葉市中央区矢作町155-2			
	国立障害者リハビリテーションセンター（自立訓練）（2回）			埼玉県所沢市並木4丁目1			
	木更津あくていぶ（自立訓練）（1回）			千葉県木更津市潮見2-9			
	ホットハートいこい（自立訓練）（1回）			千葉県市川市新田2-14-6			
	モア・しょうえい（生活介護）（1回）			千葉県長生郡長生村金田2133			
	若葉泉の里（生活介護）（1回）			千葉県千葉市若葉区野呂町1791-3			
	帝京平成大学作業療法科（地域大学）（8回）			千葉県市原市うるいど南4-1			

## 8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細

	訪問先名	所在地
地域連携 訪問先	CSコミュニティー（就労継続B型）（1回）	千葉県佐倉市上志津1667-18
	アトリの丘（就労継続B型）（1回）	千葉県富津市千種新田936番地2
	いそどり（就労継続B型）（3回）	千葉県千葉市緑区おゆみ野3丁目25-2
	ウーリー千葉中央（就労継続B型）（2回）	千葉県千葉市中央区中央3-3-1
	ドットワーク蘇我（就労継続B型）（1回）	千葉県千葉市中央区南町2-19-7
	トミオヴィレッジ（就労継続B型）（3回）	千葉県千葉市若葉区高品町296-1
	リバイバル（就労継続B型）（1回）	千葉県市原市五所1352-3
	ワークショップ鎌取（就労継続B型）（1回）	千葉県千葉市緑区辺田町605-2
	i工房（就労継続B型）（1回）	千葉県我孫子市南新木1-19-7
	ハーモニー津田沼（就労継続B型）（1回）	千葉県習志野市津田沼5-12-12
	はばたき職業センター（就労継続B型）（1回）	千葉県八千代市米本2429番地の10
	ファーマーズマーケット（就労継続B型）（1回）	千葉県千葉市若葉区下田町1390
	stepway（就労継続A型）（1回）	千葉県千葉市中央区中央3-9-13
	あらた（就労継続A型）（3回）	千葉県佐倉市鎚木町2丁目7-17
	ノーリミット（就労継続A型）（3回）	千葉県八千代市村上南4-9-25
	ひまわり（就労継続A型）（5回）	千葉県千葉市緑区おゆみ野3丁目10-31
	リンクアップ大久保（就労継続A型）（3回）	千葉県習志野市大久保3-15-16
	リンクアップ津田沼（就労継続A型）（1回）	千葉県習志野市津田沼5-12-12
	ミレニア（就労継続A型）（1回）	千葉県千葉市中央区長洲1丁目23-4
	旨味庵（就労継続A型）（3回）	千葉県船橋市丸山5丁目32-1
	スマイル&ピース（就労継続B型）（1回）	茨城県龍ヶ崎市馴馬町585-6
	Re:Cafe（就労移行支援）（2回）	千葉県千葉市中央区中央3-5-1
	ほほえみ（相談支援事業）（1回）	千葉県四街道市和良比635番4
	アシスト（基幹相談支援）（1回）	千葉県佐倉市大篠塚1587
	ふらっと船橋（基幹相談支援）（2回）	千葉県船橋市海神1-31-31
	四街道基幹相談支援（基幹相談支援）（1回）	千葉県四街道市鹿渡無番地市役所内
	レインボー（基幹相談支援）（1回）	千葉県佐倉市青菅字木ノ宮1051
	障害者キャリアセンター（障害者就業・生活支援センター）（7回）	千葉県千葉市美浜区新港43
	千葉障害者職業センター（2回）	千葉県千葉市美浜区幸町1-1-3
	桜が丘特別支援学校（特別支援学校）（1回）	千葉県千葉市若葉区加曾利町1538
	千葉県庁（障害福祉事業課）（3回）	千葉県千葉市中央区市場町1番1号
	自立支援協議会（緑区地域部会）（1回）	千葉県千葉市緑区土気町1634
	まると福祉相談センター（1回）	千葉県千葉市中央区千葉港2-1
	ハローワーク（千葉南）（3回）	千葉県千葉市中央区南町2丁目16-3
一般企業・大学（高次脳機能障害者の復職・復学先）（4回）		
合計65カ所（136回）		

## 8. 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の取組詳細

地域連携	開催	該当無し		
		研修	参加	全国障害者リハビリテーション研究集会（シンポジスト他）
	社会生活自立度評価（SIM）研修（県内自立訓練事業所連携）			5名
	日本高次脳機能障害友の会第20回全国大会			1名
	千葉市内就労型事業所意見交換会			1名（5回）
	自立訓練事業所協議会施設意見交換会			2名（5回）
	東総圏域 高次脳機能障害当事者・家族・支援者交流会			2名
	自立支援協議会緑区地域部会			1名
	高次脳ピアサポーター養成準備研修			1名
	サービス管理者責任者基礎研修（高次脳支援講師）			1名（15回）
その他	該当無し			
自動車事故被害者の地域連携	研修 0件、 連絡 78件、 訪問 13件等	研修 0件、 連絡 3件、 訪問 1件（R7.2～3予定）		

## 9. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの取組詳細

		臨床心理士	公認心理師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他
人材雇用	全体	2名	0名	2名	3名	2名	47名
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	1名
求人情報発信	該当無し						
パンフレット等作成	該当無し						
備品類導入	該当無し						
訪問先病院	訪問先名			所在地			
	愛知医科大学病院（急性期）（1回）			愛知県長久手市岩作雁又1番地1			
	三重北医療センター 菰野厚生病院（1回）			三重県いなべ市北勢町阿下喜771			
	名古屋大学附属病院（急性期）（1回）			愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65			
	藤田医科大学病院（急性期）（1回）			愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98			
	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（急性期）（1回）			愛知県名古屋市中村区道下町3丁目35番地			
	岡崎市民病院（急性期）（1回）			愛知県岡崎市高隆寺町五所合3番地1			
	中部ろうさい病院（急性期）（1回）			愛知県名古屋市港区港明1丁目10-6			
	名古屋市立大学病院（急性期）（1回）			愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1番地			
	名古屋医療センター（急性期）（2回）			愛知県名古屋市中区三の丸4丁目1-1			
	みらい光生病院（回復期）（1回）			愛知県名古屋市名東区勢子坊2丁目1501番地			
	善常会リハビリテーション病院（回復期）（3回）			愛知県名古屋市南区松池町1丁目11			
	白山ハビリテーション病院（回復期）（3回）			愛知県春日井市庄名町1011-25			
	偕行会リハビリテーション病院（回復期）（2回）			愛知県弥富市神戸5丁目20			
	松蔭病院（精神科）（1回）			愛知県名古屋市中川区打出2丁目70			
	辻こころのクリニック（精神科）（1回）			愛知県熱田区大宝1丁目1-101			
かわぐちクリニック（内科）（1回）			愛知県名古屋市瑞穂区密柑山2丁目49-3				
合計16病院（のべ22回）							
研修	開催	ミニセミナー（高次脳機能障害専門家研修）（4回）			参加者463名		
	参加	該当無し					
施設見学会	8回（参加者101名）						
その他	回復期リハ病院への帰結報告会 4件						
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 2件				新規受入予定件数 1件（令和7年2月～3月）		

## 9. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの取組詳細

		臨床心理士		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		公認心理士		その他		
		全体												
自立訓練提供	人材雇用	全体	2名	2名	4名	2名	0名	31名						
		うち補助金	1名	2名	0名	1名	0名	0名						
	求人情報発信	該当無し												
	パンフレット等作成	該当無し												
	備品類導入	該当無し												
	研修	開催	該当無し											
		参加	京都市リハビリテーションセンター視察						3名					
			横浜市リハビリテーションセンター視察						4名					
			かがわりリハビリテーションセンター視察						4名					
	その他	該当無し												
	自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで				令和7年2月～3月予定						
		自立訓練		7名560回				5名160回						
		機能訓練		7名560回				5名160回						
		退所後支援		3名7回										

## 9. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの取組詳細

			臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他		
地域連携	人材雇用	全体	2名	2名	3名	1名	0名	25名		
		うち補助金	1名	0名	0名	0名	0名	0名		
	求人情報発信	該当無し								
	パンフレット等作成	失語症啓発チラシ (A 4)								
		市民向け啓発ポスター (A 2)								
	備品類導入	市民向け啓発チラシ (A 4)					1,000枚			
	訪問先	訪問先名 ※別紙参照					所在地			
		合計30カ所 (41回)								
	研修	開催	中部ブロックSIM研修 (参加者28名)					参加者28名		
			基幹相談支援センター等職員向け研修 (参加者20名)							
			出張相談					4件、参加者61名		
		社会適応力向上研修 (若年者のつどい)					参加者のべ25名 (親5名、若年者20名)			
	参加	該当無し								
	その他	高次脳機能障害友の会 みずほ					愛知県名古屋市中区平和2-3-10 仙田ビル			
愛知県言語聴覚士会					愛知県名古屋市中区千代田3-27-11					
あなたの声					愛知県名古屋市名東区若葉台1325					
失語症サロン										
相談支援体制連携調整委員会					1回					
ネットワーク会議					2回					
高次脳機能障害友の会みずほ主催 キッズプラス										
高次脳機能障害友の会みずほ主催 働くなかまのつどい										
愛知高次脳機能障害協議会										
瑞穂区自立支援連絡協議会										
失語症者向け意思疎通支援事業協議会										
失語症啓発チラシ										
市民向けポスター配布										
自動車事故被害者の地域連携	研修0件、連絡0件、訪問0件等					研修0件、連絡0件、訪問0件 (R7.2～3予定)				

## 9. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの取組詳細

別紙

	訪問先名	所在地
訪問先	ワークセンターかじま	愛知県常滑市かじま台2丁目167
	就活センター えん（就労継続B型）	愛知県西尾市矢曾根町赤池6-2-1
	めぐみる金山（就労継続A型）	愛知県名古屋市中区正木2-13-2
	グループホーム ペガサス（グループホーム）	愛知県清須市春日新町105番地
	株式会社IMOM（就労継続B型）	愛知県名古屋市中区錦2丁目5-30中定ビル2階
	木田の里就労継続支援センター（就労継続A型）	愛知県東海市大田町庄之脇1番地
	瑞穂区障害者基幹相談支援センター（相談）	愛知県瑞穂区北原町3丁目2番地ジュネス瑞穂1階
	障害者相談支援センター ピース（相談）	愛知県一宮市大和町福森字馬引境17-1
	相談支援センター笑い太鼓名古屋（相談）	愛知県名古屋市中区東大曾根町25-2
	相談支援事業所ワンワールド（相談）	愛知県春日井市如意申町1丁目7番地2
	光和相談支援事業所（相談）	愛知県名古屋市昭和区川名本町1丁目20
	サポートセンター笑い太鼓名古屋（地域活動支援センター）	愛知県名古屋市中区東大曾根町25-2
	愛知障害者職業センター豊橋支所	愛知県豊橋市駅前大通1丁目27
	なごや障害者就業・生活支援センター（ナカポツ）	愛知県名古屋市中区大曾根2丁目9-25
	障害者就業支援センターめいりは（ナカポツ）	愛知県名古屋市中区瑞穂区弥富町密柑山1-2
	愛知県精神保健福祉センター	愛知県名古屋市中区三の丸3丁目2-1東大手庁舎8階
	なごや福祉用具プラザ	愛知県名古屋市中区昭和区御器所通3丁目12-1御器所ステーションビル3階
	名古屋市立春田小学校	愛知県名古屋市中川区東春田2丁目243
	愛知県障害福祉課	愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
	名古屋市障害企画課	愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1-1
	刈谷市役所	愛知県刈谷市東陽町1丁目1
	一宮市役所	愛知県一宮市本町2丁目5-6
	大府市役所	愛知県大府市中央町5丁目70
	刈谷市身体障害者福祉会館	愛知県刈谷市下重原3丁目3-2
	刈谷市民交流センター	愛知県刈谷市東陽町1丁目3-2-2
	職場（5か所）	

# 10. 奈良県障害者総合支援センターの取組詳細

		臨床心理士	公認心理師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
人材雇用	全体	0名	0名	0名	0名	0名	7名	
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	2名	
求人情報発信	該当無し							
パンフレット等作成	高次脳機能障害福祉サービス普及ポスター（A4）				1,000枚			
備品類導入	該当無し							
訪問先病院	<b>訪問先名</b>				<b>所在地</b>			
	奈良医療センター（回復期・慢性期）（1回）				奈良県奈良市七条二丁目789番地			
	奈良県総合医療センター病院（急性期）（2回）				奈良県奈良市七条西町二丁目897-5			
	市立奈良病院（急性期）（3回）				奈良県奈良市東紀寺町一丁目50番1号			
	済生会奈良病院（回復期）（1回）				奈良県奈良市八条四丁目643			
	高の原中央病院（急性期・回復期）（2回）				奈良県奈良市右京1丁目3-3			
	おかたに病院（急性期・回復期）（4回）				奈良県奈良市南京終町1丁目25-1			
	奈良西部病院（急性期・慢性期）（1回）				奈良県奈良市三碓町2143-1			
	登美ヶ丘リハビリテーション病院（回復期）（3回）				奈良県奈良市中登美ヶ丘6丁目12番2号			
	奈良セントラル病院（急性期・回復期・慢性期）（1回）				奈良県奈良市石木町800			
	ならまちリハビリテーション病院（回復期）（2回）				奈良県奈良市杉ヶ町57番1			
	やまと精神医療センター（急性期・回復期）（1回）				奈良県大和郡山市小泉町2815番地			
	奈良県西和医療センター（急性期）（2回）				奈良県生駒郡三郷町三室1-14-16			
	ハートランドしぎさん（慢性期）（2回）				奈良県生駒郡三郷町勢野北4-13-1			
	高井病院（急性期・回復期）（3回）				奈良県天理市蔵之庄町470-8			
	奈良東病院（回復期・慢性期）（2回）				奈良県天理市中之庄町470			
	田北病院（急性期・回復期）（1回）				奈良県大和郡山市城南町2-13			
	阪奈中央病院（急性期・回復期）（3回）				奈良県生駒市俵口町741番地			
	東生駒病院（回復期・慢性期）（3回）				奈良県生駒市辻町4番1号			
	宇陀市立病院（急性期・回復期）（1回）				奈良県宇陀市榛原萩原815番地			
	国保中央病院（急性期・回復期）（1回）				奈良県磯城郡田原本町宮古404-1			
	平成記念病院（急性期・回復期）（3回）				奈良県橿原市四条町827			
	平成まほろば病院（回復期）（3回）				奈良県橿原市四分町82番地1			
	山の辺病院（急性期・回復期・慢性期）（2回）				奈良県桜井市草川60番地			
	辻村病院（急性期・慢性期）（1回）				奈良県宇陀市菟田野松井7-1			
	大和高田市立病院（急性期・回復期）（2回）				奈良県大和高田市磯野北町1番1号			
	済生会御所病院（急性期・回復期）（2回）				奈良県御所市三室20番地			
	秋津鴻池病院（回復期・慢性期）（3回）				奈良県御所市池之内1064			
	土庫病院（急性期・回復期）（1回）				奈良県大和高田市日之出町12-3			
	西大和リハビリテーション病院（回復期・慢性期）（2回）				奈良県北葛城郡上牧町ささゆり台3丁目2番2号			
服部記念病院（急性期・慢性期）（2回）				奈良県北葛城郡上牧町上牧4244番地				
恵王病院（急性期）（1回）				奈良県北葛城郡王寺町王寺2-10-18				
香芝旭ヶ丘病院（急性期）（1回）				奈良県香芝市上中839番地				

# 10. 奈良県障害者総合支援センターの取組詳細

ネットワーク構築 (2/2)	訪問先病院	訪問先名		所在地
		吉本整形外科・外科病院（急性期）（1回）		奈良県葛城市疋田676-1
		香芝生喜病院（急性期・回復期・慢性期）（1回）		奈良県香芝市穴虫3300番地3
		南奈良総合医療センター（急性期・回復期）（2回）		奈良県吉野郡大淀町大字福神8番1
		吉野病院（回復期・慢性期）（1回）		奈良県吉野郡吉野町丹治130番地の1
		京都山城医療センター（急性期）（2回）		京都府木津川市木津駅前一丁目27番地
		学研都市病院（急性期・回復期）（1回）		京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
		紀和病院（急性期・回復期）（1回）		和歌山県橋本市岸上18番地の1
	合計39病院（のべ71回）			
	研修	開催	該当無し	
参加		該当無し		
施設見学会		該当無し		
その他		該当無し		
自動車事故被害者への支援		ネットワーク構築による新規受入件数 1件	新規受入予定件数 0件（令和7年2月～3月）	

自立訓練提供	人材雇用	全体	臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理師	その他	
		うち補助金	0名	1名	1名	0名	1名	16名	
			0名	0名	0名	0名	1名	1名	
	求人情報発信		該当無し						
	パンフレット等作成		該当無し						
	備品類導入		失語症からの言葉ノート 等				23冊		
	研修	開催	該当無し						
		参加	該当無し						
	その他		該当無し						
			令和7年1月まで（4/1～12/31）				令和7年2月～3月予定		
自動車事故被害者への支援	自立訓練		6名279回			2名30回			
	機能訓練		2名129回			1名10回			
	退所後支援		1名11回						

# 10. 奈良県障害者総合支援センターの取組詳細

人材雇用	全体	臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理師	その他	
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名
求人情報発信	該当無し							
パンフレット等作成	該当無し							
備品類導入	該当無し							
訪問先	<b>訪問先名</b>				<b>所在地</b>			
	奈良県社会福祉総合センター 奈良県社会福祉協議会 (2回)				奈良県橿原市大久保町320-11			
	奈良市基幹型地域包括支援センター (奈良県社会福祉協議会) (3回)				奈良県奈良市二条大路南一丁目1番1号			
	宇陀市地域包括支援センター (1回)				奈良県宇陀市榛原福地28番地の1			
	宇陀市社会福祉協議会 (権利擁護センター) (1回)				奈良県宇陀市榛原福地28番地の1			
	東吉野村社会福祉協議会 (1回)				奈良県吉野郡東吉野村大字小川99番地			
	なら障がい者就業・生活支援センターコンパス (2回)				奈良県奈良市神殿町656番地の4			
	ならサポートワークラボ (生活訓練・就労移行) (2回)				奈良県奈良市山陵町110-7			
	田北会居宅介護支援事業所 (1回)				奈良県大和郡山市城南町3-25			
	奈良市役所 基幹相談支援センター (3回)				奈良県奈良市二条大路南一丁目1番1号			
	大和高田市役所 福祉部 社会福祉課 (2回)				奈良県大和高田市大字大中98番地4			
	大和郡山市役所 障害福祉課 (1回)				奈良県大和郡山市北郡山町248-4			
	天理市役所 健康福祉部 社会福祉課 (3回)				奈良県天理市川原城町605			
	橿原市役所 福祉部 障がい福祉課 (1回)				奈良県橿原市内膳町1丁目1番60号			
	桜井市役所 福祉保健部 社会福祉課 (2回)				奈良県桜井市大字粟殿432番地の1			
	五條市役所 あんしん福祉部 社会福祉課 (1回)				奈良県五條市本町岡口1丁目3番1号			
	御所市役所 健康福祉部 福祉課 (2回)				奈良県御所市1番地の3			
	生駒市役所 福祉部 障がい福祉課 (3回)				奈良県生駒市東新町8番38号			
	香芝市役所 福祉部 社会福祉課 (2回)				奈良県香芝市逢坂一丁目374番地1			
	葛城市役所 保健福祉部 社会福祉課 (2回)				奈良県葛城市柿本166			
	宇陀市役所 健康福祉部 介護福祉課 (3回)				奈良県宇陀市榛原下井足17番地の3			
	山添村役場 住民福祉課 (1回)				奈良県山辺郡山添村大西151			
	平群町役場 福祉こども課 (1回)				奈良県生駒郡平群町吉新1-1-1			
	三郷町役場 住民福祉部 住民福祉課 (1回)				奈良県生駒郡三郷町勢野西1丁目1番1号			
	斑鳩町役場 福祉課 (1回)				奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西3-17-12			
	川西町役場 福祉こども課 (3回)				奈良県磯城郡川西町結崎28番地の1			
	三宅町役場 住民福祉部 住民福祉課 (2回)				奈良県磯城郡三宅町伴堂689			
	田原本町役場 健康福祉部 健康福祉課 (2回)				奈良県磯城郡田原本町890-1			
	曾爾村役場 保健福祉課 (1回)				奈良県宇陀郡曾爾村今井495-1			
	御杖村役場 健康福祉課 (1回)				奈良県宇陀郡御杖村菅野1581番地			
高取町役場 福祉課 (2回)				奈良県高市郡高取町観音寺990-1				

地域連携  
(1/2)

# 10. 奈良県障害者総合支援センターの取組詳細

		訪問先名	所在地
		地域連携 (2/2)	訪問先
上牧町役場 健康福祉部 福祉課 (3回)	奈良県北葛城郡上牧町上牧3245-1		
王寺町役場 健康福祉部 福祉介護課 (1回)	奈良県北葛城郡王寺町王寺2丁目1-23		
広陵町役場 けんこう福祉部 社会福祉課 (2回)	奈良県北葛城郡広陵町笠161番地2		
河合町役場 福祉部 福祉政策課 (1回)	奈良県北葛城郡河合町池部1-1-1		
吉野町役場 長寿福祉課 (2回)	奈良県吉野郡吉野町丹治130-1		
大淀町役場 住民福祉部 福祉介護課 (2回)	奈良県吉野郡大淀町桧垣本2090		
黒滝村役場 住民福祉課 (1回)	奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸77番地		
天川村役場 健康福祉課 (1回)	奈良県吉野郡天川村南日裏200番地		
東吉野村役場 住民福祉課 (2回)	奈良県吉野郡東吉野村大字小川99番地		
木津川市役所 社会福祉課 (1回)	京都府木津川市木津南垣内110-9		
和歌山県庁 福祉保健部 福祉保健政策局 こころの推進課 (1回)	和歌山県和歌山市小松原通1-1		
和歌山県障害児者サポートセンター 障害者支援課 (1回)	和歌山県和歌山市毛見1437-218		
合計43カ所 (73回)			
研修	開催	自立訓練事業者スキルアップ研修 (参加者25名)	25名
		令和6年度 地域連携支援研修 (参加者33名)	33名
	参加	高次脳機能障害支援・指導者養成研修	1名
		全国地域リハビリテーション合同研修大会	1名
全国身体障害者リハビリテーション研究集会2024		3名	
その他		該当無し	
自動車事故被害者の地域連携		研修 2件、 連絡 9件、訪問 (支援会議参加) 2件	研修 0件、 連絡 0件、訪問 0件 (R7. 2~3 予定)

# 1.1. かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設の取組詳細

人材雇用		臨床心理士	公認心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
	全体	0名	0名	0名	0名	0名	0名	6名
うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	
求人情報発信	該当無し							
パンフレット等作成	該当無し							
備品類導入	該当無し							
訪問先病院	訪問先名				所在地			
	かがわ総合リハビリテーション病院（回復期）（10回）				香川県高松市田村町1-1-4番地			
	まろがめ医療センター（回復期）（2回）				香川県丸亀市津森町2-1-9番地			
	高松協同病院（回復期）（8回）				香川県高松市木太町4-6-6番地			
	西香川病院（回復期）（2回）				香川県三豊市高瀬町比地中2986-3			
	りつりん病院（急性期・回復期）（3回）				香川県高松市栗林町3丁目5番9号			
	三宅リハビリテーション病院（急性期・回復期）（1回）				香川県高松市天神前5-5			
	KKR高松病院（急性期・回復期）（1回）				香川県高松市天神前4-18			
	高松赤十字病院（急性期）（1回）				香川県高松市番町4丁目1-3			
	香川県立中央病院（急性期）（3回）				香川県高松市朝日町1丁目2番1号			
	香川大学医学部附属病院（急性期）（2回）				香川県木田郡三木町池戸1750-1			
	橋本病院（回復期）（1回）				香川県三豊市山本町財田西902-1			
	ブルースカイ松井病院（急性期・回復期）（1回）				香川県観音寺市村黒739			
	阪本病院（急性期）（1回）				香川県東かがわ市川東1-0-3番地1			
	さぬき市民病院（急性期・回復期）（1回）				香川県さぬき市寒川町石田東甲3-8-7番地1			
	高松市立みんなの病院（急性期・回復期）（1回）				香川県高松市仏生山町甲8-4-7番地1			
	回生病院（急性期・回復期）（1回）				香川県坂出市室町3丁目5番2-8号			
	香川労災病院（急性期）（1回）				香川県丸亀市城東町3丁目3-1			
屋島総合病院（急性期・回復期）（1回）				香川県高松市屋島西町2105-17				
合計18病院（のべ41回）								
研修	開催	該当無し						
	参加	該当無し						
施設見学会	該当無し							
その他	家族学習会 2回実施 参加者17名							
	「高次脳機能障害者の支援について・意見交換」参加者81名				計画外 高松・東讃地域シームレスケア研究会の中で実施			
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 0件				新規受入予定件数 0件（令和7年2月～3月）			

ネットワーク構築

# 1 1. かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設の取組詳細

自立訓練提供	人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他	
		全体	0名	1名	1名	0名	0名	15名	
	うち補助金	0名	1名	0名	0名	0名	0名		
	求人情報発信	該当無し							
	パンフレット等作成	該当無し							
	備品類導入	該当無し							
	開催	該当無し							
	研修	参加	全国リハビリテーション研究集会2024				2名		
			視察研修 堺市健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター（自立訓練提供事業所）				1名		
	その他	該当無し							
自動車事故被害者への支援		令和7年1月まで				令和7年2月～3月予定			
	自立訓練（生活訓練）	2名129回				2名64回			
	自立訓練（機能訓練）	1名46回				0名0回			
	退所後支援	1名34回（電話16，訪問13，来所5）			1名4回				

# 1.1. かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設の取組詳細

人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他
	全体	0名	2名	2名	0名	0名	20名
うち補助金	0名	0名	1名	0名	0名	1名	
求人情報発信	該当無し						
パンフレット等作成	小児啓発チラシ（A3両面二つ折り）				2000枚		
備品類導入	該当無し						
地域連携 訪問先	訪問先名				所在地		
	SCC昭和町（B型）（1回）				香川県高松市昭和町2丁目16-9		
	介護生活株式会社（居宅介護支援事業所）（1回）				香川県坂出市福江町2丁目4-9		
	岡本荘（特別養護老人ホーム）（1回）				香川県高松市岡本町527-1		
	かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設（就労移行）（1回）				香川県高松市田村町1114番地		
	きらら（相談支援事業所）（1回）				香川県小豆郡土庄町上庄463番地2		
	土庄町役場（健康福祉課）（1回）				香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400番地2		
	アルプスかがわ（発達障害者支援センター）（1回）				香川県高松市田村町1114番地		
	小豆島障がい児・者福祉ネットワークびいんず（1回）				香川県小豆郡土庄町淵崎甲2032番地1		
	香川大学教育学部（1回）				香川県高松市幸町1-1		
	災害弱者安心ネットワーク（1回）				香川県高松市福岡町2丁目24-10 福祉コミュニティセンター高松 東館3階 高松ボランティア協会内		
	インクルージョンオフィス高松（居宅介護支援事業所）（1回）				香川県高松市宮脇町1-7-25		
	たまも園（生活介護、施設入所）（1回）				香川県高松市田村町797		
	香川県立中部支援学校（1回）				香川県高松市田村町1098番地1		
	三豊居宅介護支援事業所（1回）				香川県三豊市三野町吉津甲605番地2		
	香川県ケアマネジメントセンター（居宅介護支援事業所）（1回）				香川県高松市木太町3396-11		
	就業・生活支援センターオーリーブ				香川県御厩町546-1		
	ウェルビー高松（就労移行）（1回）				香川県高松市寿町2丁目3-11 高松丸田ビ4階		
	セブンセンス（B型）（2回）				香川県高松市太田上町1-1		
	支援センターピア（委託相談支援事業所・特定相談支援事業所）（1回）				香川県坂出市府中町5001番地3		
	こむぎ（B型）（1回）				香川県高松市香南町吉光1110番地2		
	ワラビ（B型）（1回）				香川県高松市香南町吉光446		
	香川県スクールソーシャルワーカー研修会（1回）				香川県高松市郷東町587-1 香川県教育センター※研修会場		
	地域包括支援センター仏生山（1回）				香川県高松市仏生山町甲218-1 仏生山交流センター内		
	居宅介護支援事業所栗林（1回）				香川県高松市藤塚町1丁目2-27 2階		
	ピュア（B型）（1回）				香川県綾歌郡綾川町畑田3529-2		
	香川県立高松支援学校（1回）				香川県高松市田村町1098		
	合計26カ所（27回）						

# 1 1. かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設の取組詳細

地域連携	開催	SIM (Social Independence Measure) 研修 SIMの導入について 参加人数 29名	
		参加	第48回日本高次脳機能学会学術総会
	全国リハビリテーション研究集会2024		3名
	視察研修 堺市健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター（自立訓練提供事業所）		2名
	その他	「高次脳機能障害者の支援について・意見交換」参加者35名	計画外 高松圏域自立支援協議会B型事業所部会内で実施
	自動車事故被害者の地域連携	連絡77件、訪問13件、来所44件、メール4件（実人数7名）	研修0件、 連絡未定、 訪問未定（R7. 2～3予定）
地域連携支援による新規受け入れ件数 0件		0件（R7. 2～3予定）	

## 1 2. 広島県立総合リハビリテーションセンターあけぼのの取組詳細

		臨床心理士	公認心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
人材雇用	全体	0名	0名	0名	1名	0名	21名	
	うち補助金	一名	一名	一名	0名	一名	1名（社会福祉士）	
求人情報発信	該当無し							
パンフレット等作成	『あけぼの 高次脳機能障害になられた方のこれからの生活を専門的に支援します』 A4×6面（両面・三つ折り）				500枚			
備品類導入	該当無し							
ネットワーク構築	訪問先名				所在地			
	井野口病院（回復期）（1回）				東広島市西条土与丸6-1-91			
	三次地区医療センター（回復期）（1回）				三次市十日市東3-16-1			
	呉中通病院（回復期）（1回）				呉市中通1-3-8			
	島の病院おおたに（回復期）（1回）				江田島市能美町中町4711			
	公立みつぎ総合病院（回復期）（1回）				尾道市御調町市124			
	三原城町病院（回復期）（1回）				三原市城町1-14-14			
	広島市立リハビリテーション病院（回復期）（1回）				広島市安佐南区伴南1-39-1			
	日比野病院（回復期）（1回）				広島市安佐南区伴東7-9-2			
	メリイホスピタル（回復期）（1回）				広島市安佐南区大塚西3-1-20			
	広島共立病院（回復期）（1回）				広島市安佐南区中須2-20-20			
	広島はくしま病院（回復期）（1回）				広島市中区東白島町19-16			
	梶川病院（回復期）（1回）				広島市中区東千田町1-1-23			
	広島中央リハビリテーション病院（回復期）（1回）				広島市中区平野町6-24			
	荒木脳神経外科（回復期）（1回）				広島市西区庚午北2-8-7			
	西広島リハビリテーション病院（回復期）（1回）				広島市佐伯区三宅6-265			
	廿日市記念病院（回復期）（1回）				廿日市市陽光台5-12			
	大田記念病院（回復期）（1回）				福山市沖野上町3-6-28			
	福山記念病院（回復期）（1回）				福山市港町1-15-30			
	水永リハビリテーション病院（回復期）（1回）				福山市南蔵王町4-16-16			
	福山リハビリテーション病院（回復期）（1回）				福山市明神町2-15-41			
寺岡記念病院（回復期）（1回）				福山市新市町大字新市37				
合計21病院（のべ21回）								
研修	開催	該当無し						
	参加	神奈川県総合リハビリテーションセンター訪問調査				2名		
施設見学会	1回（参加者5名）大田記念病院スタッフ							
自動車事故被害者への支援	令和7年1月まで				令和7年2月～3月			
	ネットワーク構築による新規受入件数 1件（生活介護） （自動車事故以外の高次脳機能障害者 14件）				新規受入予定件数 0件 （自動車事故以外の高次脳機能障害者 3件）			

## 1 2. 広島県立総合リハビリテーションセンターあけぼのの取組詳細

		臨床心理士		理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他	
		全体	0名	0名	1名	0名	0名	21名	
人材雇用	全体	0名	0名	1名	0名	0名	0名	21名	
	うち補助金	1名	1名	1名	1名	1名	1名	0名	
求人情報発信	該当無し								
パンフレット等作成	該当無し								
備品類導入	書籍「リハビリナース,PT,OT,STのための患者さんの行動から理解する高次脳機能障害」					5冊			
	書籍「脳卒中後のおいしいリハビリごはん」					5冊			
	書籍「退院後の生活を支える本 脳梗塞の再発を防ぐ」					5冊			
	書籍「大人の発達障害 仕事・生活の困ったによりそう本」					3冊			
	書籍「発達障害大全ー脳の個性について知りたいこと全て」					3冊			
研修	開催	該当無し							
	参加	新潟県障害者リハビリテーションセンター視察訪問					3名		
		全国障害者リハビリテーション研究集会2024					5名		
		中国四国ブロック地区自立訓練事業所協議会 SIM研修					3名		
		就業支援基礎研修					1名		
		名古屋リハ主催 高次脳機能障害ミニセミナー（全5回）					各5～8名（のべ約30名）		
		広島県リハ講習会実行委員会主催 高次脳機能障害研修会					3名		
		国リハ主催 高次脳機能障害支援者養成研修					2名		
		広島県主催 高次脳機能障害支援者養成研修					5名		
自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで			令和7年2月～3月（予定）			
	生活訓練	0名 0日 （自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者）			0名 0日 （自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者）				
	退所後支援	13名 約2,850日			17名 約600日				
			2名 10回 （自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者）			0名 0回 （自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者）			
			15名 約110回			10名 約30回			

自立訓練提供

## 1 2. 広島県立総合リハビリテーションセンターあけぼの の取組詳細

人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他
	全体	0名	0名	1名	0名	0名	21名
うち補助金	一名	一名	0名	一名	0名	1名（社会福祉士）	
求人情報発信	該当無し						
パンフレット等作成	『高次脳機能障害とその相談先について』A4 両面				500枚（作成中）		
備品類導入	該当無し						
地域連携 訪問先	訪問先名				所在地		
	広島県疾病対策課（1回）				広島県広島市中区基町10-52		
	広島県障害者支援課（2回）				広島県広島市中区基町10-52		
	東広島市基幹型地域包括支援センター（1回）				広島県東広島市西条栄町8-29		
	府中町役場（1回）				広島県安芸郡府中町大通3-5-1		
	府中町居宅介護支援センターふれあい（1回）				広島県安芸郡府中町浜田本町5-25		
	ハローワーク広島西条（1回）				広島県東広島市西条町寺家6479-1		
	広島障害者職業能力開発校（1回）				広島県広島市南区宇品東4-1-23		
	広島東障害者就業・生活支援センター（1回）				広島県広島市東区若草町15-20		
	株式会社「エフベーカーコーポレーション」広島営業所（1回）				広島県東広島市志和流通1-30		
	株式会社「大創産業」「DAISO」船越店（1回）				広島県広島市安芸区船越南2-5-9		
	トヨタカローラ広島 東広島支店（1回）				広島県東広島市西条町寺家6857		
	有限会社「シンセイ」（3回）				広島県安芸高田市甲田町高田原2268		
	特例子会社「ダイソーウイング」（3回）				広島県東広島市西条吉行東1-4-14		
	株式会社「岡明運送」（4回）				広島県安芸郡坂町北新地4-2-33		
	株式会社「山本製作所」（6回）				広島県東広島市高屋町宮領576		
	株式会社「キーレックス」（2回）				広島県安芸郡海田町南明神町2-51		
	旭川荘のぞみ寮（1回）				岡山県岡山市北区平田407		
	就労継続支援A型事業所「あざれあ」（6回）				広島県東広島市西条町御園宇635-34		
	就労継続支援A型事業所「TOMiCLE」（3回）				広島県呉市中央3-11-24		
	就労継続支援B型事業所「遠行工房」（1回）				広島県福山市加茂町下加茂669-1		
	就労継続支援B型事業所「らんらん作業所」（1回）				広島県福山市新市町戸手1000-1		
	グループホーム「音の羽たるみ」（1回）				兵庫県神戸市垂水区福田5-3-4		
	グループホーム「みらいのたね六甲道3」（1回）				兵庫県神戸市灘区友田町4-2-3		
	グループホーム「みらいのたね灘2」（1回）				兵庫県神戸市灘区岩屋北町7-1-10		
	グループホーム「ソーシャルインクルーホーム福山新市町」（3回）				広島県福山市新市町大字新市901		
	グループホーム「リトム観音台」（2回）				広島県広島市佐伯区観音台1-15-22		
	グループホーム「こだまの家向洋新町」（1回）				広島県広島市南区向洋新町1-13-1		
	グループホーム「Casa Activa」（1回）				広島県安芸郡府中町瀬戸ハイム3-15-2		
	グループホーム「Noie Onomichi」（1回）				広島県尾道市向島町584-2		

## 1 2. 広島県立総合リハビリテーションセンターあけぼのの取組詳細

		訪問先名	所在地	
		地域連携	訪問先	グループホーム「ソーシャルインクルーホーム熊野」(1回)
グループホーム「ぼれぼれの家」(1回)	広島県三原市宮浦6-11-19			
障害者支援施設「広賀園」(1回)	広島県東広島市西条町寺家4205			
合計32カ所(56回)				
研修	開催		広島県高次脳機能障害支援者養成研修(基礎・実践)	参加者約55名
			参加	中国四国地区自立訓練事業所協議会 施設長会
	中国四国地区自立訓練事業所協議会 職員研修			4名
	高知ハビリテーリングセンター訪問調査			4名
	その他		特例子会社ダイソーウイング視察	1名
東広島市自立支援協議会就労部会主催 障害者就労支援研修			2名	
自動車事故被害者の地域連携	その他	施設見学会 2回(参加者5名) (広島障害者職業能力開発校 3名, 広島中央障害者就業・生活支援センター 2名)		
	連絡 0件、訪問 0件(R7.1月まで) (自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者) 連絡 約520件, 訪問 56件	連絡 0件、訪問 0件(R7.2~3月予定) (自動車事故被害者以外の高次脳機能障害者) 連絡 100件, 訪問 10件		

### 13. ダイアリーの取組詳細

ネットワーク構築	人材雇用		臨床心理士	公認心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
		全体	0名	0名	1名	0.3名	0名	0名	
		うち補助金	0名	0名	1名	0.3名	0名	0名	
	求人情報発信	該当無し							
	パンフレット等作成	該当無し							
	備品類導入	該当無し							
	訪問先病院	訪問先名				所在地			
		国立障害者リハビリテーションセンター(1回)				埼玉県所沢市並木4丁目1番地			
		埼玉県立障害者リハビリテーションセンター(1回)				埼玉県上尾市西貝塚148-1			
		リハビリテーション天草病院(1回)				埼玉県越谷市平方343-1			
春日部厚生病院(1回)				埼玉県春日部市緑町6丁目11番48					
南斗クリニック(1回)				埼玉県さいたま市見沼区南中野860-1					
南中丸クリニック(1回)				埼玉県さいたま市南中丸1078-3					
かずハートクリニック(1回)				埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1082-3 スワンビル2階					
あすはゆりハビリクリニック(1回)				埼玉県さいたま市見沼区東大宮5丁目39-3英和ビル4階					
西部総合病院(1回)				埼玉県さいたま市桜区上大久保884					
上尾中央総合病院(1回)				埼玉県上尾市柏座1丁目10-10					
合計10病院 (のべ10回)									
研修	開催	該当無し							
	参加	該当無し							
施設見学会	5回 (参加者10名)					予定 2回 (参加者4名) (令和6年2月~3月)			
その他	該当無し								
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 0件					新規受入予定件数 0件 (令和7年2月~3月)			

### 13. ダイアリーの取組詳細

		臨床心理士		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		公認心理士		その他		
		全体	うち補助金	0名	1名 0.8名 (10月～)	0.2名 1名 (4月～)	1.0名	0名	0名	0名	0名	0名		
自立訓練提供	人材雇用	全体	0名	1名 0.8名 (10月～)	0.2名 1名 (4月～)	1.0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
		うち補助金	0名	1.0名	1.0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
	求人情報発信	該当無し												
	パンフレット等作成	該当無し												
	備品類導入	該当無し												
	研修	開催	自立訓練（機能訓練）をスタートさせる企業が知っておくべき研修（参加者約120名）						茂木が講師を務め、機能訓練のスタッフが1名助手として同行					
			高次脳機能障害者の支援を考える（参加者27名）						茂木が講師を務めた研修					
		参加	脳障害になった時あると良い知識						研修に参加したスタッフ2名					
			失語症があるということはどういうことか						研修に参加したスタッフ4名					
		2024年度高次脳機能障害実践的アプローチ講習会						研修に参加したスタッフ1名						
その他	該当無し													
自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで						令和7年2月～3月予定					
	機能訓練		1名81回						1名17回					
	退所後支援		1名145回						1名42回					

### 13. ダイアリーの取組詳細

地域連携	人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他
	全体		0名	1名	2.4名	0名	0名	0名
	うち補助金		0名	1名	2.4名	0名	0名	0名
求人情報発信		該当無し						
パンフレット等作成		該当無し						
備品類導入		該当無し						
		訪問先名			所在地			
訪問先		【就労継続支援B型事業所】多機能型事業所 アトリエ・モモ(1回)			埼玉県さいたま市浦和区上木崎6-9-3			
		【就労継続支援B型事業所】どっぼジョブセンター(1回)			埼玉県さいたま市北区日進町2-1768-3			
		【就労継続支援B型事業所】ワークステーションつみ喜(1回)			埼玉県さいたま市見沼区東門前461-1			
		【就労継続支援B型事業所】アトリエ・アンノウンII浦和(1回)			埼玉県さいたま市南区大谷口 1585番地-1			
		【就労継続支援B型事業所】ONEGAMEさいたま(1回)			埼玉県さいたま市大宮区北袋町2-186-4			
		【就労継続支援B型事業所】すてあーず(1回)			埼玉県さいたま市見沼区南中野844-22			
		【就労継続支援B型事業所】喫茶ルポーズ(1回)			埼玉県さいたま市大宮区天沼1-136-2			
		【就労継続支援B型事業所】エンジュ(1回)			埼玉県さいたま市見沼区南中野286-1			
		【就労継続支援B型事業所】プレノワ(1回)			埼玉県さいたま市北区東大成町1-457-1			
		【就労継続支援B型事業所】ユウノキ(1回)			埼玉県さいたま市大宮区高鼻町 1-37-2 昌栄ビル2F・3F			
		【就労移行支援】ココルポート大宮office(1回)			埼玉県さいたま市大宮区仲町2-25松亀プレジデントビル2階			
		【グループホーム】みぬまたんぼ(1回)			埼玉県さいたま市見沼区大和田町1-491-1			
		【グループホーム】ReHOPE 浦和美園(1回)			埼玉県さいたま市緑区美園一丁目36-28			
		【グループホーム】グループホームスマイルB棟(1回)			埼玉県さいたま市見沼区御蔵1522-32			
		合計14カ所 (14回)						
研修	開催	土曜親子講座 (参加者30名)				研修を主催した際のスタッフ数5名		
	参加	就労支援OTカンファレンスin大阪				研修に参加したスタッフ1名		
その他		該当無し						
自動車事故被害者の地域連携		研修1件、連絡1件、訪問0件等				研修0件、連絡1件、訪問0件等 (令和7年2~3月予定)		

# 14. ワークセンター大きな木の取組詳細

ネットワーク構築	人材雇用	全体	0名	0名	0名	1名	0名	1名	
		うち補助金	0名	0名	0名	1名	0名	1名	
	求人情報発信	該当無し							
	パンフレット等作成	高次脳機能障害って何？ (A4 3つ折りなど)				6,000部			
	備品類導入	Q&A高次脳気脳障害の交通事故損害賠償							
		チームで支える高次脳機能障害のある人の地域生活							
		高次脳機能障害 支援の道しるべ							
		高次脳機能障害の勃興と将来展望							
	訪問先病院	訪問先名					所在地		
		浜松南病院 (回復期) (1回)					静岡県浜松市中央区白羽町26		
浜松医科大学病院 (急性期) (1回)					静岡県浜松市東区半田山一丁目20-1				
静岡リハビリテーション病院 (回復期) (1回)					静岡県静岡市葵区新間318-1				
城西クリニック (回復期) (1回)					静岡市葵区新富町呉五丁目7-6				
すずかけセントラル病院 (回復期) (1回)					静岡県浜松市中央区田尻町120-1				
市立湖西病院 (急性期) (1回)					静岡県湖西市鷺津2259-1				
富士脳障害研究所附属病院 (急性期) (1回)					静岡県富士宮市杉田270-12				
静岡医療センター (急性期) (1回)					静岡県駿東郡清水町長沢762-1				
浜松市立清水病院 (急性期) (1回)					静岡県静岡市清水区宮加三1231				
浜松市リハビリテーション病院 (回復期) (1回)					静岡県浜松市中央区和合北一丁目6-1				
合計10病院 (のべ10回)									
研修	開催								
	参加								
施設見学会	1回 (参加者6名)								
その他									
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 3件				新規受入予定件数 1件 (令和7年2月～3月)				

## 14. ワークセンター大きな木の取組詳細

		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他	
自立訓練提供	人材雇用	全体	0名	0名	1名	0名	1名	1名
		うち補助金	0名	0名	1名	0名	1名	1名
	求人情報発信	なし						
	パンフレット等作成	なし						
	備品類導入	高次脳機能障害のための神経心理リハビリテーション						5冊
		軽度外傷性脳損傷のためのリハビリテーションワークブック						
		外傷性脳損傷ハンドブック						
		ワークブックで実践する脳損傷リハビリテーション						
		軽度外傷性脳損傷						
	研修	開催	なし					
参加		中部ブロックSIM研修会参加				1名		
その他								
自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで		令和7年2月～3月予定			
	自立訓練	2名232回+1月利用回数分 回				0名0回		
	機能訓練	0名0回				0名0回		
		退所後支援				0名0回		

# 14. ワークセンター大きな木の取組詳細

		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他					
人材雇用	全体	0名	0名	0名	0名	1名	0名					
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	1名	0名					
備品類導入	該当無し											
地域連携	訪問先	訪問先名			所在地							
		就労移行支援事業所growth	(生活訓練)	(1回)	静岡県富士市永田町1-91	スルガビル2階						
		機能訓練プラザ	(生活訓練)	(1回)	静岡県富士市岩本458-27							
		Salita Fuji	(生活訓練)	(1回)	静岡県富士市比奈1294-5							
		多機能事業所 いふう	(生活訓練)	(1回)	静岡県富士市比奈967-2							
		自立訓練事業所 るいいだ	(生活訓練)	(1回)	静岡県掛川市大池2931-1							
		さわや家	(生活訓練)	(1回)	静岡県掛川市篠場779-2							
		アクセスジョブ浜松田町	(生活訓練)	(1回)	静岡県浜松市中央区田町230-15	クラ・ゼミ本部ビル 1F						
		ウェルビーチャレンジ	(生活訓練)	(1回)	静岡県浜松市中央区鍛冶町140-4	浜松Aビル 北館 2階						
		障害者相談支援センター みなづき	(生活訓練)	(1回)	静岡県湖西市吉美3613	サンパレス木下 1 0 3						
		富士市役所障害福祉課	(1回)		静岡県富士市永田町1-100							
		自立訓練事業所 スタジオプレアデス清水	(生活訓練)	(1回)	静岡県静岡市清水区春日1丁目5-15	ファミス桜橋1F						
		自立訓練事業所 アクセスジョブ静岡	(生活訓練)	(1回)	静岡県静岡市葵区伝馬町16-3	シルクスクエア2号館 1F						
		G-STEP	(生活訓練)	(1回)	静岡県静岡市葵区大岩4丁目25-43	城北公園クリニック 2F						
		包括支援センター 鴨江	(1回)		静岡県浜松市中央区鴨江3丁目6-12							
		包括支援センター 佐鳴台	(1回)		静岡県浜松市中央区佐鳴台3丁目35-21							
		包括支援センター ありたま	(1回)		静岡県浜松市中央区有玉南町1436							
		包括支援センター さぎの宮	(1回)		静岡県浜松市中央区小池町38-1							
		包括支援センター 雄踏	(1回)		静岡県浜松市中央区雄踏町宇布見4080-4							
		包括支援センター 大平台	(1回)		静岡県浜松市中央区大平台1丁目34-30							
静岡県西部保健センター	(1回)		浜松市中央区雄踏1丁目31-1									
	合計20カ所 (のべ20回)											
研修	開催	地域連携構築に資する研修	浜松	(参加者34名)								
		地域連携構築に資する研修	静岡	(参加者24名)								
	参加	地域連携構築に資する研修	沼津	(参加者13名)								
		静岡県ジョブコーチ養成研修		2名 (講師派遣)								
その他												
自動車事故被害者の地域連携	研修	0件、	連絡	11件、	訪問	7件等	研修	0件、	連絡	2件、	訪問	2件 (R7. 2~3予定)

# 15. 就労準備センターあぼかぼの取組詳細

			臨床心理士	公認心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他	
	人材雇用	全体	0名	0名	0名	0名	1名	0名	5名
	うち補助金	0名	0名	0名	0名	1名	0名	1名	
パンフレット等作成	交通事故にあってから「頭がすっきりしない」ことがありますか？ (A 4両面チラシ)					1000枚			
	見えにくい障害 高次脳機能障害 (A 4両面チラシ)					1000枚			
ネットワーク構築	<b>訪問先名</b>					<b>所在地</b>			
	訪問先病院	東北大学病院 (急性期) (2回)					宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号		
		東北医科薬科大学病院 (回復期) (3回)					宮城県仙台市宮城野区福室一丁目12番1号		
		仙台リハビリテーション病院 (回復期) (2回)					宮城県富谷市成田1-3-1		
		長町病院 (回復期) (2回)					宮城県仙台市太白区長町3丁目7番26号		
		東北労災病院 (回復期) (1回)					宮城県仙台市青葉区台原4丁目3番21号		
		仙台医療センター (回復期) (1回)					宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11番12号		
		みやぎ県南中核病院 (急性期) (1回)					宮城県柴田郡大河原町字西38-1		
		仙台市立病院 (急性期) (1回)					宮城県仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号		
		総合南東北病院 (回復期) (1回)					宮城県岩沼市里の杜一丁目2-5		
		石巻赤十字病院 (急性期) (1回)					宮城県石巻市蛇田字西道下71		
		齋藤病院 (回復期) (1回)					宮城県石巻市山下町1-7-24		
		東北会病院 (回復期) (1回)					宮城県仙台市青葉区柏木1-8-7		
		泉病院 (回復期) (1回)					宮城県仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1		
合計13病院 (のべ18回)									
参加	高次脳機能障害支援者ステップアップ研修					4名			
自動車事故被害者への支援	ネットワーク構築による新規受入件数 1件 (※就労移行支援 1件)					新規受入予定件数 0件 (令和7年2月~3月)			

## 15. 就労準備センターあぼかぼの取組詳細

		臨床心理士		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		公認心理士		その他		
		全体	うち補助金	0名	0名	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	5名
自立訓練提供	人材雇用	全体	0名	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	5名	
		うち補助金	0名	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
	求人情報発信	該当無し												
	パンフレット等作成	交通事故にあってから「頭がすっきりしない」ことはありませんか？ (A 4両面チラシ)							1000枚					
		見えにくい障害 高次脳機能障害 (A 4両面チラシ)							1000枚					
	研修	開催	該当無し											
		参加	第一回仙台生活訓練グループ会議 (8/8)							9名				
			第二回仙台生活訓練グループ会議 (10/25)							12名				
			第三回仙台生活訓練グループ会議 (12/20)							10名				
	自動車事故被害者への支援			令和7年1月まで					令和7年2月～3月予定					
自立訓練		1名87回					1名22回予定							

# 15. 就労準備センターあぼかぼの取組詳細

人材雇用		臨床心理士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	公認心理士	その他
	全体	0名	0名	1名	0名	0名	5名
うち補助金	0名	0名	0名	0名	0名	3名	
パンフレット等作成	交通事故にあってから「頭がすっきりしない」ことがありますか？ (A 4両面チラシ)				1000枚		
	見えにくい障害 高次脳機能障害 (A 4両面チラシ)				1000枚		
地域連携 訪問先	<b>訪問先名</b>				<b>所在地</b>		
	宮城野障害者福祉センター (生活訓練・機能訓練) (1回)				宮城県仙台市宮城野区大槻16-2		
	太白障害者福祉センター (生活訓練・機能訓練) (5回)				宮城県仙台市太白区長町南1-6-10		
	仙台市障害者総合支援センター (高次脳機能専門機関) (2回)				宮城県仙台市泉区泉中央2-24-1		
	仙台市障害者就労支援センター (就労支援専門機関) (1回)				宮城県仙台市泉区泉中央2-1-1		
	宮城障害者職業センター (国専門機関) (8回)				宮城県仙台市宮城野区幸町4丁目6番1号		
	宮城県リハビリテーション支援センター (高次脳支援拠点) (1回)				宮城県名取市美田園二丁目1-4		
	泉区障害者自立支援協議会 (地域ネットワーク会議) (4回)				宮城県仙台市泉区泉中央2-1-1		
	太白区障害者自立支援協議会 (地域ネットワーク会議) (4回)				宮城県仙台市太白区長町南1-6-10		
	青葉区障害者自立支援協議会 (地域ネットワーク会議) (2回)				宮城県仙台市青葉区上杉1丁目5番1号		
	青葉区計画相談等グループミーティング (7回)				宮城県仙台市宮城野区榴岡4-6-22		
	宮城ダイバーシティ企業連携協議会 (4回)				宮城県仙台市若林区新寺一丁目3番45号		
	ハローワーク仙台 (4回)				宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-3		
	ころんぶす (栗原地域支援拠点) (1回)				宮城県栗原市一迫真坂字鶴町135-4		
	宮城県障害者就労連携構築支援事業 (6回)				宮城県仙台市青葉区中央1-3-1		
	石巻市役所 (1回)				宮城県石巻市穀町14-1		
	岩沼市役所 (1回)				宮城県岩沼市桜一丁目6番20号		
	高砂地域包括支援センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区高砂1-29-3		
	福田町地域包括支援センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区田子字富里223		
	岩切地域包括支援センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区岩切字稲荷14		
	燕沢地域包括支援センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区燕沢東3-8-10		
	東仙台地域包括支援センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区新田3-28-20		
	パーソルダイバーズ (1回)				宮城県仙台市青葉区上杉1丁目4-20		
	東北大学 (5回)				宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1		
	東日本コンクリート (5回)				宮城県仙台市青葉区一番町2丁目2番13号		
	仙台にしむら (2回)				宮城県仙台市泉区南中山1-42-5		
	清月記 (2回)				宮城県仙台市宮城野区日の出町2-5-4		
	東北労災病院 (6回)				宮城県仙台市青葉区台原4-3-21		
仙台医療センター (1回)				宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11番12号			
プルデンシャル生命保険 (2回)				宮城県仙台市泉区紫山2丁目1-5			

## 15. 就労準備センターあぼかぼの取組詳細

		訪問先名	所在地
		地域連携	訪問先
ロピア（3回）	宮城県仙台市宮城野区榴岡1-2-13		
イエローハット石巻（5回）	宮城県石巻市南中里3丁目16-22		
にしき食品（1回）	宮城県岩沼市下野郷字新関迎265-1		
仙台陸運（3回）	宮城県仙台市宮城野区港四丁目4番1号		
Lateral Kids（1回）	宮城県仙台市青葉区一番町2丁目5-22		
HELLOS多賀城（1回）	宮城県多賀城市八幡3丁目10-27		
仙台ぱれっと福祉会（2回）	宮城県富谷市成田1丁目5-3		
宮城厚生協会（1回）	宮城県多賀城市下馬2-13-7		
NTTクラルティ（1回）	宮城県仙台市若林区五橋3-2-1		
東北学院大学（1回）	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1		
宮城野区役所（1回）	宮城県仙台市宮城野区五輪2-12-35		
合計41カ所（105回）			
研修	開催		
	参加	令和6年度宮城県高次脳機能障害者支援普及事業	60名

# 16. モデル事業による定量的効果

## ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		59名( 6名)	76名( 4名)	60名(6名)
自立訓練の相談者		62名( -名)	65名( 3名)	64名(8名)
自立訓練以外	高次脳機能障害支援拠点	42名( 5名)	68名( 5名)	61名(8名)
	就労支援	6名( 0名)	8名( 2名)	7名(2名)
	短期入所	6名( 1名)	5名( 0名)	2名(2名)

## 自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		70名( 6名)	91名( 5名)	74名(8名)
自立訓練以外	就労支援	15名( 2名)	19名( 4名)	18名(3名)
	短期入所	8名( 2名)	10名( 3名)	6名(2名)

## 地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復学・復職・再就職者		3名( 0名)	13名( 1名)	5名(0名)
就労継続支援A・B型・就労移行事業所の利用者		12名( 2名)	16名( 0名)	10名(0名)
自立訓練の利用者		0名( 0名)	0名( 0名)	0名(0名)
その他(生活介護・介護保険事業所・地活・GH)		9名( 2名)	5名( 1名)	8名(0名)

# 16. モデル事業による定量的効果

ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		19名(2名)	27名(1名)	18名(2名)
自立訓練の相談者		101名(12名)	97名(5名)	107名(6名)
自立訓練以外	高次脳機能障害支援拠点	101名(21名)	116名(21名)	76名(13名)
	就労支援	7名(1名)	8名(1名)	6名(0名)

自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		73名(4名)	79名(6名)	53名(5名)
自立訓練以外	就労支援	43名(4名)	49名(3名)	47名(3名)

地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		7名(0名)	0名(0名)	4名(1名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		18名(1名)	20名(1名)	17名(1名)
その他(就労移行・地域活動支援)		22名(2名)	26名(3名)	22名(0名)

# 1 6. モデル事業による定量的効果

ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		7名(0名)	5名(0名)	14名(1名)
自立訓練の相談者(利用に至らなかった人数)		4名(1名)	1名(0名)	10名(2名)
自立訓練以外	施設入所支援	5名(0名)	4名(0名)	11名(0名)
	短期入所	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)

自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		80名(10名)	76名(9名)	70名(6名)
自立訓練以外	施設入所支援	34名(1名)	30名(2名)	32名(1名)
	短期入所	3名(1名)	2名(0名)	2名(0名)

地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		4名(0名)	9名(1名)	4名(0名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		11名(1名)	7名(1名)	1名(0名)
自立訓練の利用者		0名(0名)	1名(0名)	0名(0名)
その他(医療機関・復学・就労移行・家庭復帰)		19名(4名)	14名(6名)	20名(4名)

# 16. モデル事業による定量的効果

ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		0名(0名)	4名(0名)	1名(0名)
自立訓練の相談者		0名(0名)	4名(2名)	2名(0名)
自立訓練以外	高次脳機能障害支援拠点	0名(0名)	21名(3名)	14名(1名)
	就労移行支援	0名(0名)	2名(0名)	1名(0名)
	生活介護	0名(0名)	1名(1名)	0名(0名)

自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		38名(2名)	54名(3名)	43名(1名)
自立訓練以外	就労支援	7名(0名)	5名(1名)	11名(1名)
	施設入所支援	30名(2名)	43名(2名)	35名(0名)
	短期入所	0名(0名)	1名(0名)	1名(0名)
	日中一時支援	1名(0名)	1名(0名)	1名(0名)

地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		0名(0名)	7名(0名)	2名(0名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		0名(0名)	7名(3名)	3名(1名)
自立訓練の利用者		0名(0名)	4名(1名)	4名(0名)
その他(自立訓練相談)		0名(0名)	8名(1名)	0名(0名)

# 16. モデル事業による定量的効果

ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用相談件数		18名(1名)	19名(0名)	16名(1名)
自立訓練の利用につながった数		8名(0名)	11名(0名)	13名(0名)
自立訓練以外	高次脳機能障害支援拠点 (広島県高次脳機能センター)	30名(3名)	26名(4名)	61名(0名)
	生活介護	0名(0名)	1名(0名)	3名(1名)
	就労移行支援	0名(0名)	(休止中)	(休止中)
	施設入所支援	4名(0名)	9名(0名)	15名(1名)
	短期入所	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)

自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		30名(4名)	27名(2名)	24名(0名)
自立訓練以外	生活介護	23名(7名)	21名(5名)	16名(5名)
	就労移行支援	2名(1名)	(休止中)	(休止中)

地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		3名(2名)	3名(1名)	4名(0名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		8名(1名)	7名(0名)	5名(0名)
生活介護の利用者		6名(0名)	2名(0名)	1名(0名)
介護保険サービス(デイサービスなど)の利用者		2名(0名)	6名(0名)	2名(0名)
医療サービス(精神科デイケアなど)の利用者		2名(0名)	3名(0名)	0名(0名)

# 1 6. モデル事業による定量的効果

ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		60名(4名)	67名(2名)	75名(1名)
自立訓練の相談者		41名(1名)	37名(0名)	38名(3名)
自立訓練以外	生活介護	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
	通所介護・介護予防通所介護	5名(1名)	4名(0名)	6名(0名)
	共生型生活介護	該当無し	該当無し	1名(0名)

自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		37名(3名)	31名(1名)	34名(2名)
自立訓練以外	生活介護	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
	通所介護・介護予防通所介護	1名(0名)	1名(0名)	2名(0名)
	共生型生活介護	該当なし	該当無し	0名(0名)

地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		4名(1名)	5名(0名)	3名(0名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		0名(0名)	1名(0名)	1名(0名)
自立訓練の利用者		0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
共生型生活介護		該当無し	該当無し	3名(0名)

## ネットワーク構築

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		3名(0名)	1名(0名)	0名(0名)
自立訓練の相談者		2名(0名)	6名(0名)	1名(0名)
自立訓練以外	高次脳機能障害支援拠点	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
	就労支援	5名(1名)	1名(1名)	0名(0名)
	その他	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)

## 自立訓練

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		16名(3名)	13名(3名)	8名(1名)
自立訓練以外	生活介護	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
	就労支援	14名(3名)	15名(3名)	15名(4名)
	その他	0名(0名)	0名(0名)	0名(0名)

## 地域連携

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		4名(2名)	5名(0名)	9名(3名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		4名(1名)	3名(1名)	5名(0名)
自立訓練の利用者		7名(2名)	8名(2名)	5名(1名)
その他(生活介護、介護サービス、就労移行)		5名(1名)	2名(0名)	0名(0名)

**ネットワーク構築**

自立訓練の利用の有無に関わらず、病院とのネットワーク構築により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練の利用者		0名(0名)	2名(0名)	1名(0名)
自立訓練の相談者		0名(0名)	3名(0名)	2名(1名)
自立訓練以外	就労移行支援	8名(2名)	3名(0名)	3名(1名)

**自立訓練**

高次脳機能障害者の利用状況(うち自動車事故被害者数)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
自立訓練		0名(0名)	3名(1名)	3名(1名)
自立訓練以外	就労移行支援	21名(2名)	14名(2名)	14名(3名)
	就労定着支援	22名(5名)	18名(3名)	18名(2名)

**地域連携**

他の事業所等との地域連携により、高次脳機能障害者の支援につながった人数(うち自動車事故被害者数)  
自立訓練(生活訓練)※事業開始2年目のため実績は下記のとおりです。

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		0名(0名)	0名(0名)	1名(1名)

※(参考)就労支援センターほっぷ(就労移行支援)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
復職・再就職者		8名(0名)	6名(0名)	6名(2名)
就労継続支援A・B型事業所の利用者		1名(0名)	0名(0名)	0名(0名)
自立訓練の利用者		0名(0名)	1名(0名)	0名(0名)

## 17. モデル事業者の取組における課題

(令和4年度より実施)

### 千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- ネットワーク構築において、医療機関と自立訓練事業所の双方が高次脳機能障害者への早期支援だけでなく課題出現時に早期対応できるよう高次脳機能障害者支援についての理解を深めていく必要がある。
- 自立訓練において、本事業を継続していくためには、自立訓練事業として交通事故被害者への効果的なプログラムを提供し評価として示すことで、本事業としての成果をまとめていく必要がある。
- 地域連携において、県内の生活訓練事業所には連携会がないため、R6年度につながった事業所との連携を強化し、高次脳機能障害者支援について理解を深める必要がある。

### 名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 病院SWの退職等によりこれまでのつながりが薄くなる病院があるため、過去訪問等実施した病院であっても継続的なアプローチが必要。
- 自立訓練において、自宅又は居住地域へ訪問するアウトリーチによるIADL訓練の実施について、利用者に対し十分な訓練回数を実施するために必要なリハ専門職当の人材確保が課題。
- 地域連携において、法人の所在地との物理的な距離のある保健医療圏域の支援機関との連携が課題。

### 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

- ネットワーク構築において、デジタルを用いた病院とのやり取りや当施設HPなどのインターネットでの情報発信を活用する必要がある。
- 自立訓練において、現在実施している神経心理学的検査データやSIMの変化量などを用いて、プログラムの有効性の検証を進めていく必要がある。
- 地域連携において、研修会の参加が想定よりも低迷しているため、研修の案内方法や案内先などを見直す必要がある。

### かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

- ネットワーク構築において、これまで行った事業の周知等の取り組み効果を確認する必要がある。
- 自立訓練において、ケース担当にプログラム毎の情報を共有し、ケース担当へのフィードバックの頻度を高める必要がある。
- 地域連携において、事業の取り組み効果を確認する必要がある(令和7年度にこれまで啓発訪問や講師派遣、個別ケースでの連携をおこなった事業所に対してアンケート調査を実施する予定)。

## 17. モデル事業者の取組における課題

(令和5年度より実施)

### 広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

- ネットワーク構築において、病院で退院支援を行うMSWが、一患者に対して一人で担当することや異動があることにより、情報が共有されなかったり引き継がれなかったりすることがあるため、積極的に定期的なPR訪問等を継続していく必要がある。
- 自立訓練において、職員の育成、法人内での異動や新規採用の在り方の検討など、人材をいかにして確保していくかが課題である。
- 地域連携において、地域のGH、就労継続支援事業所、一般企業等における高次脳機能障害への理解が乏しいため、職員の派遣や研修等により、地域の社会資源の充実化への働きかけが必要。

### ダイアリー

- ネットワーク構築において、障害福祉サービスに興味・関心のない医療機関も存在し、アポイントメントの段階での話の持って行き方が課題である。
- 自立訓練において、受入人数が増えたことで、書類や会議も増え、一人の利用者のカンファレンスに十分な時間を割けないことや、重度な高次脳機能障害の方々も増え、マンツーマンでの関わりが増えていることへの質の担保が課題である。
- 地域連携において、訪問の日程調整に時間を要したこと、また、30時間の地域連携が時間外になることが多く、スタッフに負担がかかったことが課題である。

(令和6年度より実施)

### ワークセンター大きな木

- ネットワーク構築において、地域連携、支援の経験不足及び福祉サービスについて知識不足、特定の地域では急性期からある特定の回復期の病院に対象者が送られている等の課題がある。
- 自立訓練において、復職や新規雇用を目指す自動車事故による高次脳機能障害者が少なく、対象者の掘り出しが課題である。
- 地域連携において、研修会開催にあたり、市の障害福祉課から広報に対しての支援が受けられなかったことや、高次脳機能障害者がおらず、時間がとれないとの理由で訪問を断られる事業所が1/3程度ほどあったことが課題。

### 就労準備支援センターあぽかぽ

- ネットワーク構築において、仙台圏域では「ほっぷ＝就労支援」のイメージを持っている医療機関が多いため、生活面の立て直しや障害受容など社会復帰の準備として活用してもらえる事業であることを改めて説明する必要がある。
- 自立訓練において、昨年度に比べ利用人数が増えたことでプログラムによっては個別対応が増えてきていることが課題である。
- 地域連携において、今後は各障害福祉圏域の就業・生活支援センターとの連携を検討していく必要がある。

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		地域連携支援				
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 母親		
	年代	50代	障害者手帳	精神保健福祉手帳3級	障害者支援区分	なし
	事故から現在までの経緯	<p>令和4～5年度本事業の対象者                      二輪車で走行中に交通事故で受傷 A病院へ救急搬送され脳挫傷、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折の診断。                      事故から2か月後にB病院に転院。その2か月後、高次脳機能障害に対するリハビリ目的で千葉リハセンターに転院し、2か月の入院を経て自宅退院。退院から7か月後、千葉リハセンター外来SWより利用相談の連絡。施設見学、利用面談を行い生活訓練で利用開始となる。本人、家族は「就労できる力を身に着けた」との利用意向があり、認知スキル、対人スキル、作業能力の向上を目的に自立訓練開始から1年3か月後に県の障害雇用推進事業委託先へ新規就労し退園。</p>				
支援の概要	連携先	就労先企業、相談支援事業所、就労定着支援事業所				
	支援のきっかけ	新規就労し計画相談が終了となった為、当事業所がフォローアップ支援として本人に対し毎月様子伺いの連絡をしていた。千葉リハセンター定期受診に同席した際に本人からの相談がある。				
	支援内容	<p>相談内容「職場の人から頼まれていないことや、優先順位の低い作業を先にやってしまい怒られる」「協調性が無いのかもしれない」「上司からこの仕事は向いていないかもしれないと言われた」との申し出があるも、家族は上司からそのような話は聞いておらず歪曲して捉えているかもしれないとの情報。                      職場と本人とで認識の違いがある可能性があるため、第三者の確認が必要と判断し就労定着支援の利用を提案する。</p>				
	結果	<p>職場訪問を行い上司と面談。仕事における課題が多く、今すぐ契約終了というわけではないが「自分に合った仕事についてよく考えた方が良い」と伝えているとの事。職場との話し合い及び課題解決に向けて就労定着支援の利用を提案し了承される。翌月、就労定着支援事業の利用を開始し定期的な職場訪問を行う事で、現在も就労を継続している。</p>				
モデル事業により可能となった支援のポイント		<p>モデル事業の地域連携支援として地域移行後のフォローアップに力を入れたことにより、自立訓練利用終了者の相談に対応できる体制を整備したことで、課題が見えにくい高次脳機能障害者の社会参加継続に繋がった。</p>				

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		ネットワーク構築支援			
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) なし (別居) 両親、姉	
	年代	30代	障害者手帳		障害者支援区分 4
	事故から現在までの経緯	令和6年度本事業対象者 自転車走行中に自動車と接触し頭部外傷を含む多発性外傷でA病院（岐阜県）に救急搬送される。事故から3か月後に実家がある千葉県のB病院へ転院。翌月、病院SWより自立訓練利用の相談があり。事故の6か月後より生活訓練事業の利用開始となる。			
	連携先	相談支援事業所及び回復期病院			
支援の概要	支援のきっかけ	回復期病院SWからの相談			
	支援内容	令和4年度にネットワーク構築支援の一環として当該病院へ訪問し本事業について説明し情報共有を行う。当時担当したSWより利用相談の連絡があり。岐阜県で仕事をしながら一人暮らしをしていたが、交通事故により千葉県に戻る。本人は単身生活の再開を希望しているがリスク的に難しい状況。両親は同居を了承しているも母親が要介護状態にあり課題が多くある。年齢が30代と若いこともあり、社会参加しながら安全に在宅生活できる力を身に付けて欲しいとの相談			
	結果	相談から1か月後、本人、家族が来園し事業所見学及び利用前面談を行う。回復期病院SWにより本人、家族より利用希望の意向を伝えられ、サービス利用について説明する。回復期病院SWと相談支援事業所担当者、当園入所コーディネーターが連絡を取り合い、翌月に役所に受給者証申請を行う。同月回復期病院退院に伴い当園の生活訓練事業利用開始となった。（現在も利用継続中）			
モデル事業により可能となった支援のポイント		モデル事業のネットワーク構築支援により、県内医療機関に対し本事業の説明と連携協力を依頼したことにより、交通事故被害による高次脳機能障害者の利用に繋がった。また高次脳機能障害により地域移行・社会参加の課題を抱えた方の医療機関退院以降の支援場所として自立訓練事業を選択肢として検討して頂くことができた。			

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		自立訓練提供支援			
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 両親	
	年代	20代	障害者手帳	身体5級 精神2級	障害者支援区分 3
事故被害者の概要	事故から現在までの経緯	友人の車の助手席に乗っていたところ交通事故にあい受傷。急性硬膜下血腫を認め、総合病院脳神経外科にて開頭血腫除去術、減圧術施行。事故から2か月後に頭蓋形成術施行。翌月、回復期リハビリ目的にて回復期リハビリテーション病院へ転院。高次脳機能障害が残存した。転院4か月後に退院。退院3日後に名古屋リハ障害者支援施設に入所。			
支援の概要	連携先	回復期リハビリテーション病院			
	支援のきっかけ	回復期リハ病院の医療ソーシャルワーカーからの相談			
	支援内容	<p>①生活管理能力 スケジュール管理（ノート→スマホへ）、日課の遂行など。最初は定型の日報やノートへの記載も不十分だったが、少しずつ自発的に管理できるようになっていった。</p> <p>②作業能力 干渉刺激への弱さで、多人数が作業を行うデイホールで訓練参加が出来なかった。イヤホンなども活用して徐々に参加できるように。その他、作業内容の早合点や思い込み、記憶違いなどが散見。指示に対しても自分のやり方を曲げられない様子がある。</p> <p>③適応面、認識面 利用初期は他者の物音やルールに過敏で、感情が抑えられず相手や職員に強く当たることがあった。通所に切替えてストレスを緩和したり、徐々に行動を振り返ることが出来るようになり、入所から通所へ切り替えたころにはあまり問題となくなかった。機能訓練の終盤には元の性格部分が良く現れ（訓練で困難に直面している時以外は）面倒見が良く明朗な人柄を発揮できるようになっている。障害受容も進み、精神手帳取得や障害者雇用で支援を受けることの必要性も認識するようになった。</p> <p>④体力、外出能力 体力面はどんどん向上し、自主トレも熱心なため年齢相応の耐久性あり。脳疲労の影響はあり。外出時は乗り換えなどで混乱する様子があったが、外出訓練により慣れたルートであれば単独移動は可能となった。</p>			
	結果	名古屋リハ就労移行支援利用→新規就労にいたる			
モデル事業により可能となった支援のポイント	本事例の回復期リハ病院は、退院後フォローアップ支援対象病院で、日頃から相談等を受けるなどの関係性が構築できていた。その結果、回復期リハ病院のソーシャルワーカーが「本人の今後の社会参加を考えた時に自立訓練の利用が適当だろう」と判断しつながることができた点が大きいと考えている。				

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		自立訓練提供支援			
事故被害者の概要	性別	女性	家族構成	(同居) 父・母	
	年代	20代	障害者手帳	身体障害者手帳	障害者支援区分 通所利用
事故被害者の概要	事故から現在までの経緯	X年Y月自動車事故にて頭部外傷受傷。右大脳半球に広範囲な虚血性病変を伴い、左不全麻痺・右眼失明・右動眼神経麻痺・高次脳機能障害を後遺。X年Y+3月A病院転院。X年Y+4月B病院に身体症状と高次脳機能障害に対するリハビリテーション目的で転院(退院後も外来リハ継続)。X+4年、奈良障害者職業センターに職業相談し、職業評価を受検。職業評価の結果により、高次脳機能障害に関するトレーニングをすすめられ、奈良高次脳機能障害支援センターにて相談。奈良県高次脳機能障害支援センターの紹介により利用に至る。			
支援の概要	連携先	奈良高次脳機能障害支援センター・奈良障害者職業センター・就労移行支援施設・計画相談			
	支援のきっかけ	奈良障害者職業センターの職業評価の結果により、高次脳機能障害に関するトレーニングをすすめられ、奈良高次脳機能障害支援センターの紹介により、利用開始			
	支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①就労(最終目標)したい(就職に役立つスキルを身につけたい)。</li> <li>②体力・集中力・記憶力・判断力を向上させたい。</li> <li>③頭痛に上手く対処できるようになりたい。</li> <li>④他利用者と交流することで、情報交換がしたい。</li> <li>⑤希望訓練は、グループ脳トレ・パソコン・習字・OT・個別脳トレ・歩行・マット</li> <li>⑥最初は、週3回の利用から開始して、週5回に増やしていきたい(最終目標の就労を目指して)</li> </ul> 上記6点のニーズに対して、就労に必要な体力の維持向上を目的にマット・歩行訓練・スポレクを、また就労に必要な高次脳機能障害の改善と集中力・判断力の向上を目的に、OT・個別脳トレさらにグループ脳トレAからCを段階的に導入した。また、就労に必要なスキル獲得を目的に、習字・パソコン訓練にも提供した。また、訓練を通じて、高次脳機能障害への本人の認識も高まり、頭痛が軽減したことから、就労前訓練も追加提供した。			
	結果	本人・家族・高次脳機能障害支援センター・自立訓練センターとの支援会議を開催(進路の方向性の確認。セルフプランから計画相談の利用検討をすることで、長期的な家族の支援体制を構築)。奈良県障害者職業センターとの支援会議も経て、地域の就労移行支援施設を2カ所見学・体験し、就労移行支援施設の利用が決定された。			
モデル事業により可能となった支援のポイント		モデル事業の地域連携支援として、自立訓練提供事業所による地域生活への移行支援の重要性が明確化されたことにより、地域事業所で開催される支援会議への参加がよりスムーズになり、対面での情報交換が行われるようになったことで、利用者の個別性の高い高次脳機能障害の症状の理解に繋がった。			

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		地域連携支援				
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 配偶者・子ども		
	年代	40代	障害者手帳	精神保健福祉手帳	障害者支援区分	通所利用
	事故から現在までの経緯	<p>X年Y月に同乗していた自動車が後方より追突されたことで受傷。首の痛みが徐々に悪化。B病院に緊急搬送。CT検査では異常は見られず帰宅。翌週になっても痛み継続し、C病院を受診するも“異常なし”との診断。1ヶ月経っても痛みが続くためD病院を受診し、頸椎骨折が見つかる。リハビリ・治療目的でE病院に通院。記憶力や集中力の低下を自覚し、F病院を受診し、びまん性軸索損傷による高次脳機能障害と診断。奈良県高次脳機能障害支援センターの紹介により、高次脳機能障害に対する訓練目的で自立訓練センターを利用。当施設で訓練を提供するとともに、障害者年金手続きのサポートを実施。経済面での懸念材料が払拭されたこともあり、就労に向けて、就労継続支援B型事業所へ進むことを決定。退所後は就労継続支援B型作業所を利用。</p>				
	連携先	相談支援事業所及び就労継続支援B型作業所				
支援の概要	支援のきっかけ	相談支援事業所の相談支援専門員からの相談				
	支援内容	<p>①就労継続支援B型作業所での作業道具を変更したところ、これまでのように作業ができなくなった。高次脳機能障害を受け入れたことが今までなかったので、どのように対応すれば良いのかがわからない。今回のことは、どのように説明すれば良いのか助言してほしい。</p> <p>②本人との信頼関係を構築していきたいが、本人が自立訓練センターのケース担当も交えての話し合いの場を希望しているので、支援会議に参加してもらいたい。</p>				
	結果	高次脳機能障害の症状や特性を説明し、高次脳機能障害の理解を深め、支援スキルを伝えた。また、支援会議に参加し、関係性の改善の一環として、支援機関の再構築を図り、支援体制を整えた。				
モデル事業により可能となった支援のポイント		<p>モデル事業の地域連携支援中で、自立訓練利用終了者の相談に対応できる体制を整備したことで、今回の事例に関わる事になった。高次脳機能障害を負われた人の中には、症状が気付かれにくいことにより、支援者が戸惑い、支援ネットワークが広がりにくいことがある。高次脳機能障害支援センターだけでなく、自立訓練利用時のケース担当が地域の事業所の橋渡しとして、高次脳機能障害の地域での受け入れ体制を構築する一助となったと考える。</p>				

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

## かがわ総合リハビリテーションセンター(成人支援施設)

事例		地域連携支援				
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 両親 (別居) 兄弟		
	年代	30代	障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳 2 級	障害者支援区分	無し
	事故から現在までの経緯	<p>X年Y月Z日 交通事故にあい急性期病院へ搬送され入院。左頸骨観血的手術、減圧開頭術、頭蓋骨形成術をそれぞれ別日に施行。</p> <p>入院+69日 回復期リハビリテーション病院へ転院</p> <p>転院+104日 退院し、県外で復職。復職後、てんかん発作を発症し救急搬送され入院。その後実家のある香川県へ戻り、障害者職業センターの支援を受けて短時間の仕事に就くが、生活リズムの乱れや意欲低下があり離職した。</p> <p>X年Y月Z日+1年7か月後 自立訓練を利用開始となる。</p> <p>自立訓練利用開始から1年10か月後、就労継続支援A型事業所に就職し現在に至る。</p>				
	連携先	相談支援事業所及び就労継続支援A型事業所				
支援の概要	支援のきっかけ	相談支援事業所の相談支援専門員からの相談				
	支援内容	<p>①「高次脳機能障害が悪化しているのではないかと就労継続支援A型事業所、本人共に不安がある。主治医に再検査を依頼しても良いものか助言が欲しい。</p> <p>②医療機関で再検査をしてもらうことになった場合、医師からの説明はあると思うが、検査結果を事業所で活かすために生活の場に落とし込んだ見立てを聞きたい。その場合、検査結果の説明を聞いたことが無い支援者が同行するのでは不安があるため同行して欲しい。</p> <p>③本人の障害特性に合った仕事内容を助言して欲しい。</p>				
	結果	就労継続支援A型事業所での作業内容や職員による生活面の確認事項を一部変更し、就労継続に繋がっている。また、就労継続支援A型事業所、相談支援事業所が直接医療機関と連携が取れるようになり、各事業所の高次脳機能障害の支援スキルが高まった。				
モデル事業により可能となった支援のポイント	R5年度よりモデル事業の中で加配職員1名を配置し、自立訓練利用終了者や自立訓練利用対象と見込まれる入院中の患者等の相談に対応できる体制を整備したことにより、地域の事業所で高次脳機能障害者の受け入れを広げるために自立訓練利用中以外の方の支援を実施することができた。					

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

事例		自立訓練提供支援（生活介護）				
事故被害者の概要	性別	女性	家族構成	(別居) 弟・妹 (県内) 姉・兄 (東京)		
	年代	50代	障害者手帳	身体障害2級	障害者支援区分	4
	事故から現在までの経緯	20歳の時、短大通学中に交通事故の脳挫傷で1カ月間意識不明。学校を除籍し、自宅で20年間過ごす。基本的に何でもできるが、受傷後、自発性が低下して、自宅では何もせず起きている間はテレビをみたりして布団の上で過ごす、昼夜逆転生活で夜の10時から4時まで入浴し、何度も湯を沸かして近所迷惑になっていた。こだわりが強く、同じ物しか食わず、菓子やジュースが主食、暴言や家庭内暴力による母親のあばら骨骨折などがあり、弟が社協に相談し、社協から当施設に連絡があり入所（生活介護）となる。障害支援区分は4だが実際は2程度と思われる。施設入所後も昼夜逆転生活が続く。入浴を拒否することが多い。布団の上でテレビを見たり、ボードゲーム（オセロ等）をして過ごす状況が13年間続くが、2年前から生活リズムが改善され、軽作業に参加できるようになり、グループホームへの移行が現実的になってきている。				
	連携先	相談支援事業所				
支援の概要	支援のきっかけ	市社協からの相談				
	支援内容	<p>①生活リズムを整える 当該利用者の抵抗があったが、夜中にテレビをみることを止めて（テレビの電源コードを消灯前に預かる）、日中活動（ボードゲーム・本）に参加する。 入浴の定例化。身なりの改善（衣類をジャージから上下別々の服へ、スリッパから靴へ変更）</p> <p>②自発性の低下により、声掛けが必要などの課題はあるが、能力的に大きな問題はないことから、地域（グループホーム）移行。日中活動の場として作業所等に通う。</p> <p>③施設入所にこだわる家族への働きかけ。</p>				
	結果	2年前くらいから、夜中のテレビ視聴対策として、テレビの電源コードを預かることにより、昼夜逆転生活が改善され、入浴拒否もほぼなくなった。今年度9月から、生活訓練の軽作業への参加を開始し、外出訓練、買い物訓練、調理自習等を行った。				
モデル事業により可能となった支援のポイント		<p>今でも年上や同年代の職員の言うことに反発することが多いが、5人兄弟の真ん中で、弟・妹の面倒を見ていたからか、30代前半より若い世代の職員の言うことは比較的聞く傾向（お願い的な依頼）があったことから、ケース担当を若い世代の職員に代えたこと、組織的に対応したこと、モデル事業により配置したOTが外出訓練等への援助を行い、当該利用者との関係性を深めたこと。また、モデル事業により、高知ハビリテーションセンターの訓練状況を視察し、生活介護から生活訓練への移行についての状況を学ぶことができたことも、支援の参考になった。</p> <p>入所から10年を超えてから、生活訓練への移行が現実的になってきた。本人の主訴は自宅復帰（ハードルは高い）であるが、家族は自宅生活時のこともあり、とにかく施設で生活させたいとの意向があり、家族の意識改革が最大の壁とも言える。施設入所から10年以上変わらなかった（職員も変わらなかった）方であるが、重度の自発性の低下があっても、高次脳機能障害者へのアプローチをあきらめないことも重要であることを再認識させられた。</p>				

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

## ダイアリー

事例		自立訓練提供支援			
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 両親 (別居) 姉一家、妹	
	年代	40代	障害者手帳	身体障害2級	障害者支援区分
事故から現在までの経緯		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年生の時、自転車で友人と遊んだ帰りに交通事故に遭い脳挫傷、外傷性くも膜下出血発症。1ヶ月半意識障害。右上下肢に軽い麻痺残存。事故から1年2か月間は2か所の病院にて、治療、リハビリ、再手術、リハビリを繰り返して入院生活を送った。</li> <li>・知的な低下を認め、中学校は養護学校を卒業し、定時制高校、専門学校を卒業。</li> <li>・事務仕事や工場で働くが長続きせず、アルバイト先で同僚に突き飛ばされ、頭部の人工骨にヒビが入り、再手術が行われた。</li> <li>・その後はほとんど自宅での生活となり、20歳ごろから飲酒をするようになっていった。</li> <li>・27歳ごろから精神的に不安定になり、精神科に通院するようになった。鬱状態、アルコール依存症の診断。</li> <li>・30歳ごろからさらに飲酒量が増え、父親と口論になったり、暴力行為が頻回に見られるようになっていった。</li> <li>・35歳の頃断酒をしたが、不安感、不眠、手指の振戦が出現し、2か月間入院となった。しかし、退院した2日後に興奮状態となり包丁を持ち出し、警察が精神科救急情報センターに通報し入院となった。</li> <li>・退院後は、精神科の治療を続け、精神科デイケア、就労継続支援事業所などを利用しながら在宅生活を続けていた。</li> <li>・45歳の時(2021年)、飲酒量がアップし、救急搬送され入院となったことをきっかけに、さいたま市こころの健康センターが関わるようになり、専門的治療を開始した。</li> <li>・2022年、さいたま市こころの健康センターからの相談をきっかけに、機能訓練の利用を開始。精神科訪問看護も導入し、現在に至る。</li> <li>・現在、飲酒量がアップし、左大腿骨骨頭壊死の診断。肝機能の低下も指摘され、検査が行われている。</li> </ul>			
支援の概要	連携先	相談支援事業所			
	支援のきっかけ	さいたま市こころの健康センターの精神保健福祉士からの相談			
	支援内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①事故の影響で右手の使いにくさもあり作業に乗りにくい、就労系の事業所で十分に配慮されず辛い思いをしてきた。PT・OTがいて、身体も高次脳も見られるダイアリーなら丁寧に関わってくれるのではないかと、こころの健康センターからの依頼あり。身体面の評価をしつつ、対象者との関係作りを行っていった。</li> <li>②父親が送迎を行うことで、休まず通所が可能となった。さらに、父親の不安、悩み、迷いなどを送迎時にうかがうことで医療機関への受診のタイミングや、対象者への運動指導を伝えることができていた。</li> <li>③飲酒量の増加と肝機能の低下に対しては看護師、運動不足に対してはPT、攻撃性や意欲低下、自暴自棄になる言動、行動に対してはOT、STが介入し、生活や家族も含めトータルなサポートを実施している。</li> </ol>			
	結果	足の痛み、酸素量の不足などの身体症状に対して受診を行うことが可能となったが、飲酒量の増加を十分に把握できず、精神科訪問看護との連携が必要となっている。大腿骨頭壊死への自主トレの指導、グループ訓練での他者とのコミュニケーションを通して、易怒性、攻撃性なく過ごすことができていた反面、自暴自棄な言動や行動への支援は効果が得られていない。			
モデル事業により可能となった支援のポイント		R5年度よりモデル事業の中で公認心理士の資格を持つSTを配置したことで、OTだけのプログラムから広がりを持たせることができていた。対象者がもともと通っていた就労継続支援B型事業所の訪問を通して、対象者が何故利用を終了してしまったかを直接聞くことができた。訪問を通して機能訓練終了後の連携先を増やすことができ始めている。			

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

ワークセンター大きな木

事例		自立訓練提供支援				
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 両親		
	年代	50代	障害者手帳	身体障害3級	障害者支援区分	なし
	事故から現在までの経緯	<p>幼少期の交通事故にて頭部外傷受傷。同日血腫除去術を実施。日常生活は自立していたが学校でいじめを受ける事があった。また青年期には症候性てんかんを認める。短大卒業後に就職するも、上手く感情をコントロールできず良好な人間関係を作る事が困難で、職を転々としていた。受診・検査にて高次脳機能障害の診断に至る。障害者就業・生活支援センターや就労継続支援、就労移行支援事業所を利用。再び就職するも、人間関係のトラブルが絶えず退職に至る。現在は自立訓練事業所を利用し就職を目指している。</p>				
支援の概要	連携先	相談支援事業所、自立訓練、医療機関				
	支援のきっかけ	障害者就業・生活支援センターからの紹介				
	支援内容	<p>①没頭して取り組める作業や活動を提供し、精神的に落ち着いて過ごせるよう支援をしている。またご本人の得意・不得意や自身の特性等を理解できるよう活動を提供したり助言を行っている。</p> <p>②現在認知症の母と同居している。話の傾聴や対応方法の提案を行っている。</p> <p>③自立訓練期間が終了になり次第、就労移行支援へ移行する予定。ご本人が無理なく働くことができる仕事内容・時間を共に考え就労を目指していく予定となっている。</p>				
	結果	<p>妄想や思い込みは時折みられるものの、感情コントロールが困難な場面はみられず落ち着いて過ごすことができている。また自身の特性や得意・不得意の把握が少しずつ可能となっている。</p> <p>家庭内では母へ適切に対応したり、自ら相談し対処ができている。</p>				
モデル事業により可能となった支援のポイント	公認心理師、作業療法士等の専門知識を持つスタッフが評価・支援を行うことができている。					

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

ワークセンター大きな木

事例		地域連携支援				
事故被害者の概要	性別	女性	家族構成	(同居) 父・母・兄		
	年代	20代	障害者手帳	精神3級	障害者支援区分	なし
	事故から現在までの経緯	5歳の時に母親の運転する自動車に乗車中、対向車との正面衝突にて受傷。2ヵ月間意識なし、4か月間入院した。小学校から普通級で過ごした。高校2年の時に高次脳機能障害であることを親から知らされた。高校卒業後はPTの専門学校に入学したが、実習期間中にODし精神科入院となった。専門学校を中退し、実家に戻り、元々のバイト先であった放課後等デイサービスでパートとして勤務した。業務では、対象児の行動を覚えておくことが難しく記録が書けない、集中力が保てない、ハサミなどの使用が難しいなどの課題があり、精神的に不調となり退職。就労移行支援に通所しながら保育士の受験準備を進めている。				
	連携先	相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労支援センター、医療機関（リハ科、精神科、眼科）				
支援の概要	支援のきっかけ	放課後等デイサービスでの勤務継続が難しく、就労支援センターへ相談。センターの職員から紹介され、働く場から離れて精神的に安定することや働き方の検討、生活リズムの安定、相談先の確保などを目的に福祉サービスの利用を開始した。				
	支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①受験準備の為、勉強できる環境を提供。勉強の進め方や高次脳機能障害に対する代償手段の検討、訓練などの支援。</li> <li>②受診同行。</li> <li>③目標設定が高く、できなければならないといった思考が強い為、精神的に不安定になりやすい。クライシスプランの作成、不調の要因や目標の妥当性の検討、優先順位の整理などを職員と行っている。</li> <li>④特に母との関係性や障害受容、自己理解等に関する内容については傾聴。</li> </ul>				
	結果	就労支援センターでは対応しきれなかった日常生活管理や高次脳機能障害への対処法等を学びながら、目標に向け行動することが出来ている。				
モデル事業により可能となった支援のポイント	本事業により専門職をパートから正規職員に配置できたことにより訪問等含め時間に余裕ができたため、交通事故後の高次脳機能障害者への支援を充足することができた。					

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

ワークセンター大きな木

事例		ネットワーク構築支援				
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(同居) 両親との3人暮らし		
	年代	30代	障害者手帳	身体障害3級	障害者支援区分	なし
	事故から現在までの経緯	<p>自転車乗車中に車との衝突事故にて受傷(右寛骨臼骨折、顔面骨折、頭部骨折、肺血栓症、頭部外傷による高次脳機能障害を呈し、長期療養(概ね1年)後に大腿骨骨頭壊死により人工股関節置換術施行後のリハビリ目的にてリハ病院に入院。その後、入院中に、リハビリより連絡があり復職支援をしてもらえないかとの依頼があり退院後に本事業所(就労移行支援)を利用。現在は復職し5ヶ月が経過し、就労定着の支援を継続している。今後は就労定着支援を利用する予定。</p>				
	連携先	相談支援事業所、病院及び職場				
支援の概要	支援のきっかけ	リハ病院から復職支援の依頼あり、入院中よりケース会議への参加。				
	支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通機関の利用訓練</li> <li>②自動車運転再開支援</li> <li>③人工股関節置換術施行後のリスク管理</li> <li>④高次脳機能障害の理解と本人の気づきへの促し</li> <li>⑤復職にあたっての業務調整</li> <li>⑥復職後の職場訪問</li> </ul>				
	結果	<p>利用当初は易怒性もあり他利用者へのトラブルもみられたが、経過とともに他者への配慮がみられるようになってきた。自動車運転支援については、ドライビングシミュレーターでの訓練及びアセスメント及び実車評価を行い主治医に報告し、運転再開となり、通所途中より自家用車での通所可。復職支援のため、業務内容を確認し復職(時短勤務から開始)した。</p>				
モデル事業により可能となった支援のポイント	<p>本事業により専門職をパートから正規職員に配置できたことにより訪問等含め時間に余裕ができたため、交通事故後の高次脳機能障害者への支援を充足することができた。</p>					

# 18. モデル事業による自動車事故被害者に対する支援事例

## 就労準備支援センターあぽかぼ

事例		自立訓練提供支援			
事故被害者の概要	性別	男性	家族構成	(別居) 配偶者、娘 (配偶者、孫)	
	年代	50代	障害者手帳	身体障害 1 級、精神障害 1 級	障害者支援区分
事故被害者の概要	事故から現在までの経緯	交通事故でA病院 (急性期) に救急搬送され、事故から 8 か月後にB病院 (回復期) に転院しリハビリを行う。退院後、自宅でのサポートが困難でサービス付き高齢者住宅に入居する。事故の 1 年 3 か月後から週 3 日自立訓練 (機能訓練) を利用し機能回復訓練を行う。機能訓練後の活動先として就労準備支援センターあぽかぼ (生活訓練) を見学し、機能訓練開始 1 年 4 か月後から週 3 日利用している (介護タクシーの送迎による)。休職期間中に復職に向けて会社との調整を行う。事故から 3 年 4 か月後に復職し毎月曜日のWEBでの会議参加、毎木曜日は対面での会議に参加している。月曜日と木曜日は会議後にあぽかぼに通所し活動をしている。そのほか毎金曜日は午前中からあぽかぼで活動している。			
支援の概要	連携先	ご家族、相談支援事業所、就労先企業、サービス付き高齢者住宅、介護タクシー			
	支援のきっかけ	相談支援事業所の相談支援専門員からの相談			
	支援内容	<p>①機能訓練事業所でしっかりリハビリを行っていたが自宅 (サ高住) に帰ると自力歩行せず常に車いす移動になっている。あぽかぼ通所時は可能な限り「歩く」。</p> <p>②自宅 (サ高住) に戻るとほぼほぼ介助になってしまうので、あぽかぼ通所時も「やってくれ」と待ちの状態になることが多い。時間はかかっても自分でできることは自分でできるよう一緒に取り組んでいる。</p> <p>③復職前に会社を訪問し通勤経路の導線確認、事務所内の環境確認、デスク周りの整理を一緒にやっている。業務上必要なPCスキルのための訓練を活動の中でやっている。</p> <p>④今年 6 月に定年退職を予定しているので支援を継続し、その後の社会参加を一緒に考えていきたい。</p>			
	結果	生活訓練実施後の社会参加の方法は様々あると思っていたが就労、さらにその後の活動とその方の希望に沿った支援が必要とあらためて感じている。			
モデル事業により可能となった支援のポイント	通常の生活訓練事業だけでは整うことができない職員体制がとれている。医療機関や地域だけではなく就労先企業にも訪問し連携をとることができている。				